



* 0035520000 *

0035520-000

364-A124s

社会問題概論

安部磯雄・著

早稲田大学出版部

1928 7版

AGD

社會問題概論



安部磯雄著

社會問題概論

早稻田大學出版部藏版

364
A124a



491024

芦田均氏寄贈書

自序

私は本書に於て凡ゆる社會問題を網羅する積りであつたが、私は社會問題を以て重に社會の疾病たる貧乏、罪惡、不具、無智を研究し且つ之を救治する所のものと解して居るのであるから、直接社會的疾
病に關係なき問題は之を省略することにした。勿論私の不注意か
ら、尙ほ取り遺されて居る重要な社會問題があるかも知れない。
然し私の目的は組織的に社會問題の取扱方を示すに在るのだから、
よし多少の遺漏があつても、其目的を達するには何等差支がないと
信ずる。

私が最も努力したのは社會問題解決法の分類と其解決法に對す
る批評であつて、社會問題に關する事實其ものではない。私は出來
得るだけ現在行はれて居る所の解決法に就き其事實を擧げ其統計

を示すことに努めたけれども、中には種々なる事情のため最近の統計を得ることが出来なかつた。例せば獨逸の労働保険及び信用組合の如きである。公營質局に關する統計の如きも可なり古いのであるが、私は種々手段を講じたにも拘はらず遂に新しきものを得ることが出来なかつた。然し私が讀者諸君に見て頂きたいのは事實其ものよりも本書全體を通じて流れて居る所の理論と其方向とである。畢竟するに事實は筋肉であつて理論は血液である。

私は本書を公にするに當り岡山縣倉敷町の大原孫三郎氏に負ふ所の少なからぬことを一言して置かねばならぬ。大原氏は大正元年早稻田大學に労働調査を依頼し、これに要する費用を負擔すべきことを申込まれたのであるが、學校當局は主として私に其調査をなさしむることになつた。私が大正七年迄に調査した問題は共濟會純益分配、労働者の金融機關、労働者の賃銀及び生活費、小作農保護で

あつた。而して本書の一部は其資料を此等の調査に得て居るのであるから、私は特に大原氏の厚意に對して感謝の意を表せざるを得ない。

大正十年二月

目次

第一編 社會問題の意義及び研究範圍

- 第一章 社會學、社會問題、社會政策、社會主義……………一
- 第二章 貧乏と罪惡……………二七
- 第三章 社會問題、社會科學、哲學……………三二
- 第四章 社會的疾物の治療法……………三七

第二編 貧乏及び犯罪の原因

- 第一章 貧乏の事實……………三三
- 第二章 貧乏の原因……………四三
 - 第一節 無益なる消費……………四三
 - 第二節 不充分なる生産……………六三
 - 第三節 不公平なる分配……………七六

第三編 救濟事業

目次

第一章 救済事業の分類……………八九

第二章 外國に於ける救済事業……………一〇五

第三章 我國に於ける救済事業……………一一〇

第四編 教育事業

第一章 英國に於ける教育事業……………一三三

第二章 米國の社會植民事業——ハル、ハウス……………一四三

第五編 國家及び資本金家より見たる社會問題

第一章 工場法……………一八一

第一節 工場法の目的……………一八一

第二節 工場法の要點……………一九五

第三節 工場法の歴史……………二二三

第二章 労働保險……………二三〇

第一節 労働保險の分類……………二三〇

第二節 米國の共濟組合……………二三七

第三節 日本の共濟會……………二四四

第四節 獨逸の労働保險……………二六〇

疾病保險 負傷保險 老癯保險……………二六九

第五節 英國の労働保險……………二八九

疾病保險 失業保險……………二九七

第六節 失業保險……………三〇四

第七節 歐洲各國に於ける労働保險……………三一一

第三章 金融機關……………三二一

公營質局……………三二一

第一節 公營質局の歴史……………三二三

第二節 白耳義の公營質局……………三三八

一八四八年の法律大意……………三三七

第三節 佛國の公營質局……………三三七

公營質局に關する通則 巴里市の質局……………三三六

第四節 獨逸及び埃太利の公營質局……………三四四

第五節 以太利、和蘭、西班牙、芬蘭の質局……………三四六

第六節 ニューヨーク市慈善貸金會社……………三四六

第四章 税制問題……………三六一

 第一節 社會政策より見たる税制……………三六一

 第二節 地稅……………三七〇

 第三節 所得稅……………三八七

 第四節 遺產相續稅……………四〇〇

第五章 純益分配……………四一六

 第一節 總論……………四二六

 第二節 純益分配制度の組織……………四三一

 第三節 純益分配制度の批判……………四三八

 第四節 純益分配制度の實例……………四四四

 分配制度の元祖レクレヤー　ゴダンの鐵器業　フォード自動車會社

 第五節 結論……………四六三

第六編 勞働者より見たる社會問題

 第一章 勞働組合……………四六九

 第一節 總論……………四六九

 第二節 英國の勞働組合……………四七四

 第三節 米國の勞働組合……………四九二

 第四節 勞働組合の效果……………五〇二

 第二章 消費組合……………五一二

 第一節 英國の消費組合……………五二二

 第二節 歐洲大陸に於ける消費組合……………五三三

 露西亞　獨逸　佛國　白耳義　瑞西

 第三節 消費組合概評……………五四一

 第三章 信用組合……………五五三

 第一節 庶民銀行……………五五三

 第二節 農民銀行……………五六八

 第三節 信用組合概評……………五七六

 第四章 生産組合……………五八一

第七編 都市社會問題と農村社會問題

 第一章 土地問題……………六〇七

第二章 住宅問題……………六三三
 第三章 農村荒廢の原因……………六三八
 第四章 農村救済策……………六五六

第八編 人口問題と人種問題

第一章 人口制限問題……………六六五
 第二章 優種問題……………六七七
 第三章 賣淫問題……………六九〇
 第四章 禁酒問題……………七〇一

第九編 社會主義

第一章 社會主義の哲學……………七一一
 第一節 物質的方面と精神的方面……………七二一
 第二節 自由競争と社會主義……………七三九
 第二章 競争制度廢止の理由……………七四四
 第一節 現代の奴隸制度……………七四四
 第二節 生産組織の缺陷……………七五三

第三節 浪費……………七七六
 第四節 文化生活……………七八七
 第三章 社會主義の主張……………七九九
 第一節 公有財産制度……………七九九
 第二節 分配……………八〇六
 第三節 職業の選擇……………八二六
 第四節 交換制度……………八三三
 第五節 社會主義の政治組織と實行手段……………八三八

社會問題概論

安部磯雄著

第一編 社會問題の意義及び研究範圍

第一章 社會學、社會問題、社會政策、社會主義

我國に於て社會問題及び勞働問題に關する研究の最も盛に行はれたのは明治三十一年の頃であつた。而してこれ等の運動と共に社會主義の研究が或一部の人々によりて行はれる様になつたことは自然の勢であると言はねばならぬ。社會民主黨の創立せられたのは明治三十四年五月であつたが、時の政府は直ちに之が解散を命じたのであるけれども、其當時より社會主義の思想が廣く我國民の間に宣傳せられる様になつたのは事實である。明治三十七八年の日露戰爭當時に於ては社會主義の運動其絶頂に達し、彼等が唱ふる非戰論は終に政府當局者の怒に觸れ、社會主義の運動は嚴重なる壓迫を蒙る様になつた。明治四十三年幸徳事件の起るに及び、社會主義

社會主義
の發生

に對する政府の壓迫は一層峻烈を極むるに至つた。爾來社會主義に關する集會の禁止は言ふ迄もなく、之に關する一切の書類は發賣禁止の厄に遭ひ、公立圖書館内に在る一切の社會主義的藏書も沒收せられる事となり、甚しきに至りては「社會」といふ文字を冠する所の書籍は其何たるを問はず、すべて沒收せられるといふ滑稽すらも演ぜられたのであつた。然し斯の如き思想は單に十年以前に限られて居るのではなく、今日尙社會學と社會問題の意味を混同するもの、若くは社會政策と社會主義の區別を明かにせざる者が少なくない。故に私は社會問題の大體を論ずるに當り、先づ社會學、社會問題、社會政策及び社會主義の意義を明かにし、其異同の點を説明して置きたいのである。

社會學とは如何なるものであるか、これを説明することは極めて困難であるけれども、其概略を述べることは私共の研究にとりて必要のことであると信ずる。社會學は比較的新しい科學であるから、其研究方法に於て、或は其部門の配列に於て經濟學の如くに一定して居ない。故に社會學に關する著書を繕く者は必ず學者の取扱方に於て少なからぬ相違のあることを發見するであらう。然し社會學者は何れも大體左に述べるが如き項目を其研究題目として居る様にはれる。即ち社會の起原、發達、組織、活動及び理想を研究することは社會學の目的とする所であると言つて差支はあるまい。

社會の起原は即ち人類の起原である。人類が下等動物から進化したものであることは今や一

社會學の
研究題目

社會の起
原

點の疑がないのであるが、下等動物の状態から今日の文明人にまで進みたる道程には實に長年月を要したのである。下等動物が進化して茲に人間らしき生物が発生したる時如何にして家族といふが如き原始的團體生活が出現する様になつたかと言へば、私共は勿論其起原を夫婦關係に求めねばならぬ。兎に角男女關係なるものが家族生活を現出する様になつたことは充分にこれを認めなければならぬ。然し家族生活をして今日の如き發達をなさしむるに至つたのは夫婦關係といふよりも寧ろ親子關係であるといふのが適當であらうと思ふ。性慾は男女を引き着ける力を有して居るけれども、性慾だけにては家族生活が出現せしむるに不充分である。何となれば男女はよし其住所を異にしても尙夫婦關係を繼續することが出来るからである。然し一旦彼等が其子供を生み之を養育するやうになれば彼等は必ず同棲する必要を感じるに至るのである。これによりて見れば家族生活の起原は寧ろ親子關係といふのが正當であるかも知れぬ。斯の如くして家族生活となり、更に一轉して國民生活となつたのである。私共の社會は斯の如き所に起原を發し、今日の如き複雑なる團體生活をなすに至つたのであるが、其間に於て私共の家族生活はそれ自身に於ても大なる進化を遂げたのである。即ち夫婦關係は一妻多夫若くは一夫多妻といふが如き幼稚なる状態から漸次一夫一妻といふ理想的男女關係となり其結果として私共の社會生活にも大なる變化を及ぼす様になつたのである。

以上述べたるが如き起原から社會は如何なる方面に向つて發達したかと言ふに、其道程は大

社會の發
達

略左の如きものであつたと思ふ。家族生活は漸次發達して種族生活となり、種族と種族との間には食物奪掠の爲め常に闘争が行はれた。殊に牧畜種族と農業種族とが同時に生存する様になつた時には殺伐なる性質を有する牧畜種族は比較的溫和なる農業種族を征服したのである。支那の歴史に於て蒙古及び滿洲の牧畜種族が支那本土の農業種族を征服したのは其實例と見るこゝとが出来た。斯の如く一種族が他種族を征服すること、なれば、征服者は常に治者となつて被征服者を統治すること、なる。前者は自ら政治家、軍人、僧侶となり、後者は農夫、商人、職工となるのである。而して治者は被治者を統治する爲に種々なる法律を設けること、なる。且つ交通不便の時代に於ては一人の権力者が全領土を統治することは困難であるから、其土地を分割してこれを數多の人々に統治せしむるのである。これが即ち封建制度の起原である。然し經濟狀態の發達は遂に社會をして農業以外に工業及び商業をも經營せしむること、なるのであるから、各地に於て都市の出現を見るのは自然の順序である。都市の發達は商工業者の勃興を意味するのであつて、今日の所謂資本家制度は此時代に於て其起原を見ることが出来る。封建時代に於ては諸侯のみが政權を有して居たのであるが、資本家の勢力が發達するに及び彼等は熱心に參政權を要求する様になつた。これが即ち君主專制政治から立憲政治に發達する一轉機であつた。而して今日は社會の大多數を占める労働者が資本家の横暴に對して反抗運動を起す様になつた。これが即ち現代に於けるデモクラシーの運動であつて、此運動が果して如何なる點

社會の構造

に歸着すべきかは將來の問題に屬する。以上述べたる處は主として政治上の發達であつて社會進化の一面に過ぎないのであるが、社會學は更に經濟、宗教、倫理、教育、美術等の方面に於ける發達の道程をも研究するのである。

次に社會學の研究題目は社會の組織といふことである。今日の社會學者は社會を一の有機體であるかの如く見て居る。私共の身體が筋肉、神經系統、呼吸機關、消化機關等によりて組織せられて居るが如く、現今の社會は複雑なる機關によりて成立して居る。今其大體を研究することは私共が社會學の如何なるものであるかを了解するに必要であると信ずる。政治的に見れば社會の組織は極めて簡單である。例へば我國の政治組織に於て根本となるべき單位は市町村である。其上に郡及び府縣があつて、これを總括するに國家がある。然し現在の世界に於て國家なるものは最早最大の政治組織といふことは出来ない様になつた。若し國際聯盟といふが如き團體が充分發達すること、なれば、これは明かに世界各國を打つて一團となし、此處に最大の社會組織が出来ること、なる。以上述べたる所は單に政治的組織であるが、社會の活動といふ立場から見れば其組織は決して簡單なるものでない。今或學者の公にしたる分類法に従ひ社會的活動を標準として見たる組織を左に述べることにする。第一は營養機關であつて私共の生活に必要な衣食住を供給する所の機關である。即ち生産、運輸及び交換等に關する諸機關であつてこれを經濟機關というても差支はない。第二は生命存續機關であつて、一方には私共の

生命を存続するに必要な醫會若くは衛生會等である。一方には私共の生命を子孫に傳へるの
 であつて、家族は即ちそれである。第三は交通機關であつて、印刷物、電話、電信、郵便の如
 きが其實例である。第四は教化機關であつて、教會、學校、諸種の學會、社交俱樂部等が其實
 例である。第五は管理機關と保護機關であつて、此中には多くのものを含んで居る。(a)は國際
 機關であつて、其中には又國際法、國際裁判所及び國際軍備等を含む。(b)は國立機關であつて、
 それは立法、行政及び司法の三に分れる。(c)は私立機關であつて、職工組合、保險會社、共濟
 會、政黨等が其實例である。

前に述べたるが如く複雑なる社會組織は社會の活動を標準として成立して居るのであるから
 社會の活動が以上述べたる各種の機關を通じて行はれるのは當然である。私共は社會の一部を
 組織して居る分子であるが、其分子たる私共が活動をなすに當りては必ずしも上記の一機關に
 制限せられるものではない。否一人にして數種の機關を通じて活動することが出来る。概して
 言へば如何なる人も二三の機關に關係を有して居る様である。例へば一人にして何等かの營養
 機關に關係すると共に、家族の人としては生命存続のために活動し、社會に出でては何等かの
 教化機關に關係し、電信電話の如き交通機關を利用し、更に管理機關及び保護機關にも關係す
 ることが出来る。私共の身體を構成する細胞は單に身體の或一部に於てのみ活動することが出
 來るけれども、社會の分子たる人類は一人にして數種の活動を兼ねることが出来る。此點に於

社會を組
 織する單
 位と身體
 の細胞

て人類は身體の細胞と大いに其性質を異にするのである。

以上述べたるが如く私共の活動には殆ど制限が無いのであるけれども、斯の如き活動を喚起
 する所の原因は大略これを四つに分類することが出来るのである。即ち生存慾、性慾、名譽慾
 及び征服慾である。要するに人類の活動は其動機を上記の何れにか求むることが出来る。思ふ
 現今に於けるの人類の活動は大部分生存慾に原因して居るが如く思はれる。換言すれば人類は
 衣食住のために精力の大部分を費して居る。更に露骨に言へば人類の多數が目的として居る所
 にもものは如何にして金錢を得るかといふことである。勿論衣食住の爲のみに活動することは大
 なる弊害であるけれども、人類が今日の文明を來す様になつたのは大いに此生存慾に負ふ所が
 あることを忘れてはならぬ。若し今日の如き物質的發達が無かつたならば現代の文明を見るこ
 との出来ないのは明かである。故に私共は生存慾を輕するが如き誤謬に陥ることなく一層これ
 を善導することに努めなければならぬ。殊に衣服及び住宅に對する慾望は人類の文明を發達せ
 しむるに大なる貢獻を爲したのである。原始時代の人類が穴居状態を捨て、簡單なる小屋に住
 居する様になつてから、彼等は始めて家庭生活なるもの、有難味を感じたのである。彼等が朝
 夕同一家屋に住居して居るがため彼等の間に言語も大なる發達を遂げたに相違ない。一家團樂
 を經驗したのも其頃からであると想像される。然し家屋は單に風雨を防ぐだけの手段では無か
 った。文明の發達するに従ひ彼等は先づ住宅及び衣服を一の裝飾物として見る様になつた。こ

活動の原
 動力

れがため衣服と家屋は初代の人類をして漸次美術思想を養はしむる手段ともなつたのである。男女の性慾は人類が下等動物時代より有するものであつて、これが子孫繁殖のために如何に有用なるものであつたかは言ふ迄もなきことである。性慾の一面には實に思むべきものが少なくない。若し人類がこれを濫用し、悪用することになればその弊や實に恐るべきである。然しこれあるがため性慾が一面に於て人類の文明に大なる貢献を爲したことを忘れてはならぬ。私共の家庭生活は夫婦關係に始まり、親子關係によりて完成されて居る。性慾の結果は子孫の繁殖である。子孫の教育は家庭生活を確立する所以であつて、家庭生活の發達は現代文明の源泉と言ふことも出来る。親が其子を養育するに當りては殆ど利己的動機なるものは無い。而して野蠻人は其子供を教育する時期が極めて短いのであるが、文明人は其子供を教育するに十四五年乃至二十四五年の年月を費すのである。而して子供の教育が長くなるに従ひ兩親の修養は益々徹底し、利己心は變じて漸く利他心となるのである。或意味に於て文明の進歩は利己心が變じて利他心となる道程であると言ふことも出来る。斯の如く性慾は私共の品性に大なる光明を與へて呉れたのみならず、私共はこれに依りて純潔なる情操を養ふことが出来たのである。斯く論じれば私共は活動の動機として私共の性慾を決して輕視する譯には行かない。

人類活動の動機として單に生存慾のみを重んずるのは決して正當でない。一度生存慾を満足することが出来れば、何人も名譽慾或は征服慾を感じるに至ることは明かなる事である。若し詳

細に人類の心理を研究したならば、名譽慾の如きは何人にも極めて普通であることを發見するに相違ない。如何なる人でも他人と異りたる物を有する時には、其何物たるに拘らず、他人に對してこれを誇らんとする心を有して居ることは普通の事である。例へば野蠻人が美麗なる羽毛を以て其頭髮を飾るのも、軍人が胸に勳章を飾るのも其心理に於いて少しも異なる所は無い。更に人々が爵位或は學位を以て誇ると言ふことも要するに人類固有の名譽心に外ならない。言ふ迄もなく名譽慾に伴ふ弊害もあるに相違ないが、これがため光明の方面をも閉却すると言ふことは大なる誤である。古來科學若くは藝術のために努力したる所の人々は生存慾と言ふよりも、寧ろ名譽慾に刺戟されて、彼の高尚なる事業を爲したに相違ない。若し將來人類が物質慾を解脱するが如き時代が來るとしても、名譽慾若くは征服慾の存在する限り、人類は決して或人々の感れるが如く活動の動機を失ふ様な事はあるまい。殊に征服慾に至りては何時までも有力なる動機として人類を獎勵するであらうと思ふ。征服慾はこれを知識慾といふも差支はない。人類の知力が増進する程彼等は自然を征服することが出来る。これは學者にとりて無上の快樂である。勿論征服慾はこれを他の意味に解することも出来る。例へば知力及び權力に於て他人に優るといふことも大なる愉快を與へる。殊に他國人を征服してこれを支配すると言ふことは多數の人々に大なる満足を與へること、思ふ。社會學者として有名なるギディングス教授は權力について下の如き事を言うて居る。「個人の立場からでは無く、社會全體の見地から言へば

權力に對する慾望は金錢に對する慾望よりも遙かに強い。私は此説が決して不當でないと言ふことを考へる。若し多くの青年に對して總理大臣の椅子と五十萬圓の財産と何れを擇ぶかと問うたならば多數は必ず總理大臣の椅子を擇ぶに相違ないと思ふ。若し又十億の金とシベリアの半分と何れを擇ぶかと我國民に問うたならば、多數は必ずシベリアの半分と答へるであらうと思ふ。要するに社會全體は金錢よりも寧ろ權力を喜ぶ様である。これによりても征服慾が如何に有力なる動機であるか想像される。然し征服慾は單に權力に限られて居ない。若しこれを知識慾と解し宇宙の征服といふ意味に用ゆることが出来るならば、征服慾は永久に人類を文明に導びく所の動機となるのではあるまいか。今日に於てこそ私共は區々たる競争をなし、人類互に争闘することを以て普通のこと、考へて居るけれども、若し高き見地よりこれを考へれば全く兒戲に等しきものであると言ふべきである。人類の目的は總ての國民が協力して宇宙を征服し、以て現代の文明を完成するにあると信ずる。

最後に社會學の研究題目となるべきものは社會の理想といふことである。然し社會の理想といふことを説く前に私共は個人の理想が何であるかを知らねばならぬ。勿論個人の理想といふこともこれを哲學的に説明することは容易でないけれども、常識的にこれが説明を試みれば大略次の如く言ふことが出来ると思ふ。人類は何がために此世に生れ來たかといふことは私共の知り得べきことではない。然し私共が此世に生れて來た以上何人も幸福を求めて居るといふ事

社會の理想

調和的發達

につきては決して反對することは出来ないのである。如何なる人といへども好んで不幸を求むる者は無いのであるから、よし多少の例外はあるとしても、人類の多數が幸福を追求して居るといふことは争ふことの出来ぬ事實である。然らば私共は如何にして最大幸福を求むることが出来るであらうか。私は人類の幸福があらゆる能力を圓滿に發達せしむるにあると信ずる。言ふ迄もなく人類には幾多の能力が存在して居る。而してこれ等の能力を出來得るだけ多く發達せしむることにより最大幸福が得られるのである。

例へば私共の身體が圓滿な發達を遂げるならば疾病の爲に苦しめられることが無いから、従つて私共は愉快を感じるに相違ない。然し私共の愉快は單に健康といふことによりて得られるばかりでなく、身體の各部が調和的發達をなすことにより言ふべからざる快感を覺ゆるのである。即ち調和的發達といふことにより私共は始めて美といふことを感受することが出来る。彼の希臘人が彫刻術に依りて裸體美を發揮したのは希臘人が運動競技によりて身體の調和的發達を來したるがためである。彼等は圓滿に身體を發達せしめたのであるから、茲に肉體美が發揮された。其結果彼等は肉體美を其儘彫刻に表現したのである。これによりて見れば、身體の發達といふことは決して一部分の發達でもなく、又不調和的な發達でもない。我國の力士は身體の發達と言ふ點に於ては大いに誇るべき點があるかも知れないが、これを調和的發達と言ふことは不當である。或力士の如きは腹部のみが不釣合に發達して居るがため、唯怪物を聯想せし

むるのみで、何等美感を與へない。故に身體の發達といふことには調和といふことが必要條件であつて、調和のあるところには必ず美觀が伴ふのである。

身體の發達に於けるが如く精神の發達に於ても調和といふことは最も重要である。私共は知的能力を發達せしむるに當り常に各能力が並行して發達するといふことに注意せねばならぬ。殊に知力の發達と共に品性の向上と云ふことが必要條件であらねばならぬ、然るに古來天才と稱せられる所の人は多く一二の能力に於て驚く可き發達をなし、他の能力に於ては著しき缺點を有して居るのである。殊に知力に於て驚くべき發達をなし乍ら、品性に於ては極めて劣等なる天才が少なくない。換言すれば天才は恰も我國の力士と等しく怪物的發達をなして居るのである。斯の如く人類の追求すべき眞の幸福は能力の不調和的發達によりて得らるべきものでないから、私共が人生の目的たる幸福を得るために最も努力すべき事はあらゆる能力を圓滿に發達せしむることであらねばならぬ。

以上述べたる所の理想に對して人類は如何なる態度を取りつ、あるかと云ふに、多數の人々は全く他の方面に於て幸福を追求しつ、あるが如くに思はれる。今や人類の多數は眞の目的を追求するの邊なく、日々衣食住の資を得んがために汲々として居る。人類の目的は前に述べたるが如き理想を追求するにあるので、これがため衣食住の資を得る必要がある。換言すれば私共は食ふがために生きて居るのでなく、生きるがために食ふのである。然も今日の人類は殆ど

食ふが爲めに生きて居るが如き觀を呈してをる。果して然らば私共は今日の社會を改造して人類が生きるために食ふといふことを實行し得る様な社會を現出せねばならぬ。

以上述べたる所は個人の理想を概説したのであるが、若し此の理想にして誤りがなければ、社會の理想が何であるかを了解することは決して困難でない。簡單に言へば社會の理想は個人の理想を容易に達せしめ得る様な境遇を造にある。既に個人の理想が明白となりたる以上は、社會をして個人の理想を達しむるために妨害となるべきあらゆる物を除去せしめ、同時に個人の理想を實現するに便利なる社會制度を設けると言ふことは最も必要のことである。故に私共が現在の社會制度を批評するに當りては、これ等が果して個人の理想を實現せしむるに妨害となりつ、あるか或は又利益となりつ、あるかを標準としなければならぬ。

私は以上社會學について大體の説明を試みたのであるが、これによりて見れば社會學の社會に對する關係は恰も身體に對する生理學の如きものである事を何人も了解するに相違はない。生理學は身體の全部を研究する所の科學であるが、社會學も亦社會の全般に互りて研究をなす所の科學である。更に社會學と生理學の類似點を挙げれば次の如くである。生理學は主として健康状態にある身體を研究するが如く、社會學も亦常態にある社會を研究することを目的として居る。勿論生理學と雖も病態にある身體を全く度外視するのではない。然し主として病態にある身體を研究する時は最早生理學の領分といふよりも寧ろ病理學の領分といふのが適當であ

る。これと同じく社會學も亦病態にある社會を研究することがある。然しこれを主として研究する場合には社會學といふよりも社會病理學といふ名稱を用ゐることが適當であると思ふ。言ふ迄もなく社會病理學は社會學の一部であるけれども、其研究範圍は頗る廣大であるから、今日には殆んど獨立の研究問題となつて居る。而して社會問題なる語は社會病理學と同一の意味に用ゆべきであるけれども、前者は後者よりも廣く世間に通用して居るから私は今後専らこれを用ゐることとする。更にこれを説明すれば、社會問題は病態にある社會を研究し、其疾病の原因を討究すると共に其救濟法をも取扱ふ所の科學である。

社會が病態に陥ることのあるといふことは前に述べたる通りである。然し社會の疾病とは何を意味するのであるか。若し詳細にこれに答へんとするならば茲に多くの種類を擧げることが出来るに相違ない。個人の疾病である傳染病の如きも亦社會の疾病と言ふことが出来る。更に不正なる男女墮胎者、跛者の如き不具者を有することも社會の疾病と言ふことが出来る。更に不正なる男女關係の如きも社會の疾病と言ふべきである。然し社會問題の見地から言へば社會には貧乏と罪惡といふ二大疾病がある。殊に貧乏といふことは社會問題の主なる研究題目であつて、人類社會を貧乏といふ疾病から救濟せんとなることが社會問題の最も重要な研究題目と稱すべきものである。貧乏及び罪惡が如何なる意味に於て社會の二大病であるかは後段に説明するとして、私は先づこれ等の二大病に對する治療法に就き其大略を述べることとする。

身體の病を治療するに應急法と根治法との二つあるが如く社會の疾病を治療するにも二つの方法がある。第一の方法は現在の社會組織を其儘に保存し、單に必要に應じて種々なる改善を加へんとするのである。恰も醫師が身體の疾病を治療するに應急手段をとるが如きである。或は大工が家屋の破損に對して修繕を加へるのに比することが出来る。即ち貧乏を救濟するに慈善事業或は教育事業と云ふが如き方法をとることを意味するのである。然るに第二の方法は現在の社會組織が貧乏を來したる所の大原因であると信するが故に、先づこれを根本的に破壊して、其代りに全然新しき組織を以てせんとするのである。即ち家屋の修繕は姑息の手段に過ぎないから全部これを改築せんことを主張するのである。前者は改良であつて後者は改造である。而して第一の方法を普通社會政策若くは社會改良主義と稱し、第二を社會主義と稱して居る。故に社會政策といひ或は社會主義と稱するも、其は社會の疾病を治療する手段に過ぎない。換言すれば社會問題解決の二大方法に外ならぬのである。斯の如く社會政策と社會主義は社會的疾を治療する手段たる點に於て同一であるけれども、前者は漸進主義、後者は急進主義を標榜する點に於て異つて居る。然し漸進と云ひ急進と云ふも單に相對的名稱に過ぎないのであるから、私共は何を以て明白に兩者の區別を爲すことが出来るであらうか。幸にして兩者を區別すべき標準が存在して居る。即ち現在の私有財産制度を是認するか否かといふことである。社會主義の主張は一切土地及び資本を共有にすべきことを主張するが故に、若し社會主義が行は

れることになれば私有財産の範圍は甚だしく縮少され、總ての人は單に衣服家具などを私有することとなり、其他のものは總て共有物となるのである。勿論社會政策を主張する者の中には獨占事業に限りこれを共有にすべしと説く者がある。然し社會政策の主唱者は大體に於て私有財産制度を維持することを唱へて居るのである。我國の社會政策學會の如きは即ちこれである。イリー博士の所謂社會改良主義も亦これに屬するものと言ふ事が出来る。近時我國に於て人々の注意を惹きつゝある勞働問題に關しても社會政策と社會主義の立場は明かに異つて居る。前者は飽く迄も資本家階級及び勞働者階級の存在及び永續を信じ、其前提の上に何等かの改善を謀らんとして居る。彼の勞資協調會の如きは即ちこれである。然るに後者は共有財産制度を主張するのであるから、勞働者及び資本家の對立を以て何時迄も繼續すべき制度とは考へない。即ち社會の人々は全部勞働者となり、同時に勞働階級が總て土地及び資本を共有すべきものであることを主張して居る。何となれば彼等は財産の共有により始めて貧乏及び罪惡を根治することが出来ると思つて居るからである。

以上述べたる所を總括すれば次の如くである。社會學は社會全般に互る事物を研究する所の科學であつて、社會問題は病態に陥りたる社會に關して其病源と救濟法とを研究することを目的として居る。社會政策及び社會主義は社會の疾病を治療する手段方法であつて、前者は應急的、漸進的、妥協的である。これに反して後者は根本的、急進的、徹底的である。

概説

第二章 貧乏と罪惡

不具者

社會的疾病の主なるものとして私は貧乏と罪惡を挙げたのであるが、前にも既に述べたるが如く、社會的疾病として看過することの出来ないのは不具者である。不具者とは單に肉體的のみでなく精神的病者をも含んで居ることは言ふ迄もない。然しこれ等の不具者に關する正確なる統計を得る事は容易でないから、私は單に其大體を示すに止めて置く。米國の統計によれば盲者の數は十萬人であつて、其内八分の一は彼等が滿二歳に達しない前に盲者となつたと言ふことである。次に聾啞者の數は十萬人以上であつて、其内五分の一は生れ乍らの聾啞者であり、五分の二は滿五歳に達しない前に聾啞者となつた。更に低能者に就いて言へば、其人數は三十萬乃至四十萬人に達して居る。而して癡狂者の數も二十萬以上に達して居るといふ事である。千九百十年の統計によれば、イングランド及びウェールズに於ける低能者の數は二十七萬一千人であつた。我國に於ける統計表に關しては私は何等の材料を有して居ないけれども、明治四十年頃内務省の公にしたる統計に依れば我國の盲者は其當時七萬五百八人に達して居た。若し我國の人口と米國のそれとを比較する時には我國の盲者が其數に於て米國のそれに優つて居ることを見るのである。言ふ迄もなく以上述べたるが如き不具者を多く有する所の社會は決して健

罪惡

全なる状態にあると言ふことは出来ない。

罪惡とは如何なる意味であるかと言ふに、英語に於ては三種の區別を爲して居るけれども、我國語に於ては單に二種の區別を見る事が出来る。英語の *crime* は日本譯の「罪」に於て單に罪と譯してある。即ち神に對する惡行を意味するのである。*crime* は國家に對する罪惡であつてこれを犯罪と言ふ。*sin* は自己に對する罪惡であつて飲酒不品行の如きを言ふのである。我國語に於いては犯罪と言ふ語を他の罪惡と區別することは容易であるけれども、英語の *vice* 及び *vice* を言ひ表すに適當なる語が無い様に思はれる。故に私は罪惡といふ語を以て總ての意味を含んで居るものと假定して置く。但し飲酒及び不品行の如き罪惡に關しては後段優種問題を論ずる時に稍詳細に研究する積りであるから、今後罪惡を論ずる場合には主として犯罪に就き説明する積りである。

貧乏、罪惡及び不具の三者が常に因となり果となりつゝあることは争ふことの出来ぬ事實である。例へば不具なるが故に貧乏若くは罪惡に陥る場合の少なからぬ事は私共が常に見聞する所である。貧乏人の多くは知的能力缺乏の爲め常に競争場裡に於ける落伍者となつて居る。救世軍が經營して居る京橋區月島の労働館に收容せる労働者は確かに其實例であると言ふことを聞いて居る。彼等の多數は單に他の労働者の手傳を爲すのみであつて、自ら獨立して労働する能力さへも無い。斯の如く彼等が最も悲惨なる状態に沈淪して居るのは全く精神的な不具の結果

貧乏及び
罪惡の原
因たる不
具

であると言はねばならぬ。更に犯罪と不具との間に密接なる關係のあることはロムプロゾーの「骨相學と犯罪の關係」によりても明かに知ることが出来る。精神的な不具者が犯罪の傾向を有して居ることは専門家の容易に認むることの出来る事實である。肉體的な不具者は必ずしも貧乏或は犯罪に陥り易き者ではないけれども、精神的な不具が常に貧乏及び犯罪の原因となる虞れあることは私共の大きい注意せねばならぬことである。

不具が貧乏及び罪惡の原因となることは以上述べたる通りであるが、然し貧乏及び罪惡が不具の原因となる場合も少なくない。例へば貧乏人は自然に衛生上の注意を怠り、且つ必要なる醫藥の手當を爲すことが出来ないために、知らず識らず其子供を盲者とならしむる事がある。更に彼等が品行に對する不謹慎のため恐るべき病氣に罹り、終に子供をして生れながら盲者たらしむることもある。これは單に肉體に關する不具の場合を示したのであるが、精神的な不具の場合に於て貧乏及び罪惡が其原因となることは明かなる事實である。何人も知れるが如く酒毒及び梅毒が子孫の腦髓に恐ろしき結果を及ぼすことは多くの事實によりてこれを證明することが出来る。若し癲狂院に至りて其患者が斯の如き悲惨なる状態に陥りたる原因を研究したならば、彼等の二割以上が兩親の飲酒に原因して居ることを發見するに相違ない。言ふ迄もなく梅毒は殆ど酒毒と同様に癲狂の原因となつて居る。私共は癲狂者を見て酒毒及び梅毒の最も恐るべき結果を見ることが出来るのであるが、多くの人はこれ等の二大害毒が如何なる方面に其

不具の原
因たる貧
乏と罪惡

惡結果を及ぼしつゝ、あるかに就ては全く無頓着である様に思はれる。然し精神的不具者は單に癡狂者に限られて居るのでなく、白痴及び低能者も亦一種の精神的不具者であると言はねばならぬ。而して白痴及び低能者の多數が兩親の梅毒及び酒毒に原因してをることを考ふる時に、私共は今更の如く精神的不具が兩親の罪惡に原因してをることを痛切に感ずるのである。

貧乏が罪惡の原因となる場合の極めて多いことは殊に詳論する必要はない。何れの國に於ても監獄に繋がれてをる囚人の半分以上が財産に關する犯罪者であると言ふことは明かに證明されてをる。古人も言へるが如く恒産なき者には恒心がないのであるから、若し人類社會から貧乏なるものを全く除去することが出来るならば、犯罪の大部分は必ず消滅するものと斷定することが出来る。勿論男女關係によりて生じたる犯罪者も少なくないのであるが、これも間接に貧乏の結果であると言つても差支はあるまい。今日の如く男女關係が甚しく亂れてをるのは、相當の年齢に達したる所の男女が經濟的理由のために結婚を延期して居るといふことに多く原因して居る。若し今日の社會が一層の進歩を來し、如何なる人も相當の年齢に達するや否や何等生活費の心配なくして結婚することが出来るようになれば、男女關係より生ずる犯罪は少くとも半分以上を減ずるであらうと思ふ。斯の如く考へ來れば犯罪の七八割迄は全く貧乏を絶滅することにより減少することが出来るといふことは明かである。これと反對に罪惡のために貧乏となる場合も決して少なくない。飲酒若くは不品行は金錢の浪費を意味するのであるから、此

貧乏と罪惡の因果關係

恐るべき
三大病

の罪惡のために人類の多數が常に貧乏の状態に在ることは少しも怪しむべきことでない。我國民が年々酒のために費す所の金額は七億圓乃至十億圓であつて、不品行のために費す所のものも三四億圓を下らぬのであるから、罪惡のために國民の多數が常に貧乏生活をなすつゝ、あることは當然である。中流以上の人々は必ずしも不品行によりて貧乏状態に陥る虞れはないかも知れないが、人類の多數を占むる勞働者が一度飲酒若くは不品行と言ふ惡癖に囚はれること、なれば、彼等は到底貧乏生活から逃れ出づることは出来ないのである。

斯の如く貧乏、罪惡及び不具の三者は何れが原因であり、何れが結果であると言ふことは出來ない。彼等は寧ろ互に因となり果となり、相助けて今日の所謂社會的疾形成して居るのである。人類を單に肉體といふ立場から見れば、酒毒、梅毒、肺病は人類にとりて最も恐るべき三大病である。然るに人類を社會的に觀察すれば、私共の最も恐るべき疾病は貧乏、罪惡及び不具である。而してこれ等の疾病を除去することが社會問題の目的であらねばならぬ。

第三章 社會問題、社會科學、哲學

社會科學(Social Science)とは人類社會に直接の關係を有する所の科學である。別言すれば社會と言ふ團體を組織せる人類の各方面に於ける活動と其原則を研究する所の科學である。即ち

社會學と
社會科學

倫理學、經濟學、政治學、史學、人類學、比較宗教學の如きがこれである。然らば社會學は他の社會科學に對して如何なる關係を有するかと言ふ疑問が起るに相違ない。社會學は經濟學や政治學等に對して恰も兄弟の如き關係に立つて居るのであるか、或は他の社會科學を統一して恰も親子の如き關係に立つて居るのであるか、學者の意見はこれに關して統一されて居ない様に思はれる。或學者は社會學を以て社會科學の一部となし、全く他の社會科學と同一の位地に立つてをるものと論じて居る。これに反して或學者は社會學を以て綜合的科學となし、あらゆる社會科學を統一するものであると説いてをる。而して私は後者の説が適當であると信じてをる。

社會問題は間接直接總ての社會科學に關係を有して居ると言へる。然し其關係を有する程度に於ては少なからぬ相違がある。例せば倫理學及び史學の如きは時に社會問題と接觸點を有することがあるけれども、比較宗教學の如きは社會問題に對して最も關係の少なきものと言ふことが出来る。大體に言へば社會問題は主として經濟學と政治學とに密接なる關係を有して居る。若し此二つを除けば社會問題に最も近き關係を有して居るのは言ふまでもなく社會學である。私は今經濟學と政治學とが社會問題に對して有する關係を概略左に述べることとする。

前に述べたるが如く社會の疾病を治療するに社會政策及び社會主義の二方法がある。而して社會政策の大部分が經濟問題であることは言ふまでもなきことである。近時我國の識者により

社會問題
と社會科
學との關
係

社會問題
と經濟學

て唱へられつゝ、ある労働保險や純益分配制度の如き殆んど純粹なる經濟問題であると言つても差支はない。更に轉じて社會主義を見れば、何人もこれが嚴重なる意味に於ける經濟問題であることを認めるであらう。社會主義の主張は經濟組織の改造といふことである。若し社會主義の説く所が經濟學上から見て不可能であるか、若くは不利益であるならば、社會主義は到底人類社會に歡迎されることはないのである。

政治學は殆んど經濟學と同様に社會問題に對して密接なる關係を有して居る。社會政策は一面から見て經濟問題であるが如くに他の方面から見れば明かに政治問題である。工場法、國家保險法、簡易保險法、公營質局の如き直接政治と關係を有するものであることは言ふまでもなきことである。我國の政府が社會政策を標榜し、政黨も亦其綱領に於て社會政策を唱へつゝ、あることは明かに政治學が社會問題と密接なる關係を有してをることを證明するものである。これと同様に社會主義も亦政治を離れて其主張を貫徹することは出来ない。社會主義の主張が極めて根本的であることは私が既に述べた通りであるが、社會主義は如何なる手段によりて其理想を實現せんとするのであるか、私は今其大體を述べて見よう。社會主義實行の手段としては二つの方法が考へられてをる。第一は議會政策であつて、第二は總同盟罷工である。議會政策とは多數の社會黨員を議會に代表せしむることにより、合法的に土地及び資本の國有を斷行する事を目的としてをる。若し社會黨が議會に於て多數を占めること、なれば彼等は自ら欲する

社會問題
と政治學

如くに法律を改正し、若くは新しき法律を作り、以て一舉に社會改造を行ふことが出来る。約言すれば彼等は合法的手段によりて改革を行はんとするのである。これに反して總同盟罷工に賛成する所の社會主義者は議會政策を以て迂遠なる手段であると信するのであるから、寧ろ労働者の結合を擴大し、多數の労働組合を聯合せしめ、一齊にストライキを起して以て資本家制度を倒さんとするのである。彼等の所謂直接行動なるものは即ちこれである。これによりて見れば社會主義其ものも或程度まで政治と接觸するにあらざれば其理想を實現することは難しいものである。但し議會政策は政治運動を主とし、總同盟罷工は經濟運動を主として居ると云ふことが出来る。

最後に社會問題と哲學の關係につき研究する事は極めて興味のあることである。社會科學は前に述べたるが如く各方面に於ける人類の活動を説明し其原則を研究するものである。然し私共は個々獨立せるこれ等の知識を以て満足することが出来ないから、社會學の如き各社會科學を統一する所のものを要求する様になる。即ち綜合的知識の必要を感するのである。然し私共の知識は社會的方面のみに限られるべきものでは無く、更に生物學の如き動植物に關する知識及び物理、化學、天文、地質の如き科學をも總括する所の知識を要求する。哲學は即ち宇宙全體に關する私共の知識を統一する所のものである。斯の如き哲學は私共のあらゆる經驗を總合的に研究することを目的とするのであるから、私共の知識が斷片的であることを許さない。從

社會問題
と哲學

つて現在の事實を研究するのみでなく、更に過去に於ける發達の道程を尋ねると共に將來如何なる方向に進行するかをも研究するのである。故に哲學者は多く社會の進化に對して其理想を説くやうになる。プラトローが Republic に於て、ヘロンが New Atlantis に於て彼等の理想世界を説いたのは即ちこれである。而してプラトローの所謂哲人政治の思想は又これをニーチ、の超人主義に於て見ることが出来る。社會問題を研究する人は決して現在の狀態を研究することを以て満足するものでない。彼等は必ず現在の社會が如何なる點に向つて進むべきかを研究することになる。斯の如くして社會問題の研究者は一種の社會哲學者とならざるを得ない。茲に私共は社會問題と哲學との接觸點を見出すのである。

經濟學の理想は何處にあるか、昔の經濟學者は單に現在の事實を説明するだけにて満足したのであるが、經濟學者にして同時に哲學者であつたジョン・スチュアート・ミルは單に現在の經濟事實を説明することを以て満足せず、更に進んで經濟學の理想をも説いたのである。爾來經濟學者の態度は一變し、何れも經濟學の到達すべき理想をも論ずるやうになつた。以上述べたる所は單に經濟學のみに關することであるけれども、私共が政治學の研究を爲すに於ても明かに同一の傾向を認めることが出来る。換言すれば私共の研究は科學的であると同時に益々哲學的になりつゝ、あると言ふことが出来る。

現今の社會は決して健康状態にあるものと言ふことが出来ない。社會的見地から言へば、貧

經濟學の
理想

社會的疾
病の撲滅
は不可能
にあらず

乏、罪惡及び其他の疾病は絶えず人類を苦しめつゝある。若し人類の目的が幸福であるとするならば、私共は未だ圓滿なる幸福を得つゝあると言ふ状態に達して居ない。時としては寧ろ不幸が人生の常態ではないかと思はれることもある。今日の社會に於て悲觀説を有してゐる人の少なくないと言ふことも争はれぬ事實である。然し斯の如き事實によりて人生を悲觀するといふことは餘りに幼稚な考へではないかと思ふ。現今の文明は或一面に於て大なる成功を來して居る。歐米諸國の大都市が恐るべき傳染病のために苦しめられた事は今より百年以前の事であつたが、今や完全なる衛生設備によりてあらゆる傳染病は殆んど全く撲滅せられる様になつた。故に大都會の住民は赤痢、天然痘、猩紅熱、虎列刺、ペスト、チブス等の爲めに死亡することは殆んど無いと言つてもよい位である。今日も尙其勢力を逞しくしつゝある所の傳染病は肺病と花柳病である。然しこれ等の疾病すらも尙人力によりて撲滅し得べきことが證明された。獨逸は勞働保險法實施以來銳意肺病撲滅のために努力したのであるが、今日は著しく肺病患者の數を減じたのである。獨逸人は更に花柳病全滅といふ事を標榜して大運動を起さんとしたのであるが、これは大戦争のため一時中止されることになつた。これ等の事實によりて見れば肉體的疾病の撲滅は醫術及び衛生の進歩と共に早晚實現されるに相違ない。果して然らば私共は社會的疾疾病である貧乏及び罪惡に對しても何等悲觀すべき理由を見ない。社會問題の見地から言へば、これ等の疾病は早晚全滅せらるべきものであるから、私共はこれがためあらゆる努力

をしなければならぬ。あらゆる貧乏とあらゆる罪惡が人類社會から除去された日は即ち黄金世界出現の日である。私共が斯る理想世界を期待することは單に一場の夢に過ぎないのであらうか。

第四章 社會的疾疾病の治療法

社會的疾疾病の如何なるものであるかは既に述べたる通りであるが、私は其治療法を説明するに先だち、本書に於て述べんとする所の順序を豫め示して置くことが必要であると思ふ。即ち其大體を示せば左の如くである。

然し治療法を説明する前に、先づ社會的疾疾病の原因を説明することは順序の上から言うて必要のことである。故に私は第二編に於て、貧乏、犯罪及び不具の原因に就き出來得るだけ詳細にこれを説明することにした。既に其原因を説明すれば、其次に治療法を論ずることが自然の順序である。前に述べたるが如く治療法には應急的と根本的の二種類があつて、私はこれに社會政策及び社會主義の名稱を附することにする。更にこれを詳説すれば、社會政策若くは社會改良策と言ふ中には三つの重要な治療法が含まれて居る。私はこれを救濟事業、教育事業、及び勞働問題と呼ぶことにする。

救濟事業とは即ち慈善事業を意味するのであつて、言ふまでもなくこれは應急手段であつて根本的治療法ではない。慈善事業に多くの弊害が伴ふことは人々の知る所であるけれども、其弊害は必しも避けることの出来ぬといふ程度のものではない。歐米諸國に於ては多くの改善が行はれるやうになつた以來慈善事業も全く其面目を一新する様になつた。鬼に角歐米諸國に於て今日も尙ほ慈善事業が依然として廣く行はれて居るのを見れば私共は決してこれを無視することは出来ない。故に私は第三編に於て外國に於ける慈善事業の大體を説明する事にした。

第二の教育事業は廣き意味の教育である。苟くも貧民のために行はれる所の教育であれば、私は社會的疾病的治療法として本書に論じて見たいのである。例へば *Local settlement* や *University extension* の如きは代表的の教育事業であると言ふことが出来る。ソーシヤル、セツトルメントとは貧民の多き場所に於て會館を設け、相當の教育ある人々が其處に住居を定め、種々なる手段によりて其附近にある貧民を教育することを言ふのであるが、これは歐米諸國の大都會に於て盛に行はれる様になつた。ユニヴァーシティ、エキステンションとは大學教育を貧民の間に擴張すると言ふことを意味するのであつて、主に講演によりて知識の普及を圖るのである。斯の如く説明し來れば、教育事業も慈善事業と同じく篤志家の寄附金を仰ぐといふ點に於ては同一であるけれども、尙二者の間に重要な區別のあることを知らねばならぬ。慈善事業は物質的救濟を主とするに反し、教育事業は精神的援助を與ふることを目的とするのである。

から、後者は前者の如く應急的ではない。然も其效果に至りては遙かに永久的であると言ふべきである。故に私は第四編に於て教育事業を論ずることにした。

第五編及び第六編に於て私が論じたいと思ふのは労働問題である。社會問題の中に於て労働問題は最も重要な位置を占めてをると言ふことが出来る。何となれば何れの國に於ても労働者は人口の大部分を占め且つ其多數は貧乏なる生活を送つて居るからである。労働者の生活状態を改善することは社會問題の主なる目的であるから、私は比較的多くの紙數を此問題のために費し、且つあらゆる方面から此の問題を論じて見たいと思ふ。然し労働者の改善には二つの區別すべき方法のあることを記憶せねばならぬ。即ち第一は他力によりて改善を行ふのであつて、國家若くは資本家の力に頼るものである。第二は労働者が自分の力によりて改善をはかるもので、所謂自力主義がこれである。私は第五編に於て國家及び資本家の見たる労働問題を論ずる積りである。工場法、労働保險法、金融機關、税制問題、純益分配等の諸問題は所謂他力主義の社會政策として出来得るだけ詳細に論ずることにする。第六編に於ては労働者の見たる労働問題、即ち労働組合、消費組合、信川組合及び生産組合を論ずる積りであるがこれは當然自力主義の社會政策と見做すべきものである。斯の如く論じ來れば社會政策は他力主義と自力主義の二つに分類することが出来る。救濟事業、教育事業及び第五編に於て論ずる所のものは何れも他力主義であるけれども、第六編に於て論ずる所のものは自力主義である。言ふ迄もな

く自力主義は社會的疾病的治療法としては其効果が極めて著しいのであるから、私はこれに重きを置きたいと思ふ。自力主義の社會政策は或意味に於て社會主義に接近してをるものと考へることが出来る。前に述べたる労働組合、消費組合、信用組合及び生産組合の如きは社會政策と言ふよりも寧ろ社會主義の一方面であると言ふのが適當であるかも知れぬ。殊に生産組合の如きは小規模に於ける社會主義の實行であつて、若しこれが十分なる成功を示す時には社會主義の理想も決して夢想でないことを證明するものと言ふべきである。

以上述べたる所の社會政策以外に尙重大なる意義を有する所のものがある。例へば殊に都市及び農村に關する社會問題は一種特別の問題を含んでをるのであるから、私は第七編に於て都市社會問題及び農村社會問題なる綱目を設けることにした。更に一般的關係を有する所の社會問題がある。例へば人口問題及び人種改良問題の如き即ち其れである。社會問題の研究者にとりては人口問題が常に一大難關である。若し今日の社會が理想的に改善せられ、總ての人が何れも生活難から逃れることが出来たとしたならば、マルサスの言ふが如く人口の増加は忽ち食物の増加を凌駕し、社會は再び生活難を感じることに、なる。故に社會問題を論ずる者は人口問題に對して何等かの解決を下さねばならぬ。殊に現在の有様を以てすれば、比較的優良なる生活を送つてをる所の人々は人爲的に人口を制限する傾向があり、無智無學なる貧民は人口増加のために著しく困難を感じてをる、若しこれを放任することになれば人種が漸次墮落するに至

都市社會問題と農村社會問題

人口問題及び人種改良問題

各種治療法の優劣

るは疑ひなきことである。故に私は第八編に於て人口問題と人種改良問題とを論ずる積りである。以上は貧乏の防止に關する社會政策を論じたのであるが、これにて社會政策と稱する治療法の説明を終ることになるから、私は第九編に於て根本的治療法としての社會主義を述べることとする。社會主義が最近數年間に於て如何に重要な問題となつたかは茲にこれを詳説するの必要はないから、私は第九編に於て其梗概を説明する積りである。

最後に一言して置きたいことは、以上述べたる治療法の優劣論である。私は論理的順序によりて其治療法を説明したのであるけれども、必しも其優劣に對して何等判決を下したのではない。應急的と言ひ根本的と言ふも結局比較的の語であつて、其優劣を定むることにはならぬ。比較的卑近なるものも時としては根本的なるものよりも必要なることがある。私共は火災を根本的に防止するために建築材料を選択し、且つ耐火的建築法を研究する必要があるけれども、現に火災に遭遇したる場合に於て斯の如き根本的問題を研究することは愚の至りである。私共は寧ろ斯る時に於て先づ消防隊をして其手段を盡さしむることが最も必要なることであると信ずる。されば如何なる治療法と雖も社會的疾病的に對して必要であるから、私共は其優劣を問ふよりも、寧ろ其必要に應じてこれを併用することを考へねばならぬ。

第二編 貧乏及び犯罪の原因

第一章 貧乏の事實

米國の最低生活費

貧乏と言ふことは單に比較的の語であるか、或はこれを測る一定の標準があるのであらうか。言ふ迄もなく貧乏の標準なるものは各人によりて異り、殊に各國民によりて異なるのである。然し今日は此方面に於ける研究が充分に發達したのであるから、大體に於て生活の標準を定めることが出来る様になつた。即ち人々が一日に要する所の營養分を計算すれば大略其代價を知ることが出来る。別言すれば人々は其生命を維持し且つ其健康を維持するために毎日幾何の費用を要するかは大體に於てこれを知ることが出来る。私は左にアットウォーター教授の計算により一人が一日に要する所の營養分を示すことにする。即ち、蛋白質三十匁、脂肪十五匁、含水炭素百三十三匁である。而してこれを熱量にて示せば約三千四百キヤロリーとなる。(一キヤロリーとは一グラムの水を攝氏の零度から一度までに温むるに要する熱量である)。勿論これは人々によりて多少の相違を來す。例へば激烈なる勞働に従事する人は上記の二割増、小兒及び婦人は二割減である。而してアットウォーター教授は以上の營養分を得るために幾何の金錢を要するか

といふことを示して居る。言ふまでもなく物價は合衆國の各部に於て多少の相違があるのであるが、彼はニューヨーク地方に於ける一日の食費を四十六錢乃至五十錢と計算して居る。果して然らば米國に於て一人が一月間に要する所の食費は少くとも十三圓八十錢を要求することとなる。而して労働者の家族が平均三人乃至四人であるとすれば、一家族が一月間に要する食費は少くとも五十圓である。然しこれは單に食費のみを示したもので、此外に種々なる費用を要することは言ふ迄もない。例へば労働者が自己の労働力を維持するためには教育費、娯樂費を要求する。更に疾病若くは死亡に對しては醫藥費及び保險費を要求する。而して労働者は單に自分の労働力を維持するのみでなく、更に労働力の供給を永久に維持する必要があるから、二三人の子供を養ふといふ必要が起つて来る。故にアトウォーター教授は労働者が一年間に要する最低生活費を千二百圓と計算して居る。而してニューヨーク市の如き大都會に住居して居る所の労働者は更に多くの生活費を要求するのであるから、チェビン博士は千六百五十圓を以て最低生活費であると言つて居る。

英國政府は軍需品工場附屬の寄宿舎に於て労働者の食量に關し精密なる調査を試みたのである。千九百十六年三月の調査によれば、男子の食費は毎週十五志二片(一月約三十圓以上)婦人は十一志九片(一月約二十四圓以上)即ち男子に比して約二割少ないのである。勿論これは物價の騰貴した戦時中であつたことを記憶せねばならぬ。

英國の最低生活費

米國に於ける貧乏人

英國の貧乏人

我國に於ける労働者の生活費

若し以上述べたるが如き生活費を以て必要であるとすれば、米國の労働者にして最低生活費を得ることの出来ぬ者が少なくない。即ち千九百五年の統計表によれば、製造業に従事せる四百二十四萬四千五百三十八人の平均収入は一千六十八圓であつた。更に収入高により分類したる労働者の割合を示せば、年收千二百圓以下の者は四割一分五厘、千圓以下の者は二割一分を占めて居る。米國の如き比較的富裕なる國に於てすら貧乏人の數は決して少なくないのである。英國に於ても私共は同一の慘狀を見ることが出来る。ロントリー及びブリスは非常なる努力を以て貧民の研究に従事したのであるが、彼等は全國民の三割が飢餓に瀕しつゝ、あることを言ふてをる。これによりて見れば英國に於ける貧民の數は少くも千二百三十萬人以上に達して居るのである。更に他の方面から觀察しても英國に於ける貧民の數が決して少なくないことを證明して居る。英國に於ては至る所公立救貧院が設けられて居るから、赤貧者は何時にても自由に入院することが出来る。千九百九年に於ける統計によれば、イングランド及びウェールズに於て救貧院に收容されたる貧民の數は九十四萬二千八百三十七人であつて、それに要したる金額は一千四百七十萬磅であつた。若しこれにスコットランド及びアイルランドに於ける赤貧者の數を加へたならば合計二百萬人以上に達することであらう。

我國に於ける労働者の生活を英米のそれに比較したならば、其間に少なからぬ相違のあることを發見せざるを得ない。食料品の價に於ては彼我の間に大なる相違がないに拘らず、我國の

勞働者は其收入に於て遙かに英米の勞働者に劣つて居る。若しアトウォーター教授が計算したるが如く、必要なる營養分を得るために毎日四十六錢乃至五十錢の食費を要するとすれば、我國人口の大部分は貧乏人であらねばならぬ。否彼等が餓死しないのは不思議と思はれる位である。然し食料品の選擇如何によりては、一日十錢位の(勿論歐洲大戰前の事を言ふ)食費を以て必要なる營養分を得ることが出來ると主張する學者もある。ロンドンの真中に於てすら三片生活をしたものがあるとさへ言はれて居る。私は兎に角我國に於ける勞働者の生活費に就き各方面からの材料により其大略を示すことにする。以下述べる所のものは多く農商務省及び内務省の蒐集したる材料を根據としたのである。東京市の某會社にある職工四百三十一家族に就き調査したる所によれば、平均一人の食費は一月三圓五十錢、家賃は一圓、被服費は四十六錢五厘である。而して一家族の平均収入は二十三圓四十三錢五厘となつてをる。更に高野岩三郎氏が東京に於ける代表的職工二十家族を調査した所によるも其結果は殆んど同一である。一家族の平均収入は二十三圓五十二錢一厘であつて、支出は左の如くである。平均食費二圓九十八錢、家賃一圓十四錢、被服費五十三錢六厘となつて居る。

内務省は明治四十五年に於て下谷區金杉下町、萬年町、龍泉寺町、山伏町、入谷町、及び淺草區の神吉町、新谷町等に於ける貧民、即ち所帶數三千四十七、人員一萬五百四十八人に付き詳細なる調査をなしたのであるが、私は其中より次の如き事實を示すことにする、金杉下町に

東京市に於ける貧民の生活—食費

於ける七百六十四家族に付いて言へば其食費は大略左の如きものである。最も貧しき者に至りては、一家族三人で一ヶ月一圓五十錢の食費を支出して居ると言ふのがある。其他一家三人で二圓十錢、一家六人で四圓と言ふ例があるが、斯の如くして彼等が尙生命を維持して居ると言ふことは全く不思議であると言はねばならぬ。然しこれ等の貧民窟に於ても三圓の食費を支出して居るものが多數である様に思はれる。即ち家族三人で九圓を支出する者が三十一家族、二人で六圓を支出する者が三十三家族ある。貧民窟として有名なる萬年町に於ては六百三十六家族につき其食費を調査したのであるが、食費の最低は十人の家族にて二圓三十錢、最高は一人にて九圓となつて居る。兎に角これ等の貧民窟に於て普通の食費と見るべきものは一人につき二圓乃至二圓五十錢である様に思はれる。

東京市の貧民が毎月幾何の家賃を拂うてをるかと言ふに、金杉下町に於ては七百六十四家族の内家賃として一圓以上を拂うてをる者は百二十家族に過ぎない。獨身者の中には割合に家賃のために多くを支出して居るのであるが、一人にて三圓の家賃を拂うて居る者が五十八人である。而して二人以上の家族員で一人につき平均一圓以上の家賃を拂うてをる者が六十家族ある。然し一方に於ては八人の家族員で僅かに一圓十錢の家賃を拂うてをる者すらある。龍泉寺町に於ける七百八家族に就いて見るも結果は殆んど同一であるが、金杉下町に比しては多少優つてをる點もある。例へば一人につき一圓以上の家賃を拂うてをる者は七百八家族の内百五十九家

貧民窟の家賃

族である。中には一人にて四圓五十錢、二人にて五圓五十錢の家賃を拂ふてをる者もあるけれども、二人で二十錢、五人で六十錢、八人で一圓の家賃を拂ふてをる者すらある。兎に角一人に付き五十錢以上の家賃を拂うてをる所の家族は四百九十四であるから、他の者は五十錢以上の家賃を拂うてをると言ふことが出来る。故に彼等の全體に就いて言へば、各一人が支拂ふてをる家賃の平均は六十錢位であると言ふのが適當であると思はれる。

彼等は如何なる室に住居してをるかと言ふに、多數は單に一室を有するのみである。金杉下町に於て單に一室を有する家族数は六百五十三、二室を有する者は九十二、三室を有する者は僅かに四家族に過ぎない。而して彼等の住室が幾何の面積を有するかと言ふに、金杉下町に於て單に四疊の一室を占領してをる家族が二百七十五、四疊半を占領してをる者が三百七であつて、これが全家族数の大部分を占めてをる。其他五疊の室を占領する者が十五家族、五疊半が二家族、六疊が二十四家族、七疊が二家族、而して七疊が彼等の占領する最も廣き室である。更に龍泉寺町に就て云へば、一室を有する者は四百八十三家族、二室を有する者は百八十九家族、三室を有する者は十家族である。而して一室を有する者の内四疊の室を有する者が二百四十八家族、四疊半が百六十六家族、合計四百四十四家族であつて、全數の大部分を占めてをる。私は三室を有する所の者があると言ふことを述べたのであるが、それは單に名のみであつて、其實は極めて狭き室である。例へば金杉下町の場合に於て三室に於ける疊數の合計八疊に達す

貧民の住室

疊一枚に對する家賃

る者が僅かに二、十疊以上に達する者が二である。龍泉寺町に於ては三室の合計面積が單に三疊と云ふのがある。即ち一室が各々一疊に當るのである。而して十疊以上の面積を有する者が四ある。

これ等の狭き室を占領せる所の貧民がこれに對して幾何の家賃を拂ひつゝ、あるかを述べて見やう。金杉下町に於ける造作附の百二十五室に就て言へば、一ヶ月一圓七十錢の家賃で四疊の室を借りて居る者が十三家族、一圓八十錢にて同じく四疊の室を借りてをる者が十七家族、二圓で四疊の室を借りてをる者が三十一家族である。即ち一枚の疊に對する家賃は約四十二錢五厘乃至五十錢である。而して四疊の一室を三人にて占領してをる場合が最も多いのであるから、一人の負擔する家賃は平均六十錢乃至六十七錢と見ることが出来る。

私は最後に貧民の被服費に關しても少しく述べてをきたい。然し食費及び家賃に比較すれば被服費の計算は一層困難である。何となれば被服費は食費若くは家賃の如く毎日若くは毎月と言ふが如く一定の時期を限りて計算すべきものでないからである。殊に貧民の中には親戚若くは友人から時々被服の供給を受けることがあり、時としては慈善家の贈品を受ける様な場合があるから、彼等の被服費を計算することは一層困難になつてくる。故に私が此處に述べる所のものは單に其大體を示すに過ぎない。我國に於ける中位以上の勞働者が一人に付き毎年被服費として支出する所のものは平均五圓以上であると言はれてをるが、これに比すれば金杉下町や

貧民の被服費

龍泉寺町に於ける貧民の被服費は驚くべき程少ないのである。今金杉下町の貧民に付き内務省の調査したる結果を少しく紹介することにする。一人に付き毎年五圓以上の被服費を支出してをる者は七百六十四家族の内僅かに五十八家族に過ぎない。中には獨身者にして毎年被服費のために二十圓以上を支出してをる者と二人の家族にして五十圓以上を支出してをる者があるけれども、他の一方を見れば殆んど私共には想像すら出来ぬ様な場合が少なくない。即ち三人の家族にて一年間に三十五錢の被服費を支出したのがある。更に七人の家族にて一圓二十錢を支出したと言ふのもあるが、全く被服費を支出しなかつたといふ家族が五十五に達してをる。而して親戚其他の者から被服の給與を受けた者が十七家族に及んでをる。農商務省の調査した所によれば、東京市に於ける人足が一年間に支出する被服費は一人に付き約二圓二十五錢となつてをるのであるが、これに比すれば金杉下町に於ける貧民の状態は一層甚しい様に思はれる。即ち家族の全數七百六十四の内一人の被服費が二圓に達して居ない家族は五百十五である。換言すれば家族總數の約三分の二は日雇人足の場合よりも一層貧乏であることを見るのである。龍泉寺町の場合に於ても殆んど同一である。七百九の家族中五圓以上の被服費を支出する者は四十九家族に過ぎない。右四十九家族を分類すれば獨身者が八、二人家族が十七、三人家族が十二、四人家族が九、五人家族が二、六人家族が一である。中には一人にて三十圓、二人にて三十六圓の被服費を支出する者があるけれども、一方には家族三人にて五十錢、六人にて一圓、

七人にて一圓五十錢の被服費を支出して居る者がある。又全く被服費を支出して居ない家族が七十七の多きに及んで居る。金杉下町の場合に於けるが如く、一人の被服費が二圓以上に達して居ない者は七百九家族の内四百五十一家族に達して居る。

以上は東京市内に於ける貧民の生活状態であるが、言ふ迄もなくこれは單に下谷區及び淺草區の一部に限られて居る。然し東京市の貧民窟は決して萬年町鮫ヶ橋及び新網町に限られて居るのでなく、殆んど到る處に於てこれを見ることが出来る。而してこれは單に東京のみではなく、大阪及び神戸の如き大都會に於ても同様である。我國に於ては未だこれ等の貧民に關して充分なる調査が出来て居ないのであるから、私共が貧民の數に關して正確なる統計を有することの出来ないのは甚だ遺憾である。然し大都會に於ける貧民の數が私共の想像する以上に多數である事は事實である様に思はれる。

以上述べたる所は我國の都會に於ける貧民に關する觀察であるが、我國人口の半分以上を占むる農民の生活も決して樂觀すべきものではない。寧ろ彼等の生活状態はこれを都會の貧民生活に比して一層慘憺たるものではないかと思ふ。私は左に農商務省の調査したる結果を紹介して讀者の参考に供したいと思ふ。

都市の貧乏人

我國に於ける農民生活

地	主	小作農
收	入	作農
	九二六	四四五
		三〇六

食費	二六二	一五七	九四
被服費	六〇	二五	一五

此表は言ふ迄もなく歐洲大戰前の有様を示したものであるから、今日の如き米價の騰貴せる場合に於て適用することの出来ないのは明かであるけれども、私共は今日の如き状態が必しも永久に繼續するものとは考ふることが出来ない。且つ我國の農夫が戦争前に於て實際斯の如き生活状態にあつたのであるから、私共は一時的現象のためにこれ等の事實を打消すことは出来ないのである。若し此處に示したるが如き統計表が事實に近いものであるとするならば我農夫の生活は實に氣の毒なものであると言はねばならぬ。若し農家の人口を平均六人と見れば、一人一日の食費は次の如くなる。即ち地主が約十二錢、自作農が七錢二厘、小作農が四錢三厘である。而して一年間に於ける一人の被服費は地主が十圓、自作農が四圓二十錢、小作農が二圓五十錢である。これによりて見れば我國の都會に於ても、或は農村に於ても大多數の人民が貧乏の状態にあることは疑ふことの出来ぬ事實である。

第二章 貧乏の原因

第一節 無益なる消費

家庭經濟の立場から見ても無益なる消費が行はれて居る場合が少なくない。例へば食料品を購入する場合に於ても、或はこれを調理する場合に於ても、充分の注意をなすにあらざれば、これによりて多くの浪費を生ずることは明かである。幸にしてあらゆる浪費を除くことが出来れば、私共はこれによりて幸福を増進することも出来、或は私共の勞働時間を減少することも出来る。然しこれは家庭經濟に限られたることではなく、社會的消費に對しても同一のことを言ひ得るのである。今や社會の各方面に於て多くの浪費が行はれてをる。若しこれを矯正することが出来なければ人類の幸福を増進することが出来ないのみならず、人類社會の苦痛たる貧乏を絶滅することは出来ないのである。故に私は貧乏の原因として先づ浪費といふことにつき各方面からこれを詳論したいと思ふ。而して社會的浪費は主として二つの原因から生ずる様に思はれる。第一は經濟組織の缺陷から來り、第二は罪惡から來るものであるが、私は前者が殊に重大なるものであると信するのであるから、これに對して充分なる説明を試みる積りである。

家庭經濟
と社會經
濟に於け
る浪費

第一に述べて見たいと思ふのは現在世界各國に於て行はれて居る賣買制度の不完全なることである。全體賣買制度なるものは運輸機關及び交通機關の未だ不充分であつた時代に起つたものであるから、多くの無益なる手段方法がそれに含まれて居る。例へば生産者と消費者との間に多くの仲介者が存在してをるが如きである。これ等の仲介者は文明の幼稚なる時代に於ては必要であつたかも知れないが、今日の如き運輸機關及び交通機關の發達せる時代に於ては彼等の多數は殆んど無用の長物となつてをる。然も彼等は消費者と生産者との間に立ちて不常なる利益を貪つて居る。殊に小賣商の如きは必要以上に其數を増加してをるのであるから、彼等は恰も條蟲の如く社會的營養分を吸収してをるのである。若しこれらの仲介者の全部若くは一部を撲滅することが出来るならば、消費者は確かに今日よりも遙かに低廉なる價を以て貨物を購入することが出来る。故に社會的見地から論ずれば小賣商の如き仲介者は全く一種の寄生蟲であると言はねばならぬ。然し私共がこれ等の仲介者によりて少からぬ損害を蒙つて居ることは、一部分仲介者の横着なることにも因るけれども、一部分は確かに其罪を現在の賣買制度に歸すべきである。私は不完全なる賣買制度の實例として東京に於ける魚河岸の制度に就き少しく述べることにする。日本橋の附近にある魚河岸に日々集り來る所の魚類は多く鐵道便によりて運送されるのであるが、一部分は房州若くは伊豆半島から蒸汽船によりて運送されることになつてをる。然し百噸に足らぬ房州通ひの汽船も鯨岸島に碇泊せねばならぬのであるから、魚類は

平田舟に積換へ、魚河岸に運ばれるのである。魚河岸に小揚と稱する人足があつて平田舟から問屋に其魚類を運ぶことになつてをる。六百六十軒の問屋は自ら其魚類を賣捌く者もあれば或はこれを仲買人の手に賣渡す者もある。仲買人の數は約百九十人であつて、問屋も仲買人も毎朝早く大なる臺の上に魚類を陳列して客の來るを待受けてをる。東京市内には魚商が四千四百九十六人、料理店及び飲食店が三千九百九十三軒あるのだから、彼等の多數は毎日魚河岸に集り來るのである。彼等が購入したる魚類は一旦潮待茶屋に運ばれ、其處から二三人の若者によりて夫々購入者の店に送り届けられるのである。東京市民の食する魚類は斯の如き複雑なる手段によりて運ばれるのであるから、其價が如何に騰貴するかは何人も容易に了解することが出来る。私共は斯る場合に於て必しも仲介者の横着なることを責むる者ではない。私共は寧ろ賣買制度の如何に馬鹿らしきかを感じざるを得ないのである。

然し以上述べたるが如きことは決して我國特有の事實ではない。私が嘗て讀んだ所の書籍に左の如き面白い事實が示してあつた。米國のシカゴ市に於て或人が四弗で一樽の林檎を買ふたのであるが、其中から一つの紙片が現はれた。それには鉛筆を以て次の如き事が書いてあつたといふことである。『私は此林檎を七十五仙で賣りましたがあなたはいくら拂ひましたか。』これによりて見れば、生産者が七十五仙で賣つた林檎が消費者の手に渡つた時には既に四弗となつて居た。即ち三弗二十五仙の内其大部分は仲介者に奪はれたのである。今一つの話はユタ州の

牧羊者がブルックリン市に旅行して居た時或肉類店の前を通行して居たが、其主人が羊肉百封度に付き十八弗を請求してをるのを聞いて大いに驚き「私は何時でも百封度に付き四弗で賣つて居るのであるが、誰が十四弗を取つたのであらうか」と言つたそうだ。これは明かに生産者と消費者との間に立つて居る仲介者の懐に入つて居るといふことは何人も疑ふことの出来ない事實である。馬鈴薯一ブッセルは生産者の手から四十五仙乃至五十五仙で賣渡されるのであるが、これがニューヨーク市に於て消費者の手に渡る時は一弗六十仙の値段を有することになる。合衆國の産業調査委員は其報告の一節に於て小賣値段に就き次の如きことを言ふてをる。玉葱の小賣値段は普通原價の十五割、キャベツは十三割五分、オレンヂは四十割、林檎は九割、馬鈴薯は八割、鶏は八割八分だけ高い。これによりて見るも仲介者が常に物價の騰貴を來す原因となつてをることは殆ど世界共通の事實である様に思はれる。

仲介者の爲めに物價が少からぬ騰貴をなすことは以上述べたる通りであるが、私はこれに關して更に一つの實例を示して見たい。ニューヨーク市に毎年入り來る所の食料品は、其入口に於て三億五千萬弗の價格を有するのであるが、これ等の食料品が消費者の臺所に來る時には五億弗の價格を有するといふことである。これによりて見れば仲介者のために物價は約四割三分の騰貴を來したことになる。物價に關して詳細なる研究を試みたる或専門家は卸賣商の得る手数料は原價の一割であつて、小賣商の手手数料は三割三分乃至三割五分であるといふてをるが、此

ニューヨーク市の物價

野菜物に對する仲介者の口錢

處に述べたるニューヨーク市の實例は確にこれを證明して居るやうに思はれる。

我農商務省が數年前調査したる所によれば、我國に於ける野菜物も仲介者の手によりて驚くべき程價格の騰貴を來して居る様に思はれる。私は左に生産者から消費者の手に渡る間に於て、荷主、問屋及び小賣商の口錢が如何に莫大であるかを示すことにする。

野菜物	生産費	荷主の口錢	問屋の卸値	小賣値段
蘿蔔	一、〇〇	一、二〇	一、三六	二、八八
葱	一、〇〇	一、四〇	一、五〇	二、一〇
胡瓜	一、〇〇	一、一五	一、二三	一、七七
茄子	一、〇〇	一、一五	一、三〇	二、五〇
茄子	一、〇〇	一、二八	一、四〇	一、七二
馬鈴薯	一、〇〇	一、五三	一、八七	二、五九
甘藷	一、〇〇	一、二〇	一、二九	二、一五
小松菜	一、〇〇	一、四〇	一、五六	二、四三
芥菜	一、〇〇	一、五〇	一、六八	六、三〇
蜜柑	一、〇〇	一、一二	一、三八	三、一八
梨	一、〇〇	一、二四	一、五〇	三、〇〇
柿	一、〇〇	一、九九	二、二一	五、六九

此表に就いて少しく説明を試みる必要がある。例へば蘿蔔の生産費が一圓であるといふこと

は生産者が一圓の價格を以て荷主に賣渡したることを意味するのである。而して荷主の口錢が一圓二十錢といふのは即ち荷主が問屋に賣渡す時の値段をいふのであつて、彼の口錢は二十錢である。斯の如くして問屋の卸値が一圓三十六錢といふことは問屋が小賣商に賣渡す時の値段であるから、問屋の利益は十六錢である。これと同じく小賣値段が二圓八十八錢といふのは小賣商が消費者に賣渡す時の値段であつて、小賣商の手數料は二圓八十八錢から一圓三十六錢を引去りたるもの即ち一圓五十二錢である。私共が此表によりて知ることの出来ることは生産者から消費者に渡される間に於て物價が如何に多く騰貴するかといふこと、小賣商が他の仲介者に比して驚くべき手數料を貸りつゝあるかといふことである。

然し小賣商が暴利を貸りつゝあるといふことは餘りに過酷なる批評であるかも知れぬ。彼等は斯の如く多くの手數料を要求しつゝあるに拘らず、彼等の大多數は必しも富裕なる生活をなしては居ないのである。然らば彼等は何が故に斯の如き多くの手數料を要求せねばならぬかといふに、私は彼等の數が必要以上に多いといふことに原因して居ると信ずる。經濟學の原則によれば、需要があつて始めて供給があるべき筈であるに、小賣商は全く其原則に反して必要以上に其數を増加することとなつた。然し私共は需要のなき場合に何故小賣商の數が斯くも増加したるかといふことを研究せねばならぬ。現在の小賣商は多く競争場裡に於ける劣敗者である。彼等は大量資本を以て花々しく同業者と競争することが出来ないものであるから、比較的少なき資

何故に小賣商は多くの口錢を要求するか

賣買制度の改善

本を以て相當の利益を得ることの出来る位置を求めねばならぬ。而して小賣業は最も劣敗者に取りて便利よき場所であるから、彼等は何れも小賣商の群に投じ來るのである。私共は大都會に於て往々小區域の中に青物店、魚店、菓子店等が十軒乃至十數軒存在して居るのを見るのである。而してこれは必しも大都會に特有の事實ではない。私は嘗て友人から聞いたのであるが、伊豆の以東町は戸數僅かに二千に過ぎないに拘らず、八百屋の數は五十三軒に達して居るといふことである。若し果して然らば約四十戸で一軒の八百屋を支へてをる割合となる。以東町に於て野菜の高價であるのは決して怪しむに足らないのである。

東京市内に約四千五百軒の魚店があることは前に述べたる通りであるが、これによりて見れば各區に三百軒の魚店がある割合となる。若し各區に公設市場各三十戸を設け、一市場毎に三人の魚商を許すこと、すれば、魚商の數は千三百五十人で足りるのである。私共は賣買制度を改善することにより斯の如く商人の節約を行ふことが出来る。然らば將來に於ける賣買制度の改善は如何なる方面に於て行はるべきかといふに、私共は主として左の二點に注意することが必要であると思ふ。第一は卸賣商の全廢といふことである。若し生産者の手から直接消費者の手に物品を引き渡す事になつても、小賣商人の全廢は殆ど不可能であるが、卸賣商の廢止は必しも困難でない。彼の英國に於て盛に行はれて居る所の消費組合を見れば、今日の所謂卸賣商は殆どこれを全廢することが出来る。即ち英國の消費組合に於てはイングランド及びスコット

ランドに各、一個の卸賣會社を有するのみであつて、此二會社の手を経てあらゆる貨物は數千の小賣店に分配せられて居る。これによりて見れば賣買制度の改善は先づ卸賣商の廢止から始めなければならぬ。第二は小賣商人の人數を減少することである。よし公設市場を設け、若くは消費組合の制度を採用するとしても全く小賣商人を廢止することは不可能であるけれども、公設市場によるも若くは消費組合によるも著しく小賣商人の數を減じ得ることは疑なきことである。私は第六編に於て消費組合に關し比較的詳細に論ずる積りであるから、今は單に數言を費すのみで充分であると思ふ。消費組合の目的は出來得るだけ仲介者なる階級を除き、消費者と生産者とを接近せしむるに在る。今日英國或は其他の諸國に於て消費組合が大なる成功を遂げてをることは現今の賣買制度に對する不信任の判決であるといふも決して過言ではあるまい。

私は最後に數字を以て仲介者なる者が恰も條蟲の如く國民の營養分を吸収しつゝ、あることを示して見たい。千九百九年の統計によれば其年に於ける合衆國の收入總額は四百二十億圓であつた。其中二百四十億圓は原料代、九十億圓は俸給及び賃銀、二十五億圓は資本金に對する利子、十億圓は減損補填金、十億圓は諸雜費であつて、仲介者たる商人、行商、廣告人等に拂はれたる金額は四十五億圓であつた。勿論今日の賣買制度を改善したとて四十五億圓を悉く節約することの出來ないのは言ふ迄もなきことであるが、同時に種々なる改善によりて其半ばを減ずることの出來るのは疑なきことであると信ずる。

仲介者の
減少から
生ずる節
約

投機

無益なる消費として私は賣買制度の不完全なることを論じたのであるが、更に現經濟制度の産み出したる無益なる消費の實例として投機の事を論じて見たいと思ふ。私は投機のために如何に莫大なる資本が浪費されつゝ、あるかにつき精確なる統計を有して居ないけれども、其額が毎年數億圓乃至數十億圓に達することは私共が容易に想像し得る所のことである。現在の經濟制度に於ては株式取引所或は米穀取引所の如き機關によりて貨物の相場に對して一定の標準を示すことは必要のことであるかも知れないが、然し今日の有様を以てすればこれ等の機關が極端に濫用せられつゝ、あることは周知の事實である。言ふ迄もなく貨物の相場は需給の關係によりて定まるべきものであるが、然も人爲的にこれを變動せしむるに至りては其弊害の及ぶ所決して少なくない。殊に米の如き主要食料品を投機の具となすは決して宜しきことでない。最近二三年間に於て我國に於ける物價の變動が屢々投機者の惡辣手段によりて誘致せられたことは何人も容易に認むることの出來る事實である。政府はこれに對して種々なる取締法を實施したけれども充分に其效を奏することが出來なかつた。要するに人民の多數は少數なる投機者のために常に犠牲になつてをるといふ有様である。然し現在の社會制度は單に少數の専門的投機者を生ずるのみでなく、社會の各方面に於て投機的氣分を養成しつゝ、あると言ふことが出來る。今日の如き貨幣制度が維持せられる限り物價の變動は到底免れる事が出來ない。寧ろ物價の變動が經濟界の常態であると言ふのが適當であらう。これがため商業家の多數は單に仲介者とし

ての手数料だけでは満足せず、物價の騰落によりて奇利を博せんとする様になる。現在に於ける商業家の多數が或意味に於て投機者であることは何人も拒むことの出来ない事實である。斯の如くして彼等の大多數は投機者となるのであるから、彼等の内から多數の失敗者を出す様になるのは實に已むを得ないことである。投機によりて莫大なる資本の浪費されつゝ、あることは勿論のことであるが、多數の商業家も今日の如き投機的社會に於ては已むなく少なからぬ資本を浪費するが如き位置に立つてをる。故に私は投機を以て無益なる消費の一つとして數へ度いのである。

私共は現在の社會から如何にして投機的分子を除去することが出来るであらうか、これは私共にとりて最も重要な社會問題の一つである。要するに投機的の氣分は物價の變動といふことによりて養成されるのであるから、投機的分子を除去するには先づ物價の變動といふことを防止する方法を講ぜねばならぬ。而してこれを實行することはあらゆる産業を國家の手にて行ふより外はない。例へば米の官營を行ふことが出来たならば米相場といふことは全然これを撲滅することが出来る。米の官營は政府と人民との間に直接賣買の行はれることを意味するのであるから、投機的賣買の行はれる餘地はない。且つ政府が米の賣買を一手に行ふこと、なれば、米價も今日の如く甚しき變動を來すことはなくなるに相違ない。故に社會主義の主張するが如くあらゆる産業は國家の手にて行ひ、一切個人的經營を禁ずること、なれば、あらゆる投機的

投機の防止法

分子は現在の經濟界から除去されることになる。斯の如くして投機より生ずる莫大なる浪費を防止することが出来る。社會主義があらゆる方面に於て無益なる消費を防止し得ることは尙詳しく第九編に於て論ずる積りである。

私は更に進んで自由競争制度から生ずる所の浪費に就いて述べて見たい。自由競争はこれを精神界に適用して其効果を充分に認むることが出来るけれども、これを物質界に應用する時は利害殆ど相半ばする様な結果を生ずることになる。私共は自由競争の利益は充分にこれを認めざるを得ないのであるけれども、一方に於ては自由競争のために何れの國も高き價を拂ふて居ることを記憶せねばならぬ。物質界に於て自由競争を奨励することは全く時代遅れの思想ではないかと思はれる。今日は自由競争よりも寧ろ共働主義の必要を高調せねばならぬ時代である。然るに尙自由競争を金科玉條として信じて居る者の少なくないことは悲しむべきことである。私は先づ自由競争制度から生ずる浪費の實例として廣告及び戦争に就き少しく思ふ所を述べて見たい。

廣告のためにする費用は廣告する人に取りて必しも浪費ではない。寧ろ有利なる投資法であるかも知れぬ。然し社會全體といふ見地から見れば廣告は確かに大なる浪費である。而して消費者は總てその廣告費を負擔せねばならぬのであるから、彼等は商業家の競争が激烈になればなる程益々其負擔を増すことになる。従つて彼等は貨物に對してより多くの値段を拂はねばな

自由競争の弊

廣告

らぬのである。今日の廣告は何れの點から見ても益々大規模となりつゝある。商業家の成功は多く廣告術の巧拙に因るとさへ言はれて居る。斯の如く廣告術に於て優劣を争ふ必要があるために廣告意匠を職業とする専門家さへ現はれるに至つた。今や電氣全盛の時代であるから、各商店は電氣を以て飾窓を照し、或はイリュミネーションを用ひて客を引くといふことに最大の努力をなして居る。殊に化粧品に如きに至りては思ひ切つて大々的に廣告をなして居る。多くの新聞雜誌が殆ど廣告から得る所の収入によりて維持されつゝあることを見れば、我國民が毎年度廣告の爲めに二三億圓の金額を費しつゝあることは疑ひなきことである。言ふ迄もなく廣告は競争の結果であるから、獨占事業の如き競争の必要な場合に於ては全く廣告をなさないのである。私共が新聞雜誌に於て東京電燈會社若くは東京瓦斯會社の廣告を見ないのは全くこれがためである。我國に於て煙草製造業が個人によりて經營せられた時代には競争の結果大規模の廣告が行はれたのであるけれども、今日の如く煙草製造が官營になつてから全く廣告なるものを見る事が出来ない様になつた。斯く論じれば廣告は全く現代の自由競争制度が産み出したる結果であることは明かであつて、廣告から生ずる浪費を防止せんと欲するならば、先づ自由競争を止めて共働主義に進んで行かねばならぬ。

奢侈は個人的若くは社會的見地から見ても確かに責むべき所の罪惡であるけれども、現今の社會に於てこれを廢止することは容易のことでない。何となれば奢侈も亦一種の廣告的意義を有

奢侈も一
種の廣告

するに至つたからである。世には人氣商賣と稱するものがあつて、門戸を張り、美服を纏はなければ到底成功することが出来ない。醫師及び辯護士の如きは其實例である。然し斯の如きことは奢侈としても極めて程度の低きものであるけれども、中には數千圓乃至數萬圓の金を投じて盛なる宴會を催すが如き實例も少なくない。近頃には宴會のため一人前百圓の費用を惜まない所の成金もあると言はれて居るが、私共は此事實を見て單に奢侈とのみいふことは出来ない。彼等は斯る浪費をなしつゝある間にも、尙これを以て廣告川となす者が少なくない。甚しきに至りては妻女に美服を纏はしめて宴會に臨むが如きことも多少自己廣告の意味を含んで居るといふことが出来る。私は決して奢侈的行爲を辯護する者ではないけれども、今日の如く廣告の必要な時代に於て奢侈を禁ぜんとするのは全く無理な注文であると思ふ。たとひ如何なる手段を用ひても現代に於ける奢侈的行爲を禁ずることは全く不可能であると言はねばならぬ。故に奢侈は全く自由競争制度の産み出したる浪費であつて、社會的にこれを見れば一大罪惡であるといふて差支はない。若し自由競争制度を全廢することが出来るならば、廣告費及び奢侈費は全く不必用となる。従つて人類の幸福は甚しく増進せられるのである。

私が前に述べたる通り今日は既に競争主義の時代を過ぎて共働主義の時代に進まんとして居る。試みに人類の歴史が今日迄發達したる過程を考ふる時には、私共は其處に競争主義の没落を認めざるを得ない。野蠻時代に於ては部落競争が盛に行はれたのであるが、時代は何時の間

競争主義
から共働
主義へ

にか推移して種族の競争となつた。更に進んで小國家の戰國時代となつたのであるが、今や國際聯盟のために國際間の競争も終を告げんとして居る。斯の如く政治界に於ては共働主義が競争主義に取つて代らんとする形勢を示して居るのであるが、これに比すれば産業界の進歩は實に遅々たるものと言はねばならぬ。政治界に於ける競争は既に弊害否罪惡として卻けられんとして居るに拘らず、産業界の競争が寧ろ奨励されつゝ、あるのは一の奇觀であると言はねばならぬ。彼の小賣店の間に行はれつゝ、ある競争の如きは全く無益である。然も多數の人々がこれを是認し若くは奨励して居るのは實に不思議と言ふべきである。すべて小規模の組織には多くの浪費がある。牛乳配達と郵便配達との間に大なる相違のあることは何人も容易に了解して居るに相違ない。即ち數十の牛乳業者が各々配達夫をして全市に配達せしめつゝ、あるに反し、郵便配達は多くの區域を定め、各配達夫をして各區を分擔せしめて居る。約言すれば牛乳配達は競争主義であつて、郵便配達は共働主義である。近來に至りデパートメント、ストアが漸次勢力を占めつゝ、あることは、全く小賣店の間に行はれつゝ、ある競争制度の失敗を證明するものと言ふべきである。

實業家の多數は口に自由競争の必要を唱へ乍ら、實行に於てはこれを避けることに吸々として居る。所謂富豪なる者が莫大なる富を積むことの出來たのは、彼等が自由競争の行はれる事業を選択した爲ではなく、寧ろ競争を許さない所の獨占事業を占領した、めである。別言すれ

實業家は競争を好まず

ば、彼等は決して競争の激烈なる所に突進することを好む者ではなく、反つて競争の少き處に於て事業を經營せんことを希望するのである。我國に於ても外國に於けると同じく、殆んど富豪の全部は獨占事業によりて其富を得て居ることは明なことである。若し彼等が嘗て競争を試みたと言ふことがあるとしたならば、彼等は單に獨占事業を占領するために同業者と競争を試みた位のことである。而して一度獨占事業を己の物とすれば、彼等は最早同業者の競争を恐れる必要は無くなるのである。斯の如く論じれば自由競争は實業界の金科玉條ではなく、實業家に取りては一大禁物である。斯の如く實業家は其言ふ所と其行ふ所とに於て大なる撞着を示してをる。然し以上述べたる所の事は多く富豪に適用すべき所の事であつて、小實業家は依然として競争制度のために大なる苦痛を感じて居る。若し今日の經濟組織を改善して恰も軍隊組織の如き秩序あるものとならしめたならば、これがため多くの浪費は直ちに廢止せられるに相違ない。私が言ふ所の軍隊組織なるものは全く比喩的であつて決して強制的組織を意味するものではない。私は軍隊主義其物に對しては絶體的に反對する者であるけれども、其組織の極めて秩序的であり、經濟的であることに對しては、産業界も大いに學ぶ所がなくてはならぬと思ふ。軍隊其物は競争を目的として起つたものであるけれども、組織其物の中には唯共働のみがあつて、無益なる競争といふ者がない。若し産業界が競争主義から共働主義に變化しなければ今日の如き莫大なる浪費は斷じてこれを中止する譯に行かぬ。

競争制度が生じたる最も恐るべき結果は戦争である。而して戦争位恐るべき浪費を來すものはない。今日迄行はれたる戦争は多く利権を得ることを目的とした。古代の戦争は此點に於て最も露骨であつたと言ふことが出来る。何となれば弱者の財産を劫奪するといふことが其目的となつて居たからである。今日の文明人は公然戦争を以て奪掠と言ふ程に露骨では無い。正義の戦争とか文化の戦争とかいふ美名を以て其真相を蔽はんとして居るけれども、由來戦争が果して正義であり或は文化のためであるかは極めて疑はしいことである。言ふ迄もなく奪掠を蒙る弱者の方から言へば、戦争が正義のためであり若くは文化のためである場合もあり得る。然し少くとも一方の相手が利慾を目的として居ることは疑が無い。此度歐洲の戦争が終りを告げ、私共が靜かに過去を顧みて戦争の起因、經過、及び其結果に就き考ふる時には、私共が果して戦争により利権を得ることが出来るや否やに就き大いに疑はざるを得ないのである。大戦争が齎らしたる精神的結果は別として、何れの國民が此戦争により利権を得たのであるか。換言すれば何れの國が歐洲戦争の結果最も大なる經濟的利益を得たのであるか。恐らくは米國すらも戦争のため得たる所の利益だけでは到底戦費を償ふことが出来なかつたであらう。戦争により利権を得ることが出来るといふ或一部の人々の空想は全く裏切られたといふことが出来るではないか。今や如何なる階級の人も戦争が産み出す所の惨果を知つて居る。彼等は何れも國際聯盟といふが如き手段に由りて戦争を未然に防がんとして居る。若し國際聯盟の力により未來

の戦争を防止すると共に、世界各國に於ける莫大なる軍備を廢止することが出来るならば、私共は此處に競争制度から生ずる所の一大浪費を除去し、人類の幸福を増進することが出来ると思ふ。

以上は現代に於ける經濟組織の缺陷から生ずる無益なる消費に就いて論じたのであるが、私は更に進んで人類の罪惡から生ずる所の浪費に關して少しく述べることにする。チャールズ、エフ、ドールは米國人の浪費を左の如き項目に別けて擧げて居る。即ち千九百九年に於て米國人が爲したる浪費は大略次の如きものであつた。第一怠惰、罪惡、犯罪、白痴、癡狂のため市及び州が負擔した所の金額は五億弗、酒類のため費したる金額は十億弗、其他疾病のために三十億弗、火災のために二億弗、不經濟なる食物の消費のために十億弗、不用なる自動車のため三億弗乃至四億弗等である。尙千九百九年に於ける米國の全収入は二百十億弗であつたから、以上ドールの述べたる浪費は全収入の約三割に當るのである。此等が悉く罪惡の結果であるとは言へないけれども、白痴、癡狂の如きは言ふ迄もなく罪惡の結果と見ることが出来る。疾病も亦或程度迄罪惡に原因して居ると見るべきである。殊に飲酒に至りてはこれを國民的罪惡と稱するも決して不當でないと思ふ。唯最後に述べたる火災、不經濟なる食物の消費及び不用なる自動車といふが如きことはこれを罪惡と稱するのは言ふ迄もなく適當でない。然しこれを經濟制度の缺陷から生ずる所の浪費と稱することも適當でないから、私は假に罪惡といふ分類の中

に列挙することにした。

ドールは米國人の酒類に對する浪費の金額を十億弗と計算したのであるが最近の統計はこれを十七億五千萬弗と計算して居る。タウンの「社會問題」の中には飲酒に關して面白き記事がある。ボストン慈善會の禁酒教育委員が近頃禁酒運動を試みたる際招牌(ポスター)に次の如き文句を記載したと言ふことである。

合衆國に於ける一年間の飲酒費

一、七五〇、〇〇〇、〇〇〇弗

此金額を利用すれば次の如き結果を得べし

(1) 四十八州に於て各々十個の病院を新設し、これに對して各々十萬弗の建築費と五十萬弗の基本金を與ふること、而して其金額は

二八八、〇〇〇、〇〇〇弗

(2) 各州に四個の大學を設け、各々建築費百萬弗、基本金百萬弗を與ふること

三八四、〇〇〇、〇〇〇弗

(3) ニューヨーク市より桑港に至る迄の道路敷設費として千萬弗を與へ、更に支道を敷設するため各州に百萬弗を與ふること

五八、〇〇〇、〇〇〇弗

(4) 各々二千弗の費用を投じて小兒專用運動場一萬個を設くること

二〇、〇〇〇、〇〇〇弗

(5) 公立學校(小學校)に於て工業教育を授くるため各州に千萬弗を與ふること

四八〇、〇〇〇、〇〇〇弗

(6) 各州に五十個の圖書館を設け、各々十萬弗の建築費と十萬弗の基本金を與ふること

四八〇、〇〇〇、〇〇〇弗

尙四千萬弗の餘利あるが故にこれは酒店の代りに市設娛樂場を設くるために費すこと、すべし。

以上述べたる所は禁酒運動のために立案せられたる意見に過ぎないのであるが、然し米國民が禁酒を斷行すること、なれば、これによりて如何に多くの有益なる事業をなし得べきかを考へることが出来る。然しこれは單に米國のみのことではない。英國の如きは酒のために毎年少くとも一億磅の金額を費して居るといふことである。我國に於ては酒類のために幾何の金額を費しつゝあるか、これを精密に計算することは出来ないけれども、私は大體に於て左の如く計算することが出来ると思ふ。酒造家の言ふ所によれば、一石五斗の酒を造るには約一石の米を要する。而して一石の酒に對する小賣値段は必しも一定して居ないけれども、これを百圓と見積ることは必しも不當ではあるまい。然らば一石の米は酒として百五十圓の小賣値段を有する

のである。數年前迄は酒のために費されたる米は四百萬石に過ぎなかつたのであるが、政府の言ふ所によれば、大正八年度に於て酒のために費されたる米は殆んど五百萬石に達したといふことである。若し左様であるとすれば我國民が毎年酒のために費す金額は七億五千萬圓に達するのである。若し我國民が禁酒を斷行することが出来るならば、此金額は多く有益なる事業のために費され、國民の幸福はこれに由りて多く増進せられるのである。

國民の浪費は單に酒に對するのみではなく、不品行に對しても多く行はれて居るのである。金澤市は大正八年四月内務大臣の認可を得て遊興税を徵收することにしたのであるが、同市に於ける近年の遊興費は毎年百萬圓に達するといふことである。東京市に於ても遊興税を徵收するといふことが市當局者の問題となつたのであるが、彼等はこれによりて毎年八十萬圓乃至百四五十萬圓の收入を得るといふ見込らしい。果して然らば東京市に於ける遊興費は毎年少なくとも三千萬圓乃至四千萬圓に達して居るといふことが出来る。私共はこれ等の消費が單に浪費ではなくして、有害なる消費であると斷言することを憚らない。斯の如き浪費若くは有害なる消費が繼續する限り、多數の國民が常に貧乏の状態に在るといふことは決して怪むに足らないのである。

不品行より生ずる浪費

第二節 不充分なる生産

不完全なる經濟組織

現今の經濟組織の下に於ける生産は各方面より見て甚だ不充分であると言はねばならぬ。言ふまでもなく生産の要素は土地、勞働及び資本であるが、何れの點から見てもこれ等の要素が充分に利用されて居ると考へることが出来ない。何故に生産要素が充分に利用されて居ないかといふに、これは必ずしも人類の知識の不充分なるがため、若くは科學の進歩の幼稚なるといふことに原因して居るのではなく、全く經濟組織の不統一に基くものと言はねばならぬ。現今に於ける科學の進歩は決して幼稚なるものでなく、寧ろ何人も其進歩に驚く位である。若し人類が科學の示す所に従ひ、現代の發明及び發見を直ちに生産事業に應用することが出来るならば全世界に於ける生産は忽ち數倍乃至數十倍の増加を見るに至ることは明である。私共は果して土地、勞働及び資本を遺憾なき迄に利用して居るかと言ふに決して左様では無い。地球上に於ける土地は殆ど人類のために占領されて居るが如く見ゆるけれども、尙利用すべき所の土地は少なくない。殊に勞働に至りては人口過剩に苦しむ位であるから、其不足を感ずるといふことは決してないのである。資本は比較的小額であるかも知れないが、現今の經濟組織を改善さへすれば、資本の利用法も一層進歩することとなり、尙又資本の増加を圖ることは決して困難でない。然るに人類は未だ不完全なる經濟組織の下に支配されて居るのであるから、残念にも

これ等の要素を充分に利用することが出来ない。この點から見ても人類の多數が尙貧乏の状態にあるのは寧ろ當然の事であると言ふべきである。

先づ土地の利用法に就いて考ふれば、我國の如きは他の諸國に比して甚しく劣つて居る様に思はれる。今各國に於ける耕作地の面積を國土の面積に比すれば左の如き統計を得るのである。佛國は國土の全面積に對し約五割九分を耕作して居る。而して獨逸は四割九分、以太利は四割八分、瑞西は一割八分である。然るに我國の耕作地面積は僅かに一割五分二厘に過ぎない。何人も知れる如く瑞西は四面山を以て圍まれたる國であるに拘らず、尙一割八分に達する耕作面積を有し、更に牧場を加算すれば四割以上に達するといふのである。これに對すれば我國の一割五分二厘といふことは全く我國民が土地の利用に對して比較的冷淡であるといふことを證明するものである。數年來米價の騰貴が國民の一大問題となつた時、政府は新に開墾を試みるため全國を通じて精密なる調査を行ふたのであるが、其結果開墾により新に三百萬町歩の耕作地を得ることが決して困難でないことを發見した。これがため政府は重なる實業家を勧誘して開墾會社を設立せしめ、これに對して相當の補助を與ふることにした。尙個人的開墾者に對しても若干の補助を與へることにしたのであるが、これ等は何れも議會の協賛を経たものである。元來我國の政策は主として都會に於ける商工業者を保護するに止まり、地方に於ける農家に對しては比較的冷淡であつた。勿論政友會の如き政黨は農民黨と言はれる程農家の利益を謀るに

熱心であつたけれども、彼等の所謂保護は單に中流以上の農家のみに行はれ、所謂小作人階級は殆ど何等の恩恵に浴することが出来なかつた。換言すれば小作人の位置を如何に改善すべきかといふが如きことは政友會に取りて殆ど重要な問題ではなかつた。我國の農家が耕作する所の平均面積は僅かに一町歩であるが、斯る小面積の田畑を耕作して平均六人の家族を養ふことは容易の事でない。私は文明國の中に斯る小面積の土地を耕しつゝ、ある實例を聞いた事が無い。我國に於ける農家の多數が貧乏なる生活を送りつゝ、あることは決して不思議なことではないのである。然らば何故に今日迄我國に於て土地開墾が行はれなかつたのであらうか。前に述べたるが如く新に開墾し得べき三百町歩の土地があるに拘らず、何故我農家は平均一町歩の耕作地を以て満足して居たのであらうか。若し我國民が瑞西人の如く傾斜の多き土地を牧場として利用したならば、其處にも亦土地の利用が出来るではないか。ゆゑに我國民が土地利用法を怠つて居る限り、貧乏の状態を免れることの出来ないのは自業自得と言ふべきである。然し農民のみを責むるのは餘りに残酷であるかも知れぬ。寧ろ政府が其責任の大部分を負ふべきではないかと考へる。我國の農業が今日迄遅々として進歩しなかつたのは國民の怠慢といふより寧ろ産業組織の缺陷に起因してをるといふのが當然であると思ふ。元來資本は利子の多き所に投ぜられるのが自然の勢である。都會の工業及び商業が年一割乃至三割といふが如き利益を生ずる場合に於て、資本の大部分がこれ等の事業に投資せられるのは決して怪しむに足らない。日

本銀行の調査したる所によるも、農業に於ける利益は平均年一割に達しないのである。斯る状態の下に於て誰か農業のために大資本を投ずる者があらうか。現今の如く自由放任を原則とせる經濟組織の下に於て資本が悉く都市に集注する傾向を示して居るのは當然のことである。換言すれば今日の社會に於て資本の分配は全く一方に偏する様になつた。斯の如き弊害を除去することは到底個人の力によつて成功すべきものでないから、國家自ら其責に任ずるのが當然である。而して今日の如く國家がこれを放任してをるといふことは社會政策の上から見ても大いに非難すべき事である。以上述べたる事は單に農業のみでなく、山林事業の如きに對しても適用することが出来る。故に私は土地の利用法の不充分なることも確かに貧乏の大なる原因の一つであると信ずる。

土地に關聯して述べねばならぬことは動力の利用といふことである。蒸氣の發明によりて生産事業が驚くべき發達をなしたことは茲に喋々する必要はないが、今後に於ける重要な動力として人類は最も多く水力電氣を利用するに相違はない。水力電氣は自然が人類に與へたる最も有利なる賜である。若し人類が充分にこれを利用すること、なれば私共の生産は幾十倍の増加を來すことになるかも知れぬ。抑々現今の社會問題を産み出したのは蒸氣の發明であるといつても差支はない。何となれば蒸氣の發明は工場工業の發達を促し、工場工業の發達は今日の所謂勞働問題を産み出したからである。更に水力電氣が發明されてから、工場工業は一層其弊

動力の利
用

牛馬の利
用

害を助長する様になつた。然しこれは決して動力の罪ではなくて産業組織の罪であると云はねばならぬ。若し今日の如き産業界に於ける自由競争制度を廢してこれに代ゆるに共働主義を以てすることが出来たならば、小規模の工場は悉く大規模の工場となり、充分に蒸氣や水力電氣を利用すること、なるに相違ない。言ふまでもなく小工業の分立は競争主義の結果であつて、其不經濟であることは多言を要する迄もない。これに反して大規模の工業は充分に水力電氣の如き動力を利用することが出来るから、人類の生産力は驚くべき増加を來すこと、なる。其結果勞働者は一面に於て收入の増加を來すと共に、一面に於ては勞働時間を短縮することが出来る。勞働時間の短縮は勞働者に修養及び娛樂の機會を與へること、なるから、勞働者も終に奴隸の境遇を脱し全く自由の人となることが出来る。斯く論じ來れば蒸氣及水力電氣は一時不幸にして人類の多數を奴隸の状態に陥れたのであるが、今や彼等は自ら勞働者に代りて奴隸の位置に立ち、以て勞働者を救済せんとして居る。故に私は水力電氣を以て物質界に於ける救主であると斷言することを憚らない。然るに今日の經濟組織は此救主をして充分に其力を發揮せしむることをしない。又小數の資本家は是等の動力を獨占して、其救済力の他人に及ぶことを妨害する様な態度を取つて居る。人類の貧乏はこれに原因して居るといふことが出来る。

土地及び動力の利用が充分に行はれて居ないことは前に述べた通りであるが牛馬を利用することすら未だ充分でない。我國に於ける農業は近代の蒸氣機械を利用しないといふ點に於て他

の文明國に劣つてをるのみでなく、其耕作面積の小なるがため、牛馬を用ゐて居る農家すら極めて少ない。普通一人の農夫は一町三段歩位を耕作することが出来るが故に、平均一町歩を耕作して居る農家には牛馬を用ゐる必要がない。まして蒸氣機械を用ゐるが如きことは經濟上から見て全く不可能である。言ふ迄もなくこれも經濟組織の缺陷から來つた所の結果であつて、農夫の無智無能に原因して居るのではない。今日の經濟組織が自由放任主義を原則としてをるがため、必要以上に多數の人々が農業に従事して居る。我國に於ては農家の數が總戸數の半ば以上を占めてをるのであるが、私共は他の文明國に於て左様な極端なる例を見た事がない。斯の如き結果を來したのは全く政府の責任であつて、農夫夫れ自身の責任ではない。若し政府が人口の分配を適宜に行ひ、農業に於ける過剰の人口を牧畜若くは漁業若くは商工業に移轉せしむるといふ方針を取つたならば、今日の如く多數の小作人を貧乏の状態に陥れる筈はないのである。更に土地の國有を斷行するだけの勇氣があるならば、我國に於ても或程度迄大農組織を行ふことが出来る。例へば武藏野、濃尾平原、大阪平原等に於て最新の農業機械を適用すること、なれば、比較的少數の農夫を以て大なる收穫を見ることが出来る。更に大農組織を適用することの出來ぬ地方に於ても牛馬を利用することには何等の障害が無いのであるから、私共は大力以外に有效なる多くの力を利用することが出来るのである。私共は此點に於ても生産の増加を謀る手段を有して居るのである。

失業より
生ずる派
費

次に述べねばならぬ事は現社會に於て多くの勞働力が浪費されつゝ、あるといふことである。勞働力の浪費はこれを不充分なる土地の利用に比すれば一層甚しきものがある。而して土地の利用が充分に出來ないといふことは其結果の及ぶ所單に經濟的損失に止まるのであるが、勞働力の利用が不充分であるといふことは經濟的損失と共に勞働者自身の大なる不幸を來し、從つて重大なる社會問題を惹き起すのである。私の所謂勞働力の浪費といふことは失業者を意味するのである。何れの國に於ても常に數萬乃至數十萬の失業者を有して居るのであるが、一朝不景氣の襲來若くは戰爭の終局に遇へば更に多數の失業者を出すこと、なる。勿論一年間を通じて失業者の數は極めて少數であるに相違ないけれども、一二月乃至五六ヶ月を通じて失業者の數は決して少なくない。私は具體的に失業の状態を示すために合衆國の勞働局が公にしたる第十二回統計表(一九〇〇年)の中から左の數字を引照することにする。即ち一年間に於ける失業者の數を彼等が失業したる期間の長短により分類したものである。

失業期間	失業者數
一ヶ月—三ヶ月	二、五九三、一三六
四ヶ月—六ヶ月	二、〇六九、五四六
七ヶ月—十二ヶ月	五六四、七九〇

若し第一の一ヶ月乃至三ヶ月間といふことが平均六、一二週間失業したものとし、第二が一

七、七一週間、第三が二八、五一週間失業したものとすれば右に述べたる失業労働者が失業したる合計は六千八百四十一萬六千八百六十一週間となる。更に各労働者が毎週六日間労働するものと假定したならば、私共は前記の數字を六倍することにより、合衆國に於ける一年間の失業總高は當に四億一千五十萬一千一百六十六人の労働力に匹敵することを發見するであらう。若し又労働者の平均一日の賃銀が二弗であるとすれば、合衆國が一年間に於て失業のため損失する所の労働力は當に八億二千一百萬二千三百三十二弗となる。今回の歐洲戦争が終りを告げた時英國及び獨逸に於ては多數の失業者を生じ、國家はこれに對して相當の失業手當を與へざるを得ない様になつた。一九一九年三月に於て英國の失業者數は百萬人以上に達したのであるが、之に對する國庫の補助は毎週百三十萬磅であつた。獨逸に於ても一九一九年一月には百萬人の失業者を出しベルリンだけでも二十五萬人に達したといふことである。而して一人に對する一日の失業手當は普通八マークであつたから、政府が毎週支出した所の金額は五千六百萬マークであつた。失業は現代に於ける一大問題であつて、恐らくは今日の經濟組織の缺陷を最も有効に曝露する點に於てこれに優るものはあるまい。何となれば現代の社會は斯の如く惜氣もなく有用なる労働力を放棄して居るからである。

労働力の浪費は單に失業者の場合に於てのみならず、更に寄生的生活を爲しつゝ、ある富者の場合に於てもこれを見ることが出来る。何れの國に於ても公債及び株券からの莫大なる利子に

怠惰なる
富者

よりて衣食し、何等社會のために勤勞しない所の富者がある。斯の如き人々は「怠惰なる富者」と呼ばるべき者である。ロイドジョージは嘗て英國に於ける斯の如き「怠惰なる富者」の數が二百萬に達して居ることを言つたのであるが、これは決して過言ではあるまいと思ふ。若しこれ等の人々が何等かの職業に従事して平均一千磅の富を生ずるとしたならば、彼等は毎年二十億磅の富を生ずることの出来るは疑なきことである。私共は此處にも莫大なる労働力の浪費が行はれて居ることを見るのである。要するに現時の社會組織には統一といふものがない。換言すれば人物を其必要なる所に配置することが出来ないのである。若し軍隊組織を適用して、適才を適所に用ゐ、而も總ての人を悉く働かしむるといふことにしたならば、今日の生産は驚く可き増加を來すに相違ない。私は軍隊主義に對して同情を有する者では無いけれども、其組織の經濟的なることに對しては贊同の念を禁ずることが出来ないのである。

更に現在の産業組織に於て大いなる缺陷のあることを記憶せねばならぬ。若しあらゆる生産者が其力の限りをつくして生産することが出来るならば、現社會に於ける生産は驚くべき額に達するに相違ない。然し生産者は決して彼等の思ふ如くに其の生産力を發揮することが出来ない。或程度迄達すれば彼等は已むなく其生産を中止し、若くはそれを減少しなければならぬ。これは經濟學に言ふ所の需要供給なる原則に支配せられるがためである。生産者が其生産力を無限に發揮することの出来ないといふことは、如何にも不思議なることの様に見えるが、現

需要供給
の過剰

在の經濟組織に於て總ての生産が需給の原則に拘束せられることを考ふれば、何人も容易にこれを了解することが出来る。若し私共の生産が單に私共の要求を満足せしむるために行はれて居るものとすれば、總ての生産は無限にこれを増加することが出来る筈である。然るに私共の生産は直接私共の要求を満足せしむるためではなくて、先づこれを賣らんがためである。現經濟組織に於ては、如何なる生産者も其生産物の大部分を市場に送り出すために生産して居るとは事實である。換言すれば生産者は何れも賣らんがために生産して居るのである。此處に現經濟組織の一大缺陷が存在して居ることを知らねばならぬ。經濟學の原則に従へば、貨物の數量が増加すればする程其價を減ずることになる。故に賣らんがために生産して居る所の生産者は其損失を免れるために全く生産を中止するか、若くは其生産高に制限を加へねばならぬ。故に私共は彼の生産超過といふ不自然なる經濟現象を考ふる時には、現經濟制度の如何に不完全なるかを感じざるを得ないのである。

米國に於て最も盛に行はれて居る所のツラストなるものを考へる時には私が只今述べたる所の事が確かに事實であることを了解することが出来る。ツラストとは大規模の企業をいふのであつて、其目的は自由に物價を左右するといふことにある。彼のロッキンフューラーが經營せる石油ツラストの如きは其最も著しき實例と見ることが出来る。如何なる企業も一國內に於ける同業者の大部合を聯合せしむることが出来れば、殆んで獨占事業に等しき勢力を得ることとなる。

ツラスト
と供給制
限

斯の如くして殆んで競争なるものを杜絶することが出来れば、己の生産物に對して比較的高き値段を要求することは決して困難でない。若し其生産物の値段が下落する様な事があれば、ツラスト業者は直ちに其供給を手控して其値段の騰貴を圖るのである。斯の如く常に供給を手控へるといふことは、私共が前段に於て見たるが如く、或程度迄あらゆる生産事業に於て行はれつゝ、あるのである。換言すればツラスト業者が其生産物の値段を騰貴せしむるために生産物の供給を手控へするの、普通の生産者が其生産物の下落を恐れて其生産高に制限を加へるのも同一の原則に因るのである。

甚しきに至りては値段引上げのために生産を制限するのみでなく、時には既に生産されたるものを滅失する様な事がある。佛國の社會主義者として有名なるフリーエーは少年時代に於てマルセイユの或穀物店に働いて居たのであるが、彼は一日驚くべき事實を實見して遂に社會主義の思想を抱く様になつたといふことである。其當時佛國は飢饉のために苦しめられたのであるが、マルセイユに於ては殊に慘憺たる光景を呈した。一日多量の穀物を積んだる船が入港したのであるけれども、穀物店はこれを荷上げすることにより穀價の暴落を來す虞があるから、終に店員をして其穀物を悉く海中に投ぜしむることにした。これが其當時一青年であつたフリーエーをして社會制度の缺陷を感じしむるに至つたのである。私は又米國の某雜誌に於て次の如き記事を読んだことを記憶して居る。或時多量のバナナを載せたる貨車がシカゴ市に到着せ

値段引上
を目的と
する貨物
の滅失

んとした時、これを注文したる問屋はバナナの値段が一時に下落することを防止するために、數臺の貨車に積みたるバナナを悉く河中に投棄したといふことである。これ等の事實は如何にもよく現經濟制度の矛盾を證明して居るものではないかと思ふ。賣らんがために生産するといふことは現經濟制度の下に於ては已むを得ぬことであるけれども、これがため生産が中止せられ、若くは生産物が破壊せられることは當然起るべき事實として承認せねばならぬ。斯の如くして私共の生産力が充分に發揮されて居ないといふことは少しも怪しむべきことでない。

尙一つ考へて置かねばならぬことがある。若し生産なるものが單に人類の要求を満すといふことを目的として居るならば生産高の増加に對しては何人も喜ぶべき筈ではないか。何となれば生産物の増加は人類幸福の増進を意味するからである。然るに現經濟制度の下に於ては生産の増加を喜ばない場合が度々起つて來るのである。例へば農夫が米の豊作を喜ばないと言ふことは私共が屢々聞く所のことである。米の生産高が増加することは國民全體の喜ぶべき事であるに拘らず、農民階級が反つてこれを悲しむといふことは確に經濟組織の矛盾であると言はねばならぬ。農民は賣らんがために米を作るのであるから、豊作のために米價の下落することは彼等の好む所ではない。假に生産が全く家族の要求のみを満足せしむるために行はれるとしたならば、生産高の増加は唯其家族の幸福を増進するのみであつて、生産超過といふが如き奇怪なる現象の生すべき筈はない。されば營利主義を目的とする經濟制度の下に於て充分なる生産

生産の増加を喜ばぬ實例

現經濟組織と徒食者

力の發達を望むことは困難である。若し生産力をして充分に發達を遂げしめんとするならば全然今日の經濟制度を改造して家庭的經濟組織とするより外はない。換言すれば營利主義の生産法を廢止して、消費と生産とを一致並行せしむるの途を講じなければならぬ。

現在の經濟組織は需要供給の原則に拘束せられて居るのであるから、これがため二つの不幸なる結果を生ずる様になつた。即ち一方には失業者を出し、一方には徒食者を生ずる様になつた。若し生産力が何等の制限なくして行はれることが出来るならば、一人の失業者もなき迄にあらゆる人々を生産事業に従はしむることが出来る筈である。故に失業者は全く生産の不充分といふことから生じた所の結果であることは疑がない。失業者は怠惰者でないのであるから、彼等は常に職業を求めて居る。然も社會は彼等に對して職業を與へることが出来ない。而して社會が彼等に職業を與へることの出来ないのは需給の法則によりて其生産を手控へしなればならぬからである。更に一方を見れば多數の徒食者がある。これも亦明かに今日の生産が不充分であるといふことを證明して居るのではないかと思ふ。若し生産が何等の拘束なくして無限に行はれ得るものとしたならば、私共の經濟組織は常に勞働力の不足を感じる程に生産事業が絶えず増加して來るに相違ない。斯の如き状態の下に於ては一人の徒食者あることをも許すことが出来ない筈である。斯く考へ來れば今日の經濟組織はあらゆる勞働力を利用することの出来ない程に貧窮なるものである。換言すれば私共の經濟組織は恰も衰弱せる病人が充分なる營養

を攝取することの出来ないが如くに、あらゆる勞働力を消化することが出来ない。其結果として多數の失業者及び徒食者を生ずる様になつた。此點から見ても現經濟制度の早晚改造せらるべきは言ふ迄もなき事である。

第三節 不公平なる分配

今日は昔に比して數十倍乃至數百倍の富を有するに拘らず、貧者の數は反つて増加したのではないかと思はれる位である。果して然らば文明の進歩によりて人類の幸福が増進したか否かといふことも疑問である。何故に社會の進歩は反つて貧者の數を増加したかと言ふに、私共は不公平なる富の分配が其主要なる原因であるといふことを信ずる。數十年迄は優勝劣敗といふ進化論の原則が一般に承認せられ、従つて富の分配も全く人々の實力によりて定つたものと信ぜられて居るのであるから、如何なる國もこれに對して全く自由放任の態度を取つて居なければ、現代の思想は優勝劣敗の原則を人類社會に適用するに當り幾多の制限を加へねばならぬといふことを許す様になつた。私共は如何なる點から見ても巨萬の富を有する者と僅かに生命を繋ぐ所の貧者との間に富が代表する程に知力其他の點に於て相違があるといふことを信じないのである。若しこれを優勝劣敗の結果であるといふならば、私共は寧ろ斯る進化の原則が人類社會に行はれることに對して大なる反抗を試みるものである。今日に於けるが如き貧富の懸隔は優

「貧富の差は實力の差を代表せず」

一八九一年の英國に於ける富の分配

勝負敗の原則といふよりも寧ろ相續制度の結果であるといふ方が適當であるかも知れぬ。一度優勢の位置に立ちたる者は容易にこれを其子孫に傳へることが出来る。然し財産を遺傳するといふことは決して才能を遺傳すると言ふこと、同意義では無い。如何なる劣者と雖も巨萬の富を相續することに於ては何等の差支がない。彼は如何なる點から見ても決して優者でないけれども、親の財産を相續することによりたちまち優者として有利なる位置を占め得るのである。故に富の多少を以て人物の優劣を論ずるが如きは全く不合理の事といふべきである。然も今日の文明諸國に於ては富の分配が甚しく不公平に行はれて居る。私は如何にして斯の如き不公平なる分配が行はれたかを説く前に、先づ不公平なる分配の事實を示す積りである。

人 數	財 産 額
上 級	三二七、〇〇〇
中 級	二、三八〇、〇〇〇
	八、八九四、四〇〇、〇〇〇
	二一四、二〇〇、〇〇〇

下 級 一八、二一〇、〇〇〇

五四六、三〇〇、〇〇〇

今三階級に属する人数の割合を示せば、人口千人に付き上級に属する者は僅かに八人、中級は六十一人、下級は四百六十八人、小兒は四百六十三人となる。而して上級の財産は一人に付き二萬七千二百磅、中級は九百磅、下級は三十磅である。即ち下級の財産に對して中級の財産は約三十倍、上級は約九百倍となる。

第二の統計はチオザ、マニー氏の調査であつて、これに従へば一九〇八年に於ける英國の人口は四千三百萬人であつて、財産の總額は百三十七億六千二百萬磅であつた。而して彼は全人口を二階級に分ちて其分配の有様を示して居る。即ち全人口の内百二十萬人（家族員を合すれば約四百萬人）は殆ど全財産の三分の二を有し、残りの三千九百萬人は三分の一を有して居る。換言すれば富者一人に對し貧者が九人であるといふ割合になる。而して富者は一人に付平均二千二百九十三磅（家族としては平均七千六百四十八磅）を有し、後者は一人に付平均百十一磅餘を有することになる。但し三千九百萬人の内千五百萬人は殆ど何等の財産を有して居ないといふことである。マニー氏の統計表は人口を二階級に分類して居るのであるから、マルホールのその如くに貧富の差が甚しく現はれて居ない。

次に英國人の収入に就きマニー氏は一九〇八年に於て次の如く言つて居る。即ち収入總額は十八億四千四百萬磅であつて、次の如くに分配せられて居る。全人口の内百四十萬人は六億三

一九〇八年英國に於ける富の分配

英國に於ける収入の分配

千四百萬磅の収入を得、四千一百六十萬人は十二億一千萬磅の収入を得て居る。即ち人口の三十分の一を占むる富者は一人に付四百五十磅の収入を得、人口の三十分の二十九を占むる貧者は一人に付二十九磅の収入を得て居る。

以上示したる所の統計は既に十年以上を経過してをるのであるが、私は今米國の財産及び收入に關して比較的新しき統計を示すことが出来る。先づ米國に於ける富の分配に就て言へば、『合衆國産業委員』は一九一五年の報告書に於て次の如き事を示して居る。全人口を富豪階級、中流階級及び貧民階級の三階級に區別すれば、富豪階級は其人数に於て僅かに全人口の百分の二を占めて居るに拘らず、米國に於ける全財産の六割を占め、中流階級は人数に於て百分の十三を占めて全財産の三割五分を所有し、人口の百分の六十五を占むる貧民階級は全財産の内僅かに五分を所有して居るに過ぎない。尙これを明かにするため米國に於ける全財産を百弗と假定して計算すれば、富豪階級は各々一人に付三十弗の財産を有し、中流階級は一弗六仙、貧民階級は七仙七厘を有して居るといふ割合になる。即ち貧民階級に比較すれば中流階級は約十四倍、富豪階級は約三百八十九倍の財産を有して居るとなる。これを英國の統計表に比すれば貧富の懸隔が一層明白に現はれて居る。更に農業階級に就いて見れば殆ど同一の結果を見ることが出来る。前に述べたる『合衆國産業委員』の報告によれば、全國に於ける農夫の百分の一よりも尙少なきものが殆ど耕作地の五分の一を所有して居る。而して其内耕作せられて居る所

米國に於ける財産の分配

米國に於ける収入の分配

のものは僅かに五分の一に過ぎないと言ふことであるから、地主は單に所有權を有するのみで、其大部分は未だ耕作されて居ないのである。而して五十エーカー以下の土地を耕作して比較的貧乏なる生活を送つて居る者は二百二十五萬人に達して居るといふことである。

尙合衆國に於ける一年間の収入が如何に分配せられて居るかを示すために私は一九一七年に於ける政府の調査を左に掲げることとする。これは多少面倒なる數字であるけれども、有益なる材料であると信ずるから、これを轉載することにした。第一段に示す所の數字は所得高による分類であつて、第二段は右によりて所得税を納むる所の人數を示したものである。而して第三段は其階級に屬する納税者の所得高であつて、第四段は各納税者の平均所得高を示したものである。

所得額分類	納税者の人數	所得總額	一人の平均所得額
千弗以上二千弗	一、六四〇、七五八	二、四六一、一三七、〇〇〇	一、五〇〇
二千弗以上三千弗	八三八、七〇七	二、〇六四、九七七、三二八	二、四六二
三千弗以上五千弗	五六〇、七六三	二、一一五、八六四、六〇一	三、七七三
五千弗以上一萬弗	二七〇、六六六	一、八二七、五〇八、〇八八	六、七五二
一萬弗以上二萬五千弗	一一二、五〇二	一、六八七、一六五、六一九	一、四九九六
二萬五千弗以上五萬弗	三〇、三九一	一、〇四二、三二〇、〇八三	三、四、二九七
五萬弗以上十萬弗	一二、四三九	八四六、八九四、三三五	六八、〇九二
合計	三、四七二、八〇〇	一三、六五二、二八三、二〇七	

十萬弗以上十五萬弗	三、三〇二	四〇〇、四九二、〇四〇	一二一、二八八
十五萬弗以上三十萬弗	二、三四七	四七四、六五一、九六〇	二〇二、二三三
三十萬弗以上五十萬弗	五五九	二〇九、九〇四、九六九	三五七、六一二
五十萬弗以上百萬弗	三一五	二二四、六三一、二七〇	六八一、三六九
百萬弗以上	一四一	三〇六、八三五、九一四	二、一七六、一四一
合計	三、四七二、八〇〇	一三、六五二、二八三、二〇七	

此表によりて見れば米國に於ける富の分配が如何に不公平に行はれて居るかを知らることが出来る。所得税を納むる所の納税者も其最下級なるものに至りては一人の平均収入は僅かに一千五百弗に過ぎない。而して其納税者の人數から言へば、全納税者の殆ど半數を占めて居る。更に一方より見れば、一萬弗以上の収入を得て居る所のものは十六萬人以上に達し、其内五十萬弗以上の収入を得つ、あるものは四百五十人以上に達して居る。私共は又此統計表によりて千弗の収入さへも得ることの出来ぬ者が多數を占めて居るといふことを見る事が出来る。若し米國の人口を假に一億萬とし、平均一家の人數を五人とすれば、米國に於ける家族の數は二千萬戸と言ふことになる。米國に於ては千弗以下の収入に對しては所得税を課せぬのであるが、毎年千弗以下の収入を得て居る者は二千萬家族の内殆んど千六百五十萬家族に達して居るといふことが出来る。これを見ても米國に於ける貧富懸隔の事實は何人もこれを疑ふことが出来ない。

不公平なる富の分配は如何にして來つたのであるかと言ふに、私共はこれを現今の經濟制度の缺陷に歸せねばならぬと信ずる。換言すれば自由競争といふ原則の適用を誤りたるが爲めであると言はねばならぬ。若し自由競争といふことが徹底的に行はれたならば、決して今日の如き不公平なる富の分配を來す筈はないのである。大體から見れば現今の經濟組織に於て自由競争が廣く行はれて居る様に見ゆるけれども、私共は多くの事業中に獨占的性質を有するもの少なくないことを知らねばならぬ。あらゆる經濟學者の認めるが如く獨占事業なるものは其性質として競争を許さぬものである。例せば鐵道、電車、電燈、瓦斯及び土地の如きものは如何なる場合に於ても競争を許さぬ所のものである。然るに自由競争を原則として居る現社會に於てこれ等の獨占事業を個人に經營せしむるといふことは大なる矛盾であるに拘らず、何れの國に於てもこれに對して一定したる政策を行つて居ない。其結果慧眼なる事業家は獨占事業の經營權を自由に得ることとなり、終にこれによりて巨萬の富を積む様な事になる。前に述べたるが如く獨占事業は其性質として自由競争を許さないものであるから、一度獨占事業の經營權を得たる實業家は全く競争の外に立ちて安全に其利益を占めることが出来る。故に歐米諸國に於ける富豪は言ふ迄もなく、我國の富豪でも、一々これを檢査したならば彼等の中殆ど何れも獨占事業によりて巨萬の富を集めたのであるといふことが出来る。米國に於ては十五年乃至二十年前に於て鐵道王といふ語が盛に用ゐられて居た。これは其當時に於けるヴァンダービルトの如

き富豪が鐵道のために大なる利益を得たからである。七千五百萬弗を以てスタンフォード大學を創立した所のスタンフォードは始めて米國の中部からロッキー山を越えて桑港へ出る所の鐵道を敷設して斯の如き富を得たのである。ロックフェラーの如き世界第一の富豪と稱せられて居る人も米國に於ける石油坑の七八割を占領して、殆ど獨占的の勢力を得たるがために、斯の如き莫大なる富を得たのである。土地の所有によりて大なる富を得た所の代表的人物はニューヨーク市の富豪アスターである。彼はニューヨークが今日の如き大都市とならぬ前に、多くの土地を買占めて居た。これがため彼は幾億弗といふ資産を有することになつたのである。

然し外國の事は別として今日我國に於ける富豪に就いて見ると、私共は同じ様な實例を多く擧げる事が出来る。我國では鐵道によりて多くの富を得た人は見當らないけれども、鑛山によりて大なる富を得て居る所の者は少なくない。古川、住友、藤田及び久原の四人が銅山王として知られて居ることは言ふ迄もなき事であるが、石炭坑で成功してをる者の中には九州に於て貝島及び安川の二人がある。三井三菱の如きも鑛山業によりて其富の一部を得て居る事は明らかである。更に地方に於ける富豪に於いて研究すれば、彼等の富が土地所有によりて作られて居るといふことは言ふ迄もない。勿論彼等の中に全く獨占の力に頼らない者があるには相違ないけれども、彼等の多數が主に獨占事業の恩恵に浴して居ると言ふ事は疑ない様である。

よし社會主義者の言ふが如く總ての生産事業を悉く公有にしなくとも、若し總ての獨占事業

を擧げてこれを公有にすることが出来たならば、今日の如き不公平なる分配を防止する事は決して困難ではあるまい。我國が速かに鐵道國有を實行したのは社會政策の立場から見ても確かに得策であつた。然し政府が經濟上の原則から見ても鐵道を國有にしたのでないといふことは、其後に於ける政府の方針を見ても充分に知ることが出来る。我政府は富の分配を如何にすべきかと言ふ事に就きては殆ど何等の定見をも有して居ない様である。若し社會政策の上から見て獨占事業が如何なるものであるといふ事を了解したならば、政府は當然水力電氣や土地の國有に向つて着々方針を進めねばならぬ筈である。土地國有の如きは少くとも都會地に於てこれを實行すべきである。殊に都會及び田舎の區別なく地價が非常なる速力を以て増加しつつある時に當り、一日遅るれば一日の損があることは言ふ迄もない。水力電氣の如きも今日のまゝに放任して置いたならば、國民はこれによりて少なからぬ利益を蒙るに相違ない。水力電氣の如き最も有益なる動力を營利を目的とする個人の手に委ねることは、一方に電力使用料を不廉ならしむる虞あると共に、貧富の懸隔を益々甚しからしむる原因ともなる。今や水力電氣は殆ど十億圓の資本を有する大企業となつて居る。これを政府が四億圓を以て鐵道を買收したることに比すれば殆ど同日の論でない。私は政府が社會政策として先づ獨占事業を公有にするといふ政策を確定せんことを切望する者である。尙政府に對して注意を促し度いと思ふことがある。今日迄の經驗によれば政府及び自治團體は獨占事業買收の時期を誤りたるため少なからぬ損失

を來して居る。獨占事業といふものが政府で經營すべきものであるとすれば最初からこれを實行するのが得策であつて、途中でこれを買收するといふことは大なる損失である。政府が鐵道を買收した時でも此事實は充分に證明せられて居る。當時の私立鐵道會社は何れも古机及び古椅子なども悉く新しき時の値段をつけ、以て買收に應じたといふことである。故に政府が四億圓で買收した所の鐵道は決して實際それだけの價格を有して居るものではなかつた。東京市が六千四百萬圓で電車を買收したことも殆ど同様の損失を招いたのであると言つても差支はあるまいと思ふ。要するに獨立事業を個人に經營せしめたる後これを買收するといふ位馬鹿らしき事はない。私は此點に於ても我政府の反省を希望するのである。

獨占事業を公有にせねばならぬといふことは單に社會政策の見地からばかりでなく、人類の權利といふ見地からも論すべきものであると信ずる。若し私共の勞力によりて得た物であるならば、これを自分の所有とすることは差支がないとしても、自然が與へた所のものを個人の所有とすることには反對すべき理由が充分にある。土地は獨占の最も著しき實例であるが、地下にある所のあらゆる礦物、石油、瓦斯の如きも自然が人類に賦與した所の物である。これ等の自然物に對して人類は何等の勞力をも費したものでないから、或一部の人がこれを獨占するといふことは是認すべき事でない。自然が與へた物はこれを人類の共有物として取扱ふのが當然の事ではないかと思ふ。勿論長き間の習慣によりて人類はこれ等の自然物を私有することを

是認して來たのであるから、今日に於て多數の人々はこれを不合理なる行爲とは考へないのであるけれども、公平なる見地から見れば土地及び其他の自然物は決して個人の私有すべき物ではない。野蠻時代に於て土地の供給が無限であつた場合には土地の私有は經濟上反つて利益があつたかも知れないが、今日の如く人口稠密となつた時には、如何なる點より見ても土地國有は最も正當なる政策であると云はねばならぬ。

私は獨占事業の私有が不公平なる富の分配の大いなる原因であることを述べたのであるが、更に此不公平なる分配を助長せしめたる原因に就いて少しく述べて置きたいと思ふ。如何に富の分配が不公平に行はれても、其分配が單に其所有者の一代のみに限られるものであれば、決して今日の如き甚しき貧富の懸隔を來す筈は無い。要するに現在の相続法なるものが財産の大部分を子孫へ移轉せしむるのであるから、不公平なる分配は一代を経る毎に益々其程度を増加することになる。相続権といふ事は法學上より見て種々なる意見があるに相違ないけれども、今日の相続法に多少の修正を加へねばならぬ事は何人も認める事であらうと思ふ。若し今日の如き有様にて百萬の財産が相続せられることになれば、今後五六代を経る中には數十億圓の資産を有する者が漸次増加することとなり、彼等數人の金力は終に一國の運命を支配する様な事になるかも知れぬ。換言すれば、單に親の財産を相続したところの凡庸者が社會に於て最も重要な位置を占めると云ふ奇觀を呈するかも知れぬ。更に一方に於てはこれ等の資産家あるが

富の分配
と遺産相
續法

ため、多數の人民はこれ等の資産に對する利子を負擔せねばならぬ様になるから、益々生活の不安を感じる事となる。或人の計算した所によれば、米國に於て相続法により子孫に移轉したる財産の總額は少くも一千億弗に達して居るといふことである。これ等の資産が如何なる事業に投ぜられて居るにせよ、それから生ずる所の利子は六分として六十億弗に達するのである。若し米國の人口が一億であるとすれば、彼等が上記の利子を負擔する平均額は一人六十弗である。平均一家族を五人とすれば其負擔は毎年三百弗である。換言すれば米國人は何等かの形式に於て斯る莫大なる利子を負擔してをるものと言はなければならぬ。米國に於ける労働者の収入は平均六百弗乃至七百弗であると言はれて居る。而して其内三百弗は利子として富豪に拂ひつゝある所の物であると言は、何人も其事實であることを疑ふに相違ない。然しこれは動かすべからざる事實であつて、何人もこれを抹殺することは出来ない。今日世界に於ける文明國の大部分が遺産相続税なるものを設け、益々其稅率を増加しつゝあることは私共の注意せねばならぬ所である。歐洲戰爭の結果英國の如きは七十億磅といふ國債を起したのである。而して其元利を償還するためには人民に重稅を課するの外はない。然し多數の人民から多くの收入を得るといふことは不可能のことである。何となれば労働者の多數は所得稅すらも拂ふだけの收入を得ないからである。これがため一九一九年度の豫算に於ては一方に麥酒稅を増加し、一方には遺産相続稅の率を引上げることにした。即ち百萬磅以上の財産に對しては二割、二百萬磅

以上に對しては四割の相続税を課すること、なつたのであるから二百萬磅以上の財産を相続する場合には八十萬磅の相続税を納めねばならぬことになつた。これは言ふ迄もなく戦後の政策として英國が已むなく取つた所の方法であるには相違ないが、如何なる國に於ても社會政策を實行するに當りては先づ財産相続に關する問題を充分に研究すべきである。

第三編 救濟事業

第一章 救濟事業の分類

救濟事業
の任務

私は第二編に於て貧乏の原因に就き其大體を論じたのであるから、第三編以下に於て貧乏の治療法に就き述べて見たいと思ふのである。然し治療法にも應急的のものと根治的のものとある事は既に述べたる通りであるから、私は先づ應急的手段に關して述べることにする。殊に救濟事業及び教育事業の如きは應急的治療法の中に於ても最も應急的のものと見るべきである。然し救濟事業が應急的であるといふ理由を以てこれを輕視するといふことは適當でない。私共が俄に病氣に罹り、若くは負傷するが如き場合に於ては、何物よりも先づ應急手當を要するのである。即ち石炭酸を以て創を洗滌し、これに繃帶を施す事は最も必要なることである。若しこれを怠る時には終に恐るべき結果を生ずるに至るかも知れぬ。これと同じく人類社會に起り來る所の不幸に對し適當なる救濟法を講ずることがなかつたならば、社會はこれがため大なる損害を招くに至ることは明かなる事である。更に人道上から見れば、私共は不幸なる人に對して全く無頓着であることは出來ない。人の不幸を見てこれに同情を表するといふことは人性の

美點である。今日世界各国に於て盛に救濟事業の行はれて居るといふことは人類の他愛心が充分に發揮せられて居るといふ證據と見ることが出来る。私共は勿論救濟事業を以てあらゆる貧乏を根本的に滅絶することは出来ないと思ふけれども、これによりて少なくとも貧乏の増加を防止することの出来ると思ふことを信ずる。

救濟事業に反對する所の人は救濟が多く貧者の獨立心を傷つけるといふけれども、これは明かに救濟の方法を改善することに由り防止することが出来る。救濟事業の數が増加すれば、一部の人々は救濟を受けることを當然の事と考へ、甚しきに至りては、救濟を受けることを以て恰も職業であるかの如くに考へるのである。これがため終に職業的乞食の階級を生ずるに至る虞のあることは何人もこれを拒むことが出来ないであらう。然し救濟事業に斯の如き弊害の伴ふといふ理由により、救濟其ものを否認すること、ならば、其結果は如何になるであらうか。私共は如何に社會の組織を改めるとしても、全く救濟事業の必要を感じない社會を現出することは決して容易でないと思ふ。よし貧乏人の數を著しく減ずることが出来るにしても、精神的不具者若くは肉體的不具者は依然として存在するに相違はない。而して社會はこれ等の人々を扶養するの義務を負はねばなるまい。勿論社會組織が改まれば救濟事業といふが如き名稱は廢止せられるかも知れない。然し社會の厄介となる人々は依然として存するのである。斯の如く論じ來れば、今日救濟事業を廢止するといふことは得策でない。要は救濟事業の性質を改むる

救濟事業
の弊害と
其改善

に在る。幼稚なる社會に於ける慈善事業は單に慈善家其人の心を満足せしむることを目的として、慈善を受ける人に如何なる影響を及ぼすかといふが如きことを考へなかつた。不幸なる人を見て若干の金を與ふことは慈善家其人の心を慰めることになることは明かである。然しこれを受くる所に如何なる悪影響を及ぼすかといふことには少しも考へ及ばなかつたのである。今や慈善に對する人々の思想は大なる進歩を來す様になつた。私共は最早自分の心を満足せしむるがために慈善を行うてはならない。寧ろ不幸なる人の利益を考へて救濟をしなければならぬ。

救濟事業に伴ふ弊害を除くために其組織を改正する必要がある。今や文明諸國の大都市に於ける救濟事業は數百乃至數千に達して居る。若しこれ等の事業が互に競争すること、なれば、其結果不幸者に關する充分なる調査をしないで救濟を行ふ様なことになる。横着なる貧民はこれ等の事業を利用し、毎日幾多の救濟事務所を訪問し、其窮狀を訴へて救濟を仰ぐといふことになる。歐米諸國の大都市に於ては今や救濟事業同盟會なるものが組織せられ、各救濟事業の聯絡を謀り、統一を保つことになつて居る。若し或救濟事業に來りて助を乞ふ者あれば事務所は直ちにこれを同盟會に通知することになつて居る。而して同盟會は出來得るだけ其人の身元を調査し、若し其者が横着なる者であればこれを救濟事務所に通知するのである。斯の如くして多くの救濟事業は横着なる貧民に欺かれることを防止するのである。

救濟事業
同盟會

ロンドン及びニューヨークの如き大都市に於ては救濟事業の數一千以上に達し、これがため毎年數千萬圓の費用が投ぜられて居る。我國に於ても救濟事業は近年驚くべき發達を示す様になつた。私は我國と言はず外國と言はず、あらゆる所に於て行はれて居る救濟事業の分類を左に示すことにする。私は勿論此分類があらゆる救濟事業を網羅せる所の完全なる分類とは信ぜないけれども、これによりて救濟事業の如何なるものであるかを了解することが容易であると信ずる。

貧乏者救濟

- (一) 收容所
- (イ) 一般的—救貧院
- (ロ) 年齢別—孤兒院、養老院
- (ハ) 小兒預所
- (ニ) 金錢及物品の補助
- (イ) 普通の救濟
- (ロ) 貸金
- (ハ) 物品給與
- (三) 安宿及安支度

疾病者救濟

- (一) 病院(一般的)
- (二) 病院(特種的)—肺病院、癩病院等
- (三) 醫藥救助
- 不具者救濟
- (一) 盲者
- (二) 聾啞者
- (三) 白痴
- (四) 癲狂者
- (五) 跛者、癩癩者、大酒者

- (六) 不治者、瀕死者
- 改善的救濟
- (一) 感化院
- (二) 出獄人保護
- (三) 婦人ホーム
- 其他の救濟

- (一) 小兒虐待防止事業
- (二) 避暑事業
- (三) 教育的事業
- (四) 職業紹介業
- (五) 植民事業

孤兒院と
養老院

以上示したる所の救濟事業に就き多少の説明を試みる必要があると思ふ。第一は貧乏者救濟といふのであるが、これには或一定の場所に收容して救濟するものと然らざるものとの二つがある。貧乏者を收容する場合は更にこれを三種類に分類したのである。救貧院と稱するのは英國に於ける救貧院或は我東京市に於ける養育院の如きが其實例である。英國に於ては赤貧洗ふが如き貧乏者は何時にても救貧院に於て救濟されることが出来る。前にも述べたるが如く一九〇九年にはイングランド及びウェールズだけでも收容者の數は、九十四萬二千八百三十七人に達し、これに要したる金額は千四百七十一萬七千九百八十八磅に達したのであるから、英國全體に於ける收容者の數は殆んど二百萬、而して其費用は二千五百萬磅に達して居ると推測することが出来る。東京市養育院もあらゆる貧乏者を收容する所であるが、若し年齢別にこれを救濟する

ことが出来るならば、收容者のためには最も幸福であらうと思ふ。例せば育兒院と養老院とを區別することは收容者の取締若くは教育といふ點から見て極めて重要なことであると言はねばならぬ。幼にして父母を失ひたる者と老年に及び子女を有せざる者とは私共の最も同情すべき不幸者であるが、社會は殊に老年の不幸者に對して充分に慰安の途を與へることが必要である。孤兒は勿論同情すべき點が多いけれども彼等は尙將來に於て少なからぬ希望を有して居る。然し老いたる貧乏者に至りては將に散らんとする花の如く其處に言ふべからざる悲哀の色が漂うて居る。彼等のために養老院を設けることは勿論今日の急務であるけれども、これは決して生涯の戦争を終りたる老士を遇する適當なる途ではない。國家は宜しく彼等のために養老保險の制度を設け、彼等を優待することにせねばならぬ。

小兒預所

小兒預所といふことは晝間母親が工場及び其他の所に於て働きつゝ、ある間其幼兒を預かるのであつて、我國では普通これを保育事業と稱して居る。我國の小兒預所は明治二十五年新潟市に始めて設立せられたのであるが、爾來全國に廣がり、大正五年末に於ては其數四十六となり、收容兒童の數三千人、職員の數二百三十人、一年の經費五萬圓に達する様になつた。殊に最近數年間に於て大工場の中に會社の設立したる小兒預所は非常に其數を増加する様になつた。

金錢及び物品の補助

金錢及び物品の補助といふことは最も普通に行はれて居る所の救濟事業であるが、中には貧民のために貸金事業を行つてをるものがある。概して言へば貧乏者の間に存在して居る金融機

疾病者救濟

關は殆ど全く高利貸であつて、これがため貧民の苦しめられることは非常である。故に彼等のために低利の金融をなす質店を設けることは、彼等のために最も必要なるものであると言はねばならぬ。更に物品の給與といふことに關して少しく説明して置きたいことがある。普通に行はれて居る所のものは衣服或は靴などの給與であるが、ニューヨーク市の如き都會では、夏季に於て氷、冬季に於て石炭を貧乏者に給與する所の救濟事業がある。これは米國に於て氷及石炭が殆んど必需品と認められて居るからである。安宿及び安支度の貧乏者に必要であることは多く説明するの必要はない。何れの都市に於ても安價なる木賃宿及び安價なる飲食店の設備を有して居ない所は無いといふ有様である。東京市の如きに於ても宗教家の手によりて經營せられて居る安宿がある。殊に救世軍は世界各國に於て此種の事業にも大いに力を盡して居る。疾病者救濟といふことは最も廣く行はれて居る所の事業である。而して其救濟法は大別して二つとすることが出来る。第一は貧乏者を病院に收容すること、第二は彼等の住所に於て彼等に醫藥の救助を與ふることである。表に於て示したるが如く、病院にも一般のものと特種のものがある。一般的病院とはあらゆる疾病者を收容する所であつて、ロンドンの如き大都市に於ては外國人のために設けたるものがある。而して其等の病院は佛國人、獨逸人及び以太利人といふが如くに國別的に設立せられて居るのである。一般的病院は多く醫學校の附屬として設けられてをるのであるが、中には全く無關係のものもある。

特種的病院とは齒科産科等に區別せられてをるのであるが、肺病院、癩病院、養生院といふが如きも亦特種病院と見ることが出来る。あらゆる文明國に於ては肺病患者のために特別なる病院を設けてをるが、獨逸は此點に於て殊に優秀の位地に立つて居る。獨逸には久しく勞働保險制度が行はれて居り、死亡率の減少は直接勞働保險の財政に影響を及ぼすのであるから、過去二十年間あらゆる方法により肺病の撲滅を謀ること、なつた。其結果肺病院は全國致る處に於て設けられたのである。我國に於ても近年個人として海濱に肺病院を設けた者が少なくない。然しこれ等は決して救濟を目的とする者でないから、今後貧乏者のために肺病院を各地に設ける必要がある。救世軍が東京の效外に於て肺病院を設けた事は此方面に於て我國の奮勵を促す所の動機となるに相違ない。

我國に於ける癩病院は主として個人の手によりて經營せられて居る。能本に於ける癩病院は英國の婦人リデル嬢の名によりて廣く我國民の間に知られて居る。此外には天主教の僧侶によりて經營せられてをる箱根の癩病院がある。然るに數年前に至り我政府は全國に於て約六個の癩病院を設立することを決したのであるから、今後此方面に於ける救濟事業は著しき發達を來すに相違ない。

序に述べて置きたいと思ふことは養生院である。貧乏者の中には病院に於て療治を受け稍快復したる後直ちに職業に従事するため再び疾病に陥る者が少なくない。勿論彼等の貧乏が彼等

をして退院後直ちに勞働せしむるの必要があるに相違ないけれども、斯の如きことは其人のためにも社會のためにも大なる損失である。故に文明諸國に於ては病院を退出したる貧乏者に尙充分に健康を回復する機會を與ふる目的を以て養生院なるものを設けこれに收容することにして居る。私共は將來我國に於ても斯の如き養生院の設立を見るに至らんことを切望せざるを得ない。以上述べたる所の疾病者救濟は更にこれを施療と然らざるものとに分つことが出来る。一般的病院にせよ、或は特種的病院にせよ、收容者は必しも施療を受くるものと定つては居ない。若し多少の費用を負担し得る者があるならば、彼は當然これを拂ふことになつて居る。言ふ迄もなく必要のなき程度迄に貧乏者を救濟することは單に彼等の獨立心を傷つけることになるから、如何なる救濟事業も此點に於ては充分に注意することが必要である。

醫藥救助といふことは病院の收容者以外に與へられる所の救濟である。勿論醫藥救助を行ふ場合には病院の中に於て或は病院の外に於てこれをなすこともある。然し原則として病院内に收容せられるが如き事はないのである。我國の濟生會は其規模に於て最も大なる救濟事業であるが、其目的は醫藥救助といふことである。時には必要に應じて患者の家に看護婦を派遣する様な事もある。斯の如き醫藥救助は歐米の諸國に於ても廣く行はれて居る。

不具者の救濟に就いて先づ述べねばならぬのは盲者である。言ふ迄もなく盲者は人類の中に於て最も不幸なる階級の一つに屬するのであつて、社會は種々なる方法を以て彼等に慰安を與

ふべき責任がある。殊に盲者にして貧乏なる人は最も社會の同情を要求する権利がある。故に何れの國に於ても盲者救済のために種々なる機關が設けられて居る。今その救済法を一々述べることは不可能であるけれども、其大體を説明すれば左の如くである。外國に於ては盲者を一定の場所に收容してこれに適當なる保護を與へると、彼等を各自の住所に止め置きて相當の年金を與へるといふ二方法が行はれて居る。而して彼等に與へられる年金は普通四十圓乃至二百圓である。若し又彼等を收容する場合に於ては男子と女子とのために別々の收容所を設けるといふことは言ふ迄もない。更に盲者のために職業教育を與へるといふことも必要な救済法と考へられて居る。而して職業教育にも彼等を收容して教育する場合と、通學者に對して教育するとの區別がある。

白痴者及び癲狂者に對する救済は殆んど何れの文明國に於ても行はれて居る。我國に於ても癲狂者のために設けられたる病院は決して少なくない。勿論中には普通の病院と同じく一の營業として行はれて居るものもあるけれども、其多數が一種の救済事業であることは言ふ迄もない。白痴者及び癲狂者に對する保護は決して營利的精神を以て行ふべきものではないから、國家若くは慈善家は全く人道的立場からこれ等の不幸者に對して充分につくすべきである。若し個人にしてこれがため盡すことの出来ない場合には、國家は當然其費用を投じて彼等を救済すべきである。優種學上より見ても國家は白痴者に對し充分なる保護を加へ、彼等をして子孫を

白痴者及
癲狂者
の救済

大酒者の
救済

遺さしめぬ様に注意することが必要である。

更に述べねばならぬことは大酒者の救済といふことである。我國に於ては大酒者を收容して其惡習慣を矯正せしむるといふ設備は皆無であるけれども、私の知る所によればロンドン市だけに於ても斯の如き收容所が九ヶ所ある。グラスゴー市も市の事業として大酒者收容所を有して居る。而して費川の大部分は收容者の自辨である。勿論斯の如き種類の人々をも救済することになれば、救済事業の範圍には殆んど制限がない様に思はれるけれども、前に述べたるが如く、優種學の立場から見れば大酒者を一定の場所に收容することは白痴者を一定の收容所に於て保護するのと殆んど同一の効果を生ずるのである。

貧乏者にして不治の病に罹り、或は瀕死の状態に陥りたる時は、特にこれを救済する所の設備が必要になつてくる。勿論彼等の中或者は養老院若くは普通の病院等に於て保護することも出来るが、既に死期の明かなる者を普通の貧乏者と同一の場所に收容することは適當でない。出來得るならば斯の如き不幸者に對し最後の數日若くは數週間を最も幸福に送らしむるといふことは望まじきことである。ロンドン市に於ては特にこれ等の人々を收容する所が二十一ヶ所に達して居る。

以上述べたる所の不具者救済は如何に社會組織が變更せられるも必ず個人若くは國家の手によりて行はるべきものである。勿論社會の富が一層増進したならば、これ等不具者の數も著し

不治の病
者及び瀕
死者の救
済

不具者の
救済

く減少するに相違ないけれども、これ等の不幸者を全く絶滅するといふことは殆んど不可能のことであると言はねばならぬ。救濟事業が人々の獨立心を傷つけるといふ反對論は、貧乏者に對して多少有力なる議論であるかも知れぬが、これ等の不具者に對しては殆んど全く理由なき意見である。私共は不具者を救濟するが爲に彼等の獨立心を害すると考へることは出来ない。彼等は既に獨立することの出来ぬ様な不幸なる境遇に陥つて居る。若し彼等を救濟しなければ、彼等はたゞ餓死するより外ないのである。斯の如く考へ來れば、不具者の救濟は救濟事業として全く弊害の虞なきものといふことが出来る。

改善的救濟に關しては三種の區別を設けることが出来る。第一は感化院であつて、不良少年を收容し彼等を教育若くは其他の方法によりて改善せしむるのである。少年の中には悪習慣に染みたる者もあり、或は天性悪傾向を有する者もある。後者は精神的不具者とも言ふべき者であるが、若し左様であるとすれば、私共は彼等を責むるよりも、寧ろ其両親若くは社會に大なる責任があるといふことを感ぜざるを得ない。一人の不良少年を感化することは實に彼の幸福であるのみならず、廣く社會のために喜ぶべきことである。今や世界各國に於て多くの感化院が設立せられて居る。社會はこれによりて自らの責任を果すと共に自衛の途を實行しつゝ、あると言ふことが出来る。

出獄人の保護は何れの國に於ても重要な救濟事業と考へられて居る。若し社會の人々が出

感化院

出獄人保護

獄人を嫌忌するの餘り彼等をして孤立せしむること、なれば、彼等はよく悔悟の心を以て監獄を出でたりとするも、社會に於て容易に其職業を得ることが出来ないため終に再び罪惡を犯すこと、なる。一度犯罪のため牢獄に投ぜられる者は殆んど一生涯世人の輕蔑を受けねばならぬのである。社會が斯の如く犯罪者に對して冷淡であるといふことは彼等を幾度も牢獄に入らせしむる大なる原因となる。此處に出獄人保護事業の必要が生じて來るのである。犯罪者の中には二犯三犯と言ふが如き重犯者が少なくないのであるが、これは彼等のために悲しむべき事であると共に、國家に取りては大なる恥辱である。されば個人としても、國家としても出獄人を保護することにより、重犯者を出さない様に努めねばならぬ。

婦人ホームとは墮落したる婦人を救濟する所の事業である。墮落せる婦人は殆んど犯罪者と同じく常に社會の擯斥を受けるのであるから、彼等を再び墮落せしめぬ様に保護する必要がある。醜業婦の中には恐るべき病毒に罹りて終に暗黒の底から逃れ出て來る者もある。或は良心の苛責に會うて自由廢業を實行する者もある。若しこれ等の人々に對し溫情を以て指導する者があれば、彼等は終に眞面目なる婦人となることが出来る。婦人ホームは彼等に精神的訓練を與ふると共に家庭に關する必要な教育を施すのであるから、彼等は終に家庭の人となつて充分に妻たる職務をつくすことも出来る様になる。要するに改善的救濟は精神的要素を第一要件とせねばならぬ。熱烈なる愛を以てこれ等の不幸なる人を指導すれば、必ず其處に好結果を見

婦人ホム

ることが出来る。

以上述べたる所の分類中に加へることの出来ぬ救濟事業がある。これ等に關して簡單なる説明を加ふことは決して無益でないと思ふ。第一は小兒虐待防止事業であるが、これは未だ我國に於て微々たるものであるけれども、早晚其發達を見るに相違はない。歐米諸國に於ては小兒を保護する各種の事業が盛に行はれて居る。而して我國に於ても此種の救濟事業が起るべき理由は充分に存在して居る様に思はれる。私共は新聞紙上に於て幾度か賈子殺しといふ記事に驚かされたのである。然しこれは極端なる事實であつて、其他人々の注意しない所に於て多くの小兒虐待が行はれて居ることは言ふ迄もない。我國に於ては兩親が如何に小兒を虐待しても、法律は殆んど何等の干渉を試みない。若し淺草公園に於ける輕業師若くは玉乗り等に使はれて居る小兒の生活と、其過去に於ける歴史とを調べて見たならば、其處に多くの悲慘なる事實を發見するに相違ない。而して我國には未だこれ等の憐むべき小兒を保護する途が開けて居ないのである。これ等の理由により私は近き將來に於て我國にも小兒虐待防止事業の勃興することを信ずる。

歐米諸國の大都市に於ける貧民窟の小兒は常に都會の不潔なる空氣を呼吸し、且つ狭き長屋に住居して居るのであるから、平時は兎に角、夏季に於ては少なからぬ苦痛を感ずるのである。これ等の小兒に避暑旅行を爲さしむる事業が近年益々必要になつて來た。これがため歐米諸國

の大都市に於ては避暑事業が小兒救濟事業として其必要を認められるやうになつて來たのである。避暑事業は大體三つの種類に分ける事が出来る。第一は海濱若くは景色の宜しき所を選び、數百人の小兒を收容し後べき寄宿舎及び廣き庭園を設け、貧民窟の小兒を其處に收容し、約二週間位避暑を爲さしめるのである。これ等の小兒が二週間の後都會に歸ることになれば更に他の小兒を伴ひ來ることになつて居る。斯の如くして夏季毎に數百人乃至數千人の小兒に田園生活を爲さしむるのである。第二の方法は田舎に於ける特志の人々に相談して一二人の小兒を一ヶ月間若くは二三週間引受けてもらふことである。此事業に働く所の役員は先づ田舎に於て斯の如き篤志家を探し、都會の小兒には豫め定めたる日に於て何々ステーションに集合すべきことを命じ、汽車にて彼等を目的地に送り、兼て承諾を得たる家に彼等を送り届けるのである。此方法によれば救濟事業の負擔すべき費用は單に汽車代のみであつて、食費は篤志家が寄附するのであるから、比較的僅かなる經費を以てこれを實行することが出来る。然し兩親の手を離れて避暑旅行を爲す所の者は少なくとも八九才以上の者でなくてはならぬ。これがため避暑事業の恩澤は最もこれを要求する所の幼兒に及ばないのであるから、更に第三の方法が用ゐられる様になつた。即ち幼兒と共に彼等の母をも一緒に避暑せしむるといふことである。但し母は家事を見ねばならぬのであるから、一日以上を避暑旅行のために費すことは出来ない。故に彼等のために一隻の蒸氣船を借り、數百名の幼兒及び彼等の母を乗せて景色の美しき場所に旅行

貧兒教育

を試みるのである。彼等は一日を愉快に送り日暮迄には家に帰るといふ組織になつて居る。以上述べたるが如き避暑事業が貧民生活の上に大なる利益を與へつゝ、あることは此處に多言を費す迄もない。

救濟事業の一つとして見逃してならぬものは教育的事業である。換言すれば貧民教育である。何れの國に於ても貧兒のためには特別の機關が設けられて居る。貧兒の多くは經濟的に兩親を助ける必要があるから、彼等は晝間に於ても勞働に従事せねばならぬ場合もある。故に彼等の便宜に應じ午後若しくは夜間に於て學校を開くといふことが必要となつて来る。東京市に於ける特殊學校の如きは即ちそれである。

職業紹介

職業紹介といふことは貧乏者のために極めて重要な事である。人々が貧乏に陥るといふことは必しも彼等が怠惰なるためではない。彼等は如何に働かん事を熱望しても職業の無い場合がある。殊に現代の經濟組織に於て失業といふことは實に己むを得ない現象であると言はねばならぬ。然し職業があつても勞働者がそれを知らないために失業に陥つてをる場合が少なくない。彼等は種々なる理由より自ら職業を探すことが出来ないこともある。これ等の理由に由り職業紹介といふことは實に必要なる救濟事業となつて来る。而して職業紹介は個人により行はれる場合と國家によりて行はれる場合とがある。

植民事業

最後に述べて置きたいのは植民事業である。植民とは海外に貧乏者を送り出すことも、或は彼等を都會から田舎に移すことをも意味する。人口の超過は貧乏の一原因とも見るべきものであるから、都會に於ける貧乏者を農園に送り、若くは彼等を海外に移住せしむることも同じく彼等を救濟する所以である。救世軍の行へる救濟事業の中に農業部といふ項目があるのは、即ち植民事業を意味するのである。私は植民事業が單に政治的問題でなくして、又重要な救濟問題であることを信ずる。

第二章 外國に於ける救濟事業

歐米諸國の大都市に於ける救濟事業は、其教に於ても其種類に於ても遙かに我國のそれに優つて居る。ニューヨーク市及びロンドン市に於ける救濟事業は殆んど千三四百に達して居る。私は先づロンドン市に於ける救濟事業の種類と其數とを示すことにする。而してこれは一九一六年の統計に據つたものである。

業の種類	事業數	事業の種類	事業數
盲者(救濟)	七八	聾	一七
跛者	一四	癲狂者	二七
大酒者	九	白痴、低能	一八

ロンドン市の救濟事業

瘋癩者	四	不治者	二二
醫藥救助	一五八	養老院	一五七
施療院	三〇	看護婦會	二九
老人收容及年金	五三	育兒院	一五六
教育的救濟	一五	保育事業	一三
金錢及物品給與	一二四	出獄人保護	一五
感化院	三〇	社會的改良事業	九五
職業紹介所	一一	植民	一〇
人命保護事業	一五	相互保險事業	六二
宗教傳道事業	二七		
合計			一二六一

以上述べたる所によればロンドン市に於ける救濟事業の数は千二百六十一に達して居る。勿論これ等は救濟事業同盟本部に報告したるものだけを含んで居るのであるから、これ以外に尙幾多の小さな救濟事業の存在して居ることを記憶せねばならぬ。

ロンドン市の救濟事業が一九一六年に於て得たる所の収入は左の如くである。

ロンドン市救濟事業費

寄附金	三、八〇〇、九一九
財産収入	一、二六〇、四一八
收容者の支拂金	一、五八〇、四四三

遺産金	一、〇七三、三九六
製造品賣上高	七一三、一三五
雑収入	九、一五六
合計	八、四三七、四六七

斯の如くロンドン市は毎年救濟事業のために八百四十萬磅、即ち我通貨に換算して八千四百萬圓を費して居るのである。然し私共の最も羨しく思ふのはこれ等の事業が多くの基本財産を有し、これによりて毎年百二十六萬磅の収入を得て居るといふことである。兎に角英國人が毎年ロンドン市の救濟事業に對し三百八十萬磅を寄附しつゝ、あることを思へば、救濟事業の弊害のみを舉げて其功績を無視することは決して適當でない。私共は一方に於て多くの不幸者が餓死の境涯から救はれつゝ、あることを見ると共に、他方に於ては英國人の愛他心が斯くも美はしく發揮せられつゝ、あることを見るのである。

私は外國の救濟事業を紹介するに當り、救世軍の事業を看過することは出来ない。何となれば其量に於ても質に於ても救世軍の如き救濟事業を他に於て見ることが出来ないからである。言ふ迄もなく救世軍の事業は世界第一の救濟事業である。今や此事業は世界の六十三ヶ國に跨りて行はれ、士官及び候補生數だけでも一萬七千三百七十四人に達して居る。救世軍の事業が精神的及び物質的の兩方面に互つて居ることは人々の知れる所であるが、寧ろ物質的方面より

救世軍

も精神的方面を力説するといふ所に救世軍の特色がある。我國に於て數十年前救世軍が始めて其事業に着手した時、我國人は唯其外面のみを見て充分に其精神を了解することが出来なかつた。即ち救世軍人が太鼓を叩き或は歌を唱ふを見て多くの人々は寧ろ輕蔑の態度を執つたのである。然るに二十年以來救世軍が熱烈なる精神を以て我國のために多くの救濟事業を經營し、同時にあらゆる人々を純粹なる信仰の生活に導きたる事は終に我國人の心を感動せしむるに至つた。今や昔日の輕蔑は尊敬と變じ、あらゆる階級の人々は喜んで其事業のために寄附金を投ずる様になつた。

我國に於ける救世軍の事業は單に其一部に過ぎないのである。世界のあらゆる國々に於て救世軍が如何に大なる尊敬と信頼を受けつゝあるかは詳しくこれを述べる必要はない。私は嘗て私の友人である一人の米國人から次の様な話を聞いた。彼が成年の夏ロンドン市に於て社會事業を視察した時、或夜救世軍の集會に臨んだのであつた。集會の終つた時には既に十二時頃であり、且つ其附近は有名なる貧民窟であつたから、彼は一人の救世軍の女士官を保護する積りで彼と同行することにした。而して彼は何が故に同行を申し出たかを語つた時、女士官は左の如く返答したといふことである。「何處の貧民窟に往いても救世軍の士官に亂暴する様な者は一人もありません。私があなたと同行して居るのは全くあなたが私に保護せられて居る様なものです。」歐米諸國に於ける救世軍が如何に貧民の間に信用を得てをるかはこの話によりて充分に了

救世軍の
信用

解することが出来る。救世軍には火の如く燃ゆる熱烈なる信仰がある。彼等はキリストの精神を以て彼等の精神となし、世の不幸者に對しては自らの生命を抛つことすら厭はないのである。斯る犠牲の精神を以て救濟事業に従事するのであるから、比較的僅かなる費用を以て大なる効果を收むることの出来るのは決して怪しむに足らない。私は未だ各救濟事業の費用と其成績の關係とを調査した事はないけれども、私は救世軍の救濟事業が最も經濟的に行はれて居るのではないかと信するのである。

救世軍が一九一七年に於て爲したる事業の大略を述べれば左の如くである。即ち六十三ヶ國に於て經營せる所の安宿及び安料理の數は二百八十二であるが、一九一七年中に宿泊したる人數は六百六十四萬七千七百七十人にして、食事を給したる人數は千二百八十八萬六千九百四十三人であつた。安宿とは我國の木賃宿に等しきもので、多くは二階若くは三階の家を以てこれに充て、第一階は普通大廣間となし、これを集會所に充て、居る。二階及び三階は宿泊所であつて、宿泊者は毎晩大廣間に行はれる所の宗教的集會に參會することが出来る。而して安宿の附近には必ず簡易食堂といふが如きものが設けられてをるから、宿泊者は廉價を以て食事をなすことが出来る。此外に労働者のために特別の寄宿舎がある。安宿に於ては別に宿泊者の種類に制限を加へないけれども労働者寄宿舎には毎日労働に従事する者だけを收容することになつて居る。斯の如き寄宿舎の數は百九十三に達して居る。次に述べたいと思ふのは労働紹介部の事業

救世軍の
事業成績

である。其數は世界各國に互りて百十九に達して居るのであるが、一九一七年に於て職業を求めたる者の數は十八萬七千二百二十三人に達し、其内十三萬七千七百九十一人は救世軍の紹介によりて就職することが出来たといふことである。

出獄人保護事業は比較的其數が少ない。一九一七年の統計によれば、其事業數は二十であつて、一年間に於ける收容人數は二千八百六人であつた。其他救世軍の經營せる事業は育兒院五十五、保育所二十九、感化院二十二、婦人ホーム百十七である。尙其外に貧しき婦人にして出産の手當をなし得ざる者のために産院なるものを設けて居るのであるが、其數は三十一に達して居る。更に農業部なるものが三十五ある。これは即ち植民事業であつて、海外植民の爲に準備教育をなすことを目的として居る。愛隣館とは貧民窟に設けられたる屯所であつて、貧民の子弟を教育し、或は貧民全體に對して精神的及び物質的の援助を與ふるために設立せられて居る。而して其數は百五十九に達して居る。其他病院及び村落銀行等も救世軍の手によりて經營せられて居るのであるが、其數は百五十八である。

第三章 我國に於ける救濟事業

前に述べたるが如く我國の救濟事業はこれを外國の其に比して甚だ幼稚である。然し近年に

出獄人保護事業及び其他

東京市の救濟事業

至り救濟事業は益々其數を増加しつゝ、あるから、將來に於ては社會政策として重要な位置を占める様になるかも知れぬ。私は日本全國に於ける救濟事業に關する統計を有して居ないから、單に東京府の管轄に屬する慈善事業に就いて説明を試みることにする。先づ如何なる種類の救濟が行はれつゝ、あるかこれを左に示すことにする。これは單に其種類を擧げたるのみで、分類したるものではない。故に以下述べる所には何等の順序も無いといふことを斷つて置く。私は斯く事業の種類を示すと共に其數をも示すことにする。

事業の種類	事業數	事業の種類	事業數
水難救濟	二	動物虐待防止會	一
出獄人保護	一五	兒童虐待防止會	四
貧兒就學奨励	三〇	職業紹介	一一
巡回看護婦	二	保育事業	三三
旅行者保護	三	慈善、救恤、公益事業の援助	一
貧民住宅貸附	四	鐵道業者救護	三
路上傷病者救護結核病相談	五	労働者宿泊所	六
盲人教育	三	婦人救濟	四
海員遺族救護	一	育兒院	一〇
兒童保護	七	養老院	三
吃音矯正	二	感化教育	五

教育事業	七	遺族救助	一一
授産所	一	傷病保護	一
醫師看護人遺族慰籍	一	施藥救療	三三
共濟組合	一一	精神病者監護救療	二
一般的救濟	五	商工労働者慰安講話會	三
貧民慰安救護	三	下級労働者保護	二
妊婦保育	二	癩病救治	三
特殊部落改善	一	白痴教育	一
癩兵救護	一	子守教育	一
女工保護	一		

救濟事業の說明

以上述べたる所によれば、我國の救濟事業も其種類に於ては外國の其に比して大差がないけれども其數に於ては少なからぬ相違を見るのである。前に述べたる救濟事業の數を合計すれば二百四十六に達するのである。これをロンドンの救濟事業に比すれば殆んど五分の一に過ぎない。勿論ロンドンの人口は我東京市に比して二倍以上であるけれども、これを計算の中に加へても、東京市の救濟事業は尙ロンドン市に比して二分の一に過ぎないのである。私は東京市の救濟事業が毎年幾何の收入を得つ、あるかを知らないけれども、經費の點に於て彼我の差は層甚しきものであらうと信ずる。尙前に示したる救濟事業の數に關しては一言説明しておかねばならぬ事がある。救濟事業の中には一事業で數種の救濟を爲して居るものがある。例へば出

獄人保護と兒童虐待防止とを兼ね、或は巡回看護婦事業と保育事業とを兼てをるものがある。然し私は便宜上これ等の事業を二つとして數へることにした。其結果合計數は實際よりも多くなつて居るといふことを記憶せねばならぬ。今一つは保育事業の數が三十二といふ驚くべき數に達して居ることである。これは近年工業會社の數が増加したるため、會社自らが勞働婦人の子供を預る目的を以て工場内に保育所を設立したといふことに原因して居るのである。尙最後に述べて置きたいことは東京府の救濟事業及び其數は大正五年末に於ける統計に據つたものであるといふことである。

我國の救世軍

私は世界に於ける救濟事業の最も大なるものは救世軍であることを述べたのであるが、此事は我國に於ける救世軍に就いても事實であると言ふことが出来る。如何なる人も我國に於ける救世軍の事業に對して感謝せぬものはあるまい。宗教の異同といふが如きことは敢て論ずるの必要はない。單に救世軍が行ひつ、ある救濟事業を見れば何人もこれによりて大に學ぶことが出来る。私は救世軍が確に模範的救濟事業を爲しつ、あることを信ずるが故に、これを世に紹介することは私の義務であると信ずる。さて救世軍の救濟事業を知る前には、先づ救濟事業に従事しつ、ある救世軍人の數を知らねばならぬ。大正七年末に於ける軍人の統計は左の如きものである。士官及び候補生の數二百七十人、小隊及分隊の數百十、大人部下士官の數五百八十三人、去る一年間に於ける兵士及び準兵士入隊の數二千六百五十三人である。以下救世軍の救

月島労働
寄宿舍

濟事業に就き左に示すことにする。

東京市京橋區月島八丁目に「月島労働寄宿舍」なるものがある。これは最下級の労働者を收容する所であつて、彼等に相當の仕事を与へると共に彼等を精神的にも教導して居る。私は嘗て其監督者たる私の友人から聞いたのであるが、收容者の多數は單に物質的のみならず精神的に於ても最下級の労働者である。換言すれば彼等は普通の能力を有して居ない。故に彼等を使用するにも決して獨立的の仕事を与へることは出来ない。唯僅に荷車の後押しを爲す位が彼等に相當の仕事であるといふことである。私は斯の如き社會のドン底にある所の労働者を收容して、これを保護しつゝ、ある救世軍に對し敬意を表せざるを得ないのである。今此事業に關する成績を左に紹介する。これは言ふ迄もなく救世軍の報告に據つたものである。

前年末現在員	八二
新規收容人員	三一八
宿泊者延數	二九、五六四
無料宿泊者數	九二六
無料給食數	二、三一九
被備稼ぎ紹介數	一七、二三五
定備稼業に出したる數	七、一〇八
國元へ歸らしめたる數	七四

無料宿泊
所

他處へ送りたる數	四九
病院に送りたる數	三
無断退舍したる數	一二七
不結果にて退舍を命じたる數	一
定職に周旋したる數	七四
死亡者の數	一

淺草區黒船町にある無料宿泊所「箱船屋」は無料宿泊を許すと共に無料職業紹介をもなして居るのであるが、大正七年中に於ける成績は次の如くであつた。

無料宿泊人数	四、三三四
雇人申込者の數	七四七
就職依頼者の數	一、〇四六
紹介數	八六四
就職者の數	七二二
内 譯	
事務員となりし者	七
店員	一〇二
日雇労働者	一六
職工	三六六
小僧及徒弟	三三

配 達 一四六
小 使 一二二
其 他 四〇

出獄人保護事業の成績

出獄人保護事業は東京及び大阪に於て行はれて居る。東京市に於ては牛込區赤城下町にある「勞作館」が其れである。今大正七年中に於ける成績を示せば左の如くである。

前年末現在員の數	二六	間接保護	一二〇
新規保護人員の數	二五九	直接保護	一三九
内 譯			
保護の必要なきに至りし者	八七		三六
親族に引渡せし者	五四		二五
其他の人へ引渡せし者	四六		四
他の保護會へ紹介移轉せしめし者	二		三
不結果にて退館を命じたる者	七二		二五
無断退去したる者	二		五
入監したる者	二		一
病院に送りし者	二〇		一六〇
死亡したる者			
年末現在員の數			

此外に一時的保護を加へたる者の數は次の如くである。

一時的保護を加へし數	五四四
内 譯	
出獄の際一時宿泊せしめたる數	二八
保護者を呼寄せ引渡したる者	三八
人物の紹介を爲したる者	三四
職業を紹介したる者	一〇六
衣食雜品又は旅費を給與したる者	一五四
親族故舊の許まで同伴したる者	三六
職業用器具を貸與又は給與したる者	二八
停車場又は乗船場まで同伴したる者	四一
家族隣保被害者との融和を計りたる者	五三
被保護者の家族を扶助す	二六

大阪市の出獄人保護事業

大阪市の出獄人保護事業は大阪市西區泉尾町に在る「希望館」に於て行はれつゝある。大正七年中に於ける成績は左の如くである。

前年末現在員の數	直接保護	間接保護
新規保護人員の數	一七	五二
	三三六	三八
第三編 第三章 我國に於ける救濟事業		一一七

内 譯

職業を紹介し就職せしめし者
 衣食雜品又は旅費を給與したる者
 親族又は故舊の許まで同伴したる者
 保護者を呼寄せ引渡せし者
 停車場又は乗船場まで同伴したる者
 家庭隣保被害者との融和を計りたる者
 被保護者の家族を保護したる場合

其外婦人ホームに於て救済したる出獄人以外の婦人は次の如くである。

前年未現在員	八
新規保護人員	一六二
内 譯	
廢業 娼 妓	三六
廢業 藝 妓	三三
廢業 酌 婦	三五
警察より送られし者	二五
再 收 容 者	五八
親戚知人より依托	二〇
停車場より收容	一七

大連市に於ける育兒及び婦人ホーム

定業に就かしめたる者	七〇
親族又は知人に渡せし者	七九
不結果にて退舎を命ぜし者	二二
他の保護機關に移轉せしめし者	二
無断退館したる者	一八
死亡せし者	一
年 末 現 在 員	八

今や救世軍の事業は南滿洲に迄及んで居る。大連市に救世軍の「育兒及び婦人ホーム」がある。即ち其名の示すが如く育兒及び婦人救済の事業を經營して居る。大正七年に於ける其事業の成績を示せば左の如くである。

育 兒 部	二九
前年未現在員の數	六二
新規保護人員	八
内 譯	
警察より委託せられし數	四六
親戚知人より委託せられし數	八
再 收 容 の 數	三五
家庭親戚知人に渡せし者	二
職に就かしめし者	二

死亡したる者	三
年末現在員	五一
婦人救濟部	八
前年末現在員の數	六三
新規保護人員	八
内譯	
廢業酌婦	一
警察より委託せられし數	一四
親戚知人より委託せられし數	一九
再收容の數	二九
結婚せしめたる者	四〇
定業に就せしめたる者	一
家庭親戚知人に渡せし者	二
無断退去の者	一
年末現在員	八

愛隣館なるものは救世軍が貧民窟に設けたるものであつて、其目的は附近の貧乏者に必要な援助を與へるにある。目下東京市に於ては下谷豊住町と本所區松倉町との二ヶ所に愛隣館が設けられて居る。而して大正七年に於ける活動の有様を紹介すれば左の如くである。

保護事業

下谷愛隣館

本所愛隣館

救世軍病院

救世軍は下谷區仲徒町三丁目「救世軍病院」を設立し、貧病者のために投藥救療を行ふて居る。大正七年に於ける成績は左の如くである。

金品を給與して一時の急を救ひたる數	九五	一四八
職業の世話をなしたる數	二二	二三
身上相談に應じたる數	六三	
病者を慰安したる數	五一	六
無料にて葬儀を執行したる數	一〇	一七
病院へ紹介又は入院せしめたる數		八
無料にて宿泊せしめたる數		五
救世軍婦人ホームへ送りたる數		一
救世軍無料宿泊所へ送りたる數		一六
外來新患者の數	(内男二、〇四七)	三、五三七
	女一、四九〇	
外來舊患者の數	(内男九、七九七)	一五、九六七
	女六、一七〇	
同新舊患者の延人員	(内男二五、〇六八)	四二、三一七
	女一七、二四九	
入院患者の數		一九
外來施療患者の數		三七三

(内男二五五 女一一八)

巡回救護及往診患者の數

二三二

其爲に用ゐし時間

三八四

其爲に訪問したる戸數

二六二

肺病院

東京府下和田堀内村に「救世軍療養所」が設立せられて居る。是は結核患者を收容する所であつて、今は百人迄收容し得べき設備を有して居る。最近には東京府の委託患者をも引受けることになつたといふことである。今迄の成績を示せば左の如くである。大正五年十二月一日開所以來同七年十二月迄最初の二ケ年一ヶ月間に收容した患者數は二百四十六人(内男百四十七人、女十九人)であつて、此延人員は二萬五千二百十五人、即ち一ヶ月平均收容人員は三十三人弱に當る。患者の年齢は二十六歳乃至三十歳が最も多く其人數は六十四人、次は二十一歳乃至二十五歳の五十九人、次は三十一歳乃至三十五歳の四十三人、其次は十六歳乃至二十歳の四十二人、其他は老幼合せて二十一人である。これを職業別にすれば無職の九十六人が最多で、此中には婦人の大部分を含んで居る。其を別としては職工の三十一人が最も多く、次は店員二十五人、商人十八人、學生十七人、會社員十五人、官吏十一人、教師八人、農業者五人等である。以上を府縣別にすれば東京の百二十八人が最も多く、其次は茨城の十四、静岡と新潟の各七、長野、千葉、宮城、北海道の各々六、群馬、神奈川、埼玉、栃木の各五、其他大概の府縣に互

旅客の友

り、中華民國といふのが一人ある。大正七年十二月末の收容患者は三十七人であつたが、八年に入りては追々増加し、常に六七十人の間を上下して居る。

救世軍は又田舎から無謀に上京する所の少女を保護するために「旅客の友」と稱する運動を開始し、上野驛及び淺草公園等に出張して少女を助けて居る。大正七年度に於ける成績は左の如くである。

去一年間上野驛及淺草公園出張度數

一八九

同じく取扱ひたる件數

一四三

内 譯

救世軍婦人ホームへ引取りし數

二二二

親戚知人故舊の許迄同伴の數

九八

電車に乗せて見送りし數

一三

警察署へ引渡せし數

三

郷里へ歸らせし數

七

救世軍は尙これ以外に次の如き事業を行ふて居る。即ち警察及び監獄の訪問であつて、其目的は主として醜業婦及び其他犯罪者の救濟である。又救世軍本營の中には中央婦人救濟係といふのがあつて、藝妓、娼妓及び酌婦の如き不幸なる女性を救濟するために運動して居る。更に本營には身上相談部なるものがあつて、あらゆる不幸者の相談を受けることになつて居る。以

其他の救濟事業

上述べたる救濟事業は何れも一年を通じて行はれて居るものであるが、救世軍が一時的に行ふて居る所の救濟事業も決して少なくない。今私はこれに就いて少しく述べて見たい。第一は冬季中下谷愛隣館及び本所愛隣館を中心として、其附近の貧民窟に炭團の安賣を試みたことである。これは本所、深川、淺草、下谷の四區、及び日暮里、三河島、千住、箕輪の貧民に幾分か寒さを凌ぐ便宜を與へんがためであつた。普通には一個一錢で賣買する炭團五萬個を原價の儘六厘宛で賣捌いたのである。時の東京府知事井上友一氏は運賃及び其他の費用として若干金を寄附したといふことである。

救世軍が社會の必要に應じて如何なる救濟事業にも盡力するといふことは次の事實によりて證明することが出来る。大正七年の夏不幸なる米騒動の起らんとする前に當り、救世軍は東京府と打合せをなし、外國米及び朝鮮米の廉賣を始めたのである。即ち八月十五日から二十二日に至る八日間深川、本所、淺草、下谷、小石川、四谷、麻布、月島、千駄ヶ谷の九ヶ所に於て賣捌きたる外國米及び朝鮮米は合計四百七十三石三斗七升であつて、賣上代金は五千八百四十四圓七十錢であつた。其後引續き下谷と本所の愛隣館に於て所謂武藏屋といふ名稱の下に米及び木炭の廉賣を續けたのであるが、其年末迄の成績は次の如くであつた。

外國米袋數	一、三四六
此代金	一九九四二、二

朝鮮米袋數	二三四
此代金	三、〇七六、四
臺灣米袋數	九六
此代金	一、八五〇、八
木炭袋數	七三二
此代金	六〇一、八

慈善鍋

救世軍の救濟事業中近年最も慈善家の同情を得る様になつたのは年末に於ける街頭の慈善鍋である。何人も知るが如く慈善鍋の目的は我國に於ける古き習慣である年始の雑煮餅を貧乏者にも得せしめんとするにある。救世軍はこれがため通行の頻繁なる街路に鍋を釣して慈善家の寄附を仰ぐのである。大正六年迄は所謂慈善籠なる物を造り、其中に餅、蜜柑、手拭などを入れて貧民窟の住民に無料配付を行ふたのであるが大正七年には勞働階級の景氣が比較的良かったのを見て、従來の方針を改め一升五十錢の餅を二十五錢にて廉賣することにした。斯の如くして八十餘石の雑煮餅を二三日の間に賣捌いたといふことである。尤もこれを賣るには豫め適當なる制限を設けることにした。即ち救世軍の士官は自ら擔任して居る所の貧民窟に於て眞に貧乏者と思はれる者のみに雑煮餅購券を分配したのであるから、其切符を所有せる者のみに對し雑煮餅を廉賣したのである。然し斯の如く廉價なる雑煮餅すら買ふことの出来ない貧乏者に對しては救世軍は陰に雑煮餅の無料配付を行ふたといふことである。

私は比較的詳細に救世軍の救濟事業を紹介したのであるが、これは明かに救世軍の事業が確かに模範的であることを信じたからである。救世軍は常に多くの救濟事業に努力して居るのみでなく、最も必要のある場合に於て其全力を一事業に集中することが出来るのである。故に其爲す所の事業が極めて敏速に行はれるのであるから、私共はこれを見て痛快に感ぜざるを得ない。彼の米騒動の起らんとする以前に於て逸早く外國米の廉賣を開始したるが如きは全く機敏の處置と言ふべきである。救世軍は其組織に於て全く軍隊と異なる所はない。其活動がキビキビして居る事は全くこれがためである。私は救世軍の人々と同じく軍隊主義其物には全然不賛成であるけれども、軍隊の組織だけはあらゆる方面に於て模倣すべき理想的組織であることを信ずる。私が前に述べたるが如く救世軍の救濟事業が比較的少なき費用を以て比較的大なる効果を來し、同時に何時も機敏なる働きをなしつゝ、あることは全く共同作用を原則とする軍隊組織の結果ではないかとも思ふ。

私は以上救濟事業に就き述べて來たのであるが、今此章を終るに先ち、救濟事業に對して一般的批評を試みたいと思ふ。言ふ迄もなく人類社會から貧乏を滅絶する手段としての救濟事業は決して有效なるものではない。然し私共が社會的疾癘を根本的に治療するには少なからぬ年月を要するのであるから、決して現社會に於ける貧乏なるものを放任して置くわけにはゆかない。故に現在私共の執るべき手段としては先づ救濟事業に頼る外はないのである。譬へば根本

的に火災を防ぐには建築材料を選び且つ建築法を改善すべきは勿論であるけれども、既に火災の起りたる場合に於て根本的防火手段のみを論ずるといふ事は實に迂愚の甚しきものである。目下の急務としては何人も先づ火災を消し止むることに全力を注がねばならぬ。私が救濟事業の必要を信ずるのは全く斯の如き意味に於てである。斯く論じ來れば現今の社會に於て救濟事業の必要なることは言ふ迄もなきことである。社會は其資力の許す範圍内に於て最も聰明に最も經濟的に各種の救濟事業を行ふべきである。

若し現社會に於ける貧乏を應急的に防止することをしなかつたならば、社會全體は必ずこれによりて大なる損失と危険を招くに相違ない。今日の社會は最も精巧なる有機體である。若し其一部に何等かの故障を生ずれば、これによりて全體は必ず影響を蒙ることになる。殊に都會生活に於ける貧乏者の生活は衛生上及び道德上の影響を市民全體に及ぼすものである。若し貧乏者の住宅に對して何等の改良をも加へず、且つ彼等の衣食に對して何等の考慮をも拂はない場合に、富者は果して何等懸念無しに其生活を營むことが出来るであらうか。貧民窟に發生する所の傳染病は容易に富豪の家にも侵入することが出来る。貧民窟に於ける消防設備の不完全は直ちに富豪の住宅にも影響を及ぼすことが出来る。貧乏のため犯罪の數が益々増加することになれば、富者が主として裁判所及び監獄の費用を負擔せねばならぬことは言ふ迄もない。更に貧民窟の道德標準が驚くべき程度に迄墮落したと假定せよ。窃盜乃至強盜は終に富豪の邸宅

を襲ふに至ることは明かである。斯の如く考へ來れば、救濟事業を行ふのは貧乏者を救濟するといふよりも、寧ろ富者が自ら衛るの途であるといふのが適當であるかも知れぬ。私共は貧乏者を輕蔑するが如き文字を用ゐるよりも、將來に於ては今少しく謙遜なる名稱を用ゐることを希望する。換言すれば救濟事業といふよりも自衛事業といふ方が遙かに適當なる語ではないかと思ふ。

救濟事業
は不充分
なる治療
法

然し社會的疾病的治療法として救濟事業が決して完全なるものでないことは充分に之を認めねばならぬ。私共は應急手段として救濟事業の價値を認めるけれども、これによりてのみ社會的疾病的を全治することが出來ると思ふのは大なる誤りである。救濟事業は決して貧乏の根本に溯つてこれを救治することは出來ない。恰も源泉を清めずして大河の濁りを防止せんとするが如きもので、其效果の少なきことは明かである。單に救濟事業によりて貧乏を絶滅せんとするならば、たとひ幾百年を経るも其目的を達することは出來ない。彼の英國に於ける救貧院を見ても、救濟事業の成績が決して良好ならざることを見ることが出來る。英國全體を通じて毎年救貧院に收容せられる所の赤貧者は殆んど二百萬人に達すると言はれて居る。而して其人數はこれを數十年前に比して殆んど少しの減少をも見ないのである。これによりて見れば救濟事業は單に貧乏の程度を或點迄喰止めるだけで、これを絶滅することは出來ないのである。故に社會的疾病的を根本的に治療せんと思ふならば、私共は救濟事業の如き應急的手段を採用すると共

に漸次根本的治療法を講ずることにせねばならぬ。以下述べる所のものは即ち順を追つて一時的な手段から永久的な手段に進み行くのである。

第四編 教育事業

第一章 英國に於ける教育事業

大學植民
と大學普
及

社會問題としての教育事業は學校教育といふが如き普通のことを意味するのではなく、直接に貧乏を滅絶する目的を以て行ふ所の貧乏者教育である。勿論貧民學校の如きものは教育事業といふことが出来るけれども、其の多數は貧兒を教育する所であつて、大人たる貧乏者を教育する所ではない。故に社會政策としての教育事業は老幼男女の區別なくあらゆる貧乏者を教育するものと了解しなければならぬ、而して斯の如き教育事業には二つの代表的事業がある。第一は大學植民 (University Settlement) 或は社會植民 (Social Settlement) と云ひ、第二は大學普及 (University Extension) といふのである。前者は大學關係の人々が貧民窟に出張所を設け、親しく貧民に接して教育的に彼等を援助することを目的とするのである。後者は大學に於ける講義を大學以外の人々に聴かしむる目的を以て講義録を發行し、若くは各所に於て講演會を開くことを目的とするのである。斯の如く大學植民及び大學普及は何れも大學以外の者を教育するために起りたる事業であるが、其中最も多く貧乏者に關係を有する者は大學植民である。大學

普及は我國に於ても盛に行はれて居る。即ち校外教育なるものが其れである。校外教育は講義録と講演とを其の主なる事業として居るのであるが、今日我國に於て其恩澤に浴して居る者は多少の教育ある青年であつて貧乏者ではない。勿論將來に於ては貧乏者の中に校外教育を要求する者が増加するに相違ないが、今日迄の有様を以てすれば、貧乏者の中に講義録や講演を希望する者は比較的少ない様である。これは歐米諸國に於ても同様であつて、労働者の多数は寧ろ校外教育よりも大學植民の方を歓迎して居る様に見える。勿論彼等は全く校外教育を無視して居る譯ではないけれども、彼等は種々なる理由により、多く大學植民に接近する機會を有して居るがため、自ら校外教育に遠ざかる傾向がある。

今日貧乏者の教育機關として最も重要な位置を占めてをるものは兎に角大學植民であると言はねばならぬ。英國に於ては大學植民といふ名稱が用ゐられ、米國に於ては社會植民といふ名稱が用ゐられて居るけれども、其實質に於ては少しも異なる所がない。私は植民といふ文字の中に深い意味の含まれて居ることを説明してをかねばならぬ。今日の社會に於ては各階級の關係が漸次疎遠になり、終には彼等の間に面白からぬ感情をさへ生ずるに至つたのである。換言すれば富者は貧者と何等の交渉なく、學者と無學者の間には何等の關係がないといふ有様である。大學植民は斯の如き階級的思想を打破せんがために起つて來たのである。大學關係の人々は自分の學問を自己の專有物とせず、これを無學者に分配せんがため、進んで貧民窟に其住居

大學植民の意義

大學植民の起源

を定めんとしたのである。恰も移住民が懐しき故郷を去つて天涯萬里の異郷に轉住するが如く、學者は彼等の境遇を顧みずして其住居を貧乏者の間に移すのであるから、これを植民と稱するのは決して過言でない。大學教育は少數の人々が専有すべき筈のものでないから、若し其設備が充分であるならば、何人にもこれを解放すべきは勿論である。然し大學が如何に其門戸を解放しても貧乏者は到底其處に出入して教育の恩澤に浴することが出来ない。何となれば彼等は其れに必要な學資と時間とを有して居ないからである。これがため博愛の心に富める少數の人々は終に大學植民といふことに考へつき、自ら進んで貧民窟の中に大學教育といふ福音を齎らし來ることになつた。故に大學植民は最も高尚なる人道主義の發現と言ふことが出来る。大學植民の歴史に就き簡単に述べることは必要であると信ずる。ケンブリッジ及びオックスフォードは英國に於ける有名なる二大學であつて、これ等が大學植民事業の原動力となつたといふことは殊に注意すべきことである。如何にして此二大學が社會事業に興味を有する様になつたかといふに、私共はこれを幾多の熱心なる教授の指導に歸せねばならぬ。二大學に於ける教授の中には最も熱烈なる人道主義に動かされたる者が少なくなかつた。彼等は其偉大なる感化力を學生に及ぼしたのであるから、多數の學生中から少なからぬ篤志家をも生ずるに至つた。斯の如くして大學は單に學問の研究所であるのみならず、或意味に於て社會運動の中心となつたのである。

一八六〇年の頃フレデリック、モリスはロンドン市に通俗大學を起しケンブリッジ大學の學生をして教授の任に當らしめたのであるが、大學生が労働者に接近する様になつたのはこれが最初であつた。其當時ケンブリッジ大學にはチャールズ、キングスリーといふが如き有名なる教授があつた。彼は貧民に對して深厚なる同情を有し、學生の間に其精神を鼓吹したのであるから、大學は種々なる方面に於て救濟事業を行つたのみならず、校外教育にも大いに貢獻する所があつた。更に労働問題の方面に於ても大いに盡す所があり、シーレー教授の如きは労働者同盟設立のために盡力し自ら其會長となつた位である。

然し大學植民事業は其功績をオックスフォード大學に歸せねばならぬ。同大學に於ける學生の間に人道主義を鼓吹したのはトマス、ヒル、グリーン及びジョン、ラスキンの二教授であつた。グリーンは有名なる哲學者であつて、熱烈に人類同胞主義を稱へたのであるが、決して一學究ではなかつた。彼は自らオックスフォード市の役員となり、大いに市政のために盡力したのである。ラスキンは大學に於て美術に關する講義を擔任して居たのであるが、彼は常に労働の神聖を説きたるのみならず、或時は自ら鋤を手にして學生と共に道路の修繕を爲したといふ平民的學者であつた。斯の如き精神の充實せる大學から大學植民事業の起つたのは決して偶然でない。

オックスフォード大學の卒業生にエドワード、デニソンといふのがあつた。彼は一八六七年東部ロンドンに於て貧民の間に住居を定め、彼等の生活状態を研究すると同時に公開演説を催し

て彼等を指導したのである。これが今日の所謂大學植民の始めであつた。然しデニソンの事業が未だ充分なる發達を遂げざる前に彼は不幸にして死んだのである。大學植民の卒先者は斯の如くして中途に斃れたのであるけれども、彼の事業はアーノルド、トインビーによりて繼續せられることになつた。トインビーはグリーンの子弟であつて、其專攻學科は經濟學であつた。彼は在學中健康の全たからざるため往々其修學を妨げられたのであるけれども、彼の天才は教授の間に認められ、一八七八年に學位を得たる後教授に擧げられ經濟學の講座を擔任することとなつた。「産業革命」は即ち彼の著書であつて廣く讀者界に歡迎されたのである。彼は斯の如く學者として其位置を得たのであるけれども、彼は實際問題に對しても大なる興味を有して居た。これがため彼は毎年夏季休業を利用して東部ロンドンに至り、貧民のために指導の勞を執つたのである。八七九年結婚したる以來専ら貧民の間に居住し、彼等のために經濟問題の講義を試み、貧民をして大學教育の利益を受けしめた。然も彼は一八八三年三月終に志を果すに至らずして死亡したのである。彼の友人は彼の事業を繼續せしむるため寄附金を募集し、東部ロンドンに會館を建築せんとの計畫を立てた。恰もよし一八八三年十一月トインビーの援助者たるセント、チュード教會堂の牧師サミュエル、バーネットはオックスフォード大學に來り、少數の學生を一室に集めて大學生が貧民の間に住居することの如何に必要なかを熱心に説いたのである。其結果五名の學生は東部ロンドンに家を借りて貧民の間に働くこと、なつた。これがため

會館を新築することが益々必要となつて來たのであるから、オックスフォード大學は此主旨をケンブリッジ大學に通じて其賛成を求めることになつた。ケンブリッジ大學も直ちに援助を與ふることを承諾したのであるから、茲に新築の計畫成り、一八八五年一月を以てトインビー、ホルの開館式を行ふことになつた。而して前に述べたるバーネットが最初の館長に擧げられたのである。

私は次にトインビー館の組織及び事業に就き其大略を述べることにする。大學植民は大學を貧乏者のために解放するといふ精神から起つたのであるから、トインビー館の建物は出來得るだけ大學の建築を模倣して居る。總て英國に於ける大學の建物は四角形であつて中央に大なる中庭を有して居るのである。但し建築材料は石若くは煉瓦であつて、別に一定して居ない。トインビー館は四角形の煉瓦造りであつて、中央に廣き中庭がある。蔦葛が煉瓦の壁を蔽うて居るなどは如何にもオックスフォード大學などの建物を思出させる。建物は確かには記憶せぬが、三階若くは四階であつた様に思ふ。書間は附近の街路を走る馬車や荷車の音が聞ゆるけれども、夜分になれば極めて静かであるから修學のためには都合が宜い。

三階は主に宿泊者の寢室に充てられ一階及び二階は客室、食堂、講義室、圖書室等のために用ゐられて居る。宿泊者は即ち植民者であるが、彼等の多數は大學卒業生である。彼等は何れも晝間職業に従事して居るのであるから、宿泊費はすべて自ら負擔することになつて居る。尙

トインビー館

宿泊者

一定の宿泊者以外に一時的宿泊者をも收容するのである。たとへば大學に在學せる學生が夏季及び冬季休暇に於て貧民窟研究のために來泊するが如きをいふのである。而して彼等も亦滞在費として實費を拂はねばならぬ。これ等の宿泊者は時間の許す限り夜間に於て其附近の貧乏者を館内の教場に集めて教授することになつて居る。然し彼等の事業は單に教場内に於ける教授のみに限られて居ない。彼等が如何なる手段によりて貧乏者を助けつゝ、あるかは以下これを説明することにする。

第一に述べねばならぬことは宿泊者即ち館員が市民としての事業に努力して居るといふことである。館員の中には選舉權を有して居る者が多いのであるから、彼等は必要に応じて種々なる政治運動に参加するのである。館長バーネットが無料圖書館設立の必要を説き、終にこれに成功したのは全く區會議員を動かしたからである。若し又附近の人々に不安を與へるが如き事件の勃發することあれば、館員はあらゆる手段を講じて彼等に安心を與へるのである。更に勞働問題に對する館員の態度に就いて言へば、彼等は勞働者に對して充分なる同情を表し、且つ彼等のために出來得るだけ援助を與へて居る。勞働運動のため種々なる集會が催される時館内の室は何時も彼等のために開放せられるのであるから、トインビーホールは勞働運動の本營といつても差支はない。

第二に述べべきことは社交的事業である。大學植民の目的は單に勞働者を教育するのみでな

市民としての活動

社交的事業

く、又彼等に相當の慰安を與ふることにあるのだから、社交的事業には最も重きを置いて居る。館員は館費を以て時々労働者を招き食事を共にすることがある。食事中に於ける興味ある談話は勿論のことであるが、食後には演説があり、或は唱歌があり、彼等は充分に歡を盡すのである。冬季に於ては多人数の親睦會を催すことが普通である。斯の如くして館員は如何なる人も親密なる交際を結ぶことが出来る様になる。娯樂の最も主なるものは音楽である。館内には屢々音樂會が催され、附近の人々は其處に集合して一日の勞を忘れるのであるが、殊に夏の夜に於ては度々中庭にて音樂會を催すことがある。斯の如くしてトインビー館は其附近に於ける社交の中心と稱せられる様になつて居る。

第三は教育事業であつて、これは大學植民の主なる事業であると言はねばならぬ。教育事業は殆んど一年を通じて行はれて居るけれども、殊に冬季に於ては其方面に全力を注ぐことになつて居る。而して教育は年齢に應じて其程度を異にするのであるが、下は小兒の普通教育から、上は大人のために設けられたる特別講演に至る迄種々なる教育が行はれて居る。前に述べたるが如く校外教育の講演會も屢々館内に於て行はれるのであるが、時には名士を招きて専門的講演會を催すこともある。聴衆は老幼男女の區別を設けないのであるから、何人も自ら好む所の講演を聞くことが出来る。但し講演には無料の者と多少の聴講料を徴するものがある。總ての講演の中で最も人氣を得て居るのは經濟學である。而して經濟學は單に學理として研究せら

教育事業

れるのみならず、經濟學俱樂部なるものが設立せられ、東部ロンドンに於ける労働者階級に關する實際の研究を試みて居る。以上述べたるが如くトインビー館の爲めに應援する者は單に大學の教授のみでなく、各方面の名士も來つて少なからぬ援助を與へるのであるから、労働者は英國に於ける第一流の宗教家、政治家、教育家及び藝術家に接近する機會を得るのである。宗教及び政治に關してはトインビー館は全く不偏不黨の態度を執つて居るのであるから、各方面の同情と援助を得るには極めて都合が宜い。

序に述べて置かねばならぬことは館内に附屬圖書館の設けられてをるといふことである。圖書館は大學の生命であるから、大學植民に圖書館の設立せらるべきは當然のことである。館員もこれによりて利益を受け此處に出入する所の労働者もこれによりて自らを教育することが出来る。

トインビー館に出入する労働者の中には未だ一家を構へて居ない所の青年労働者が少なくない。彼等は最も健全にして愉快なる寄宿舎を要求するのであるから、トインビー館は其附近に於て彼等のために二個の寄宿舎を設けて居る。青年の品性が多く其境遇によりて定まることを考へるならば、寄宿舎の設備が青年労働者のために最も有益であるといふことは多言を要する迄もない。

私は次に旅行俱樂部の事に關して少しく説明してをきたい。此俱樂部は館内に出入する労働

圖書館

青年労働
寄宿舎

旅行俱樂部

者の内特志者によりて組織せられてをるのであるが、彼等は日曜或は祭日を利用して歴史的著名なる場所を訪問するために旅行を企てることを目的として居る。彼等は單に英國内を旅行するのみでなく、時には海を越えて和蘭及び白耳義等を訪問することもある。旅行は知識を與へると共に娛樂をも與へるのであるから旅行俱樂部はこれによりて二重の目的を達して居るのである。

トインビー館が時々繪畫展覽會を開くことがあるのは私共の大いに注意せねばならぬ所である。館員は展覽會のために廣く市内の美術家に出品を求めるのである。展覽會には無料入場を許すのであるが、觀覽者は入口に於て投票紙を受取り、出品中彼が最も好む所の物三個を投票せねばならぬのである。これは常に大人に要求するのみでなく、小兒にもこれを要求することになつて居る。而して斯の如き企ては常に觀覽者を益するのみでなく、美術家に對しても多少の参考となるべきものを與ふることが出来る。觀覽者は何れも投票せねばならぬといふのであるから、多少批評眼を以て繪畫を見ねばならぬことになる。美術家も亦勞働者階級の投票を見て勞働者の藝術に對する趣味如何を知ることが出来る。

最後に附言して置きたいのは如何にして館費が支出せられて居るかといふことである。前に述べたるが如く大學植民は大學關係者が創めたのであるから、寄附金の一部若くは大部分は大學教授及び學生から集められるのである。然し社會一般の人々も漸次此事業に對して興味を感

繪畫展覽會

トインビー館の費用

トインビー館以外の大學植民事業

大學植民の數

社會植民事業の發達

する様になつたのであるから、彼等の手より少なからぬ寄附がなされつゝ、ある事は疑は無い。

トインビー館の外に有名なる大學植民が少なくない。私は尙其一二に就き述べたいと思見てふ。オックスフォード館は一八八四年の創立であるが、これはオックスフォード大學の中にあるキープル、カレッジの關係者が設立したのである。トインビー館が社會事業を主としてをるに反し、オックスフォード館は宗教事業に重きを置いてをる。次にマンسفールド館は同じくオックスフォード大學のマンسفールド、カレッジ關係者により、一八九〇年に創立せられたのであるが、其所在地はキャンニング、タウンであつて、トインビー館に比すれば、一層ロンドン市の貧民窟に接近して居る。マンسفールド館は殆どトインビー館と同じく主として社會事業に盡力して居る。改良木賃宿を所有してをる外に訴訟鑑定の引受をなし、或は貧民訪問委員なるものを設け、貧乏者の家に至り種々なる慰安を與へて居る。

以上述べたるが如き大學植民事業は漸次其數を増加して、一九一一年にはロンドン市に於ける事業の數三十四に達した。其中十四は全く婦人のために設けられたる大學植民事業である。

第二章 米國の社會植民事業—ハル、ハウス

米國に於ける社會植民事業は全く英國に於ける大學植民事業を學んだものである。然し現在

に於ては米國に於ける社會植民事業は其數に於て遙かに英國を凌駕して居る。今其發達の有様を述べれば、一八九七年には事業數僅かに七十四に過ぎなかつたが、一九〇〇年には百〇三となり、一九〇五年には二百〇四となり、一九一一年には四百十三となつた。私は最近の統計を得ることが出来なかつたことを遺憾に思ふのであるが、十年を経たる今日に於ては更に大なる増加を來してをるに相違ないと信ずる。

米國に於ける最大の社會植民事業はシカゴ市のハル、ハウス(Hull-House)である。これは一八八九年九月十八日に創立せられ、其創立者はゼーン、アダムス及びエレン、スタールの二女史であつた。館長ゼーン、アダムスのほかに館内に宿泊する者女子三十一名、男子二十名である。毎日通勤してこの事業を援助する所の特志者は女子五十八名、男子三十名である。斯くの如く百四十名の男女が多く時間を寄附して此事業のために働いて居るのであるから、其成績の見るべきもの多いことは言ふ迄もない。ハル、ハウスの設立に就き創立者は其目的を左の如く説明して居る。第一市民生活及び社會生活に對して適當なる中心點を提供すること。第二教育事業及び慈善事業を創設し、且つこれを維持すること。第三シカゴ市の工業區に於ける状態を研究し、之が改善を圖ること。私は斯の如き目的を以て創立せられたるハル、ハウスの事業を説明する前に先づ此の社會的植民が市の如何なる部分に於て試られたるかを説明せねばならぬ。

ハル、ハウスの所在地

ハル、ハウスの創立の目的

人の居住地であることは特に私共の記憶して置かねばならぬことである。何れの大都市に於ても貧民窟の住民は多く歐維巴諸國から移住して來た所の人々である。故に外國人と貧乏者とは殆んど同一の意義を有する様になつた。シカゴ市に於て最も多くギリシヤ人の住居して居る區域はハル、ハウスの附近であつて、其人口は約三千人と稱せられて居る。ハル、ハウスとシカゴ川との間には以太利人の住する一區域があり、其家屋は最も貧弱である。更に其隣りにはアイランド人及びボヘミア人の部落がある。然し此二人種は以太利人に壓せられて更に西方に移動しつゝある。ハル、ハウスの南方には露西亞人及び猶太人が一區域をなして居る。其他には少數であるけれども獨逸人、スカンディナヴィア人、匈牙利人、奧太利人、和蘭人等が各所に散在して居る。以前は多少の資産を有する者が住宅を構へて居たけれども、今や殆んど全く工業地と化して去つた。即ち大工場は年々小家屋を放逐し、同時に小工場は殆んど各所に於て見ることが出来る様になつた。而して其内最も多數であるのは衣服製造を行ふ所の工場である。通行の比較的頻繁なる處に於てはデパートメントストア、古着及び古道具店、飲食店、或は下等なる劇場などがある。ハル、ハウスは斯の如き境遇の中にあつて驚くべき教育事業を行ひ、以て貧乏者の幸福を増進することに努力して居る。私は今ハル、ハウスが如何なる事業を爲しつゝあるか左の順序によりこれを説明する。

(I) 調査事業 館員は政府及び其他の團體の依頼により、今日迄種々なる方面の調査に従事した

調査事業

のであるが、今其主なるものを次に掲げることとする。これによりて見ればハル、ハウスが如何なる種類の研究に對して努力して居るかを知らることが出来る。

一八九二年 イリノイ州労働統計局のために Sweating System (格外なる安賃銀を以て自宅労働者を使役すること) の調査を爲した。

一八九三年 中央政府労働省の爲めシカゴ市貧民窟の調査、及び中央政府農務省のため食物調査。

一八九六年 衛生調査委員のため第十九區(ハル、ハウスの所在地)に於ける酒店の調査。

一八九七年 中央政府農務省のため以太利人區の食物調査、及び倫理學會のため第十九區に於ける一般的調査。

一九〇三年 湖岸に於て労働する臨時雇人足に關する調査。

一九〇五年 遊惰の原因に關する詳細なる調査及びシカゴ市に於ける肺結核の研究。

一九〇七年 コカインの販賣に關する調査。

一九〇八年 助産婦に關する調査(シカゴ市區會と協同して)及びシカゴ市に於けるギリシヤ人に關する調査。

一九〇九年 或移住民團體に於ける小兒死亡の調査。

一九一〇年 小學校生徒の家庭に於ける讀物に關する調査。

都市改良
事業
住宅問題

(II) 都市改良事業

(1) 住宅問題 ハル、ハウスが住宅問題のために盡力したことは大いに注意すべき點である。何となれば貧民窟に於て衛生上最も恐るべきことは主として家屋の不潔といふことにあるからである。ハル、ハウスは單に其附近に於てのみならず、シカゴ市全體に亙りて家屋改良のために大いに努力したのである。一九〇一年に於て設立せられたる「都市住宅問題研究會」のために其本部として會館を提供したのみならず、アダムス嬢は自ら其會の役員として大いに盡力する所があつた。更に市の建築課及び衛生課と相提携して住宅改良のために大いに盡力したのである。

(2) 市街及び衛生 汚物掃除は都會に於て最も重要な事業の一つであるが、ハル、ハウスは第十九區内にある他の團體と共に最も適當なる汚物掃除法を案出するために努力したのである。一八九三年にはアダムス嬢自ら汚物掃除請負のために入札したのであるけれども、不幸にして其目的を達することが出来なかつた。然し彼は區の衛生監査官に任命せられたのである。其他ハル、ハウスは完全なる鋪道を敷設するため、或は街路を清潔にするため種々盡力したのである。一時はハル、ハウスの中に設けられたる「兒童同盟」が街路掃除を助けたこともあつた。婦人俱樂部も亦此點に於て大いに盡したのである。

(3) 運動場 シカゴ市に於て始めて公立の運動場を見たのは一八九三年の春であつた。市はこ

運動場

市街及び
衛生

れがため一名の専任教員を派遣したのであるが、ハル、ハウスの宿泊者もこれを援助するた
めに多少の時間を費したのである。然し一九〇六年に至り市の運動場委員はすべて經營の責
任を引受けたのであるから、館員は全く其手を引くことになつた。斯の如くして模範的運動
場は終に市の各所に於て設立せられることになり、ハル、ハウスの宿泊者も亦其方面に於て
協力すること、なつた。

公共浴場

(4) 公共浴場 勞働者の多き處に於て浴場を設立することは衛生上大なる利益がある。米國に
於ける貧民にして浴室を有するものは殆んどないのであるから、公共浴場を設立し、僅少な
る使用料を徴して入浴せしむること、なれば、貧乏者はこれによりて大なる便宜を得ること
が出来ぬ。ハル、ハウスは斯の如き理由によりて、其附近に公共浴場を設立することになつ
た。市は其目的を賛成し無料にて其敷地の使用權を與へたのである。但し市は二年後に於て
此浴場を買収することの出来るといふ條件を附したのであるから、多分今は市の經營となつ
て居るであらうと思ふ。

公衆教育

(5) 公衆教育 館員が各方面に於て教育のために援助を與へつ、あるとは殊更にこれを述べる
必要はない。嘗て某小學校が將に工場に改築せられんとする計畫が公にせられた時館員は盛
んに反對運動を起してこれを防止したのである。其他小學校の設備を改善し、教場數を増加し、
學校に關する適當なる法律の制定を促すために數年間引續きて熱心なる運動が行はれた。館

員の中には早くから各小學校に繪畫及び彫刻物を贈與することを始めたのであるが、其結果
各小學校に於て藝術會の設立を見るに至つた。館員は又怠惰者を教育する目的を以て特別な
る學校を開いたのである。一九〇六年には市の教育家と協力して怠惰の原因を調査したので
あるが、其結果は研究會に於て或は小冊子に於てこれを公にした。一八九七年以來館員の盡
力によりハル、ハウス附近の小學校に於て公開演説を開くこと、なり、爾來此目的のために
小學校の建物は益々利用せられることになつた。斯の如く館員は附近の小學校を利用しつ、
あると同時に、小學校の卒業生は時々其集會を開くためにハル、ハウスを利用すること、な
つた。又館員は小學校を視察し若くは生徒の家庭を訪問することにより、教師及び校長に對
して少なからぬ助力を與へた。且つ有望なる兒童のためには獎學金の制度さへも設けられて
居る。一九〇五年以來病身にして家庭に閉籠れる兒童のために小學校及び幼稚園の出張所を
設けることになつた。アダムス嬢は一九〇五年七月から一九〇八年七月に至る迄市の小學校
委員として働いたのであるが、館員にして市立博物館建設のために盡力したのもあれば、
シカゴ慈善學校の教職員となつて居る者もある。此方面のみを見ても館員の活動が如何に大
であるかを知ることが出来る。

公衆衛生

(6) 公衆衛生 私は今ハル、ハウスの館員が公衆衛生のために如何なる活動を爲しつ、あるか
を述べて見たい。館内には常に一人の専任醫師が滞在して居る。彼は殆んど三年間尙復病の

ために惱まれたる以太利人の兒童に特別の治療を試みたのである。ハル、ハウスは更に自ら必要に応じて看護婦を派遣するのみならず、出張看護婦會と協同して其事業を行つて居る。又數年間幼児のために牛乳販賣所並に配達所を設けて其方面に活動したのであるが、此事業は後にハル、ハウスの附近に於てシカゴ市の「慈善同盟會」が經營して居る所の看護婦會に譲渡することとなつた。一九〇七年には肺病に惱める若き婦人のために療養所を設け、一九〇九年には同じく肺病に惱める兒童のために戶外學校を設けたのであるが、これ等の事業も亦後年には「慈善同盟會」の手に移ることとなつた。一九〇二年に於けるチフスの原因に關する研究は終に傳染區域に於ける家屋の取拂ひとなり、同時に「シカゴ市衛生事業」の組織を見るに至つた。貧民窟に於ける人々は往々傳染病を隱匿する虞があるから、患者を出したる家屋には其旨の揭示をなさしむることが必要である。而して館員は絶えずこれを勵行せしむるために盡力したのである。ハル、ハウス及び區會の二團體から擧げた調査委員は産婆に關する調査をなし、産婆の免許及び其監督に關する新法律の制定せられることを希望するといふ意見を發表したのである。館員は更にサックス博士指導の下に肺病の分布に關する研究をなし、同患者につきては出來得るだけ其病源を究むることにした。一名の館員は今日も尙肺病研究所と協力して居る。一名の館員は二年間市の衛生課に於て衛生検査官の職を奉じ、殊にバン燒業の状態に關して面白い調査をなした。館員は又一九〇九年から一九一〇年に至る間に於

政治運動

て家族の人數と幼児死亡率との關係に就き研究を試みたのである。

(7) 政治運動 ハル、ハウスの所在地である第十九區に於ては有力なる政治團體があつて、市政を横領することを目的として居る。此團體がシカゴ市會に於て多數を占めて居る間は種々なる罪惡が行はれ、これを如何ともすることが出來ないのである。例へば彼等は市役所の取扱ふ事業を其團體員に請負はせて利益を得せしむるのである。或は獨占事業を經營して居る電燈會社或は瓦斯會社の如きに恩を賣り、且つ貧乏者に牢番などの職を與へて其歡心を買ふのである。斯の如くして市政は墮落の極に達して居たのであるから、一八九六年及び一八九八年の市會議員選舉に際し、館員は奮然として起ち、大いに反對候補者を援助したけれども、彼等の努力は不幸にして失敗に終つたのである。然し館員は其他の方面に於て市政のために盡力することを怠らなかつた。更に婦人參政權に對しても彼等は大いに奮闘したのである。(8) 法律と治安 ハル、ハウスにある有志者の中或者は早くから感化事業のために大いに盡したのであつた。例へば幼年裁判所及び一八九九年の感化法の發布につきて努力した如きは即ちこれである。更に一九〇三年に於て館員はコカインの賣買につき調査をなしたのであるが其結果數名の藥劑師は罰せられ、ためにコカインの賣高は大いに減少することとなつた。而して一九〇七年に發布せられた法律は終にコカインの販賣を禁止する事となつたのである。一九〇九年「幼年心理研究會」設立せられ、幼年犯罪の原因を研究することとなつたのである。

法律と治安

が、数名の館員も此事業に關係したのであつた。「幼年者保護協會」は其集會をハル、ハウスに於て開くことを常として居るのであるが其役員中には数名の館員がある。「法律相談所」の支部も亦ハル、ハウスの内に設けられて居る。

(9) 労働 社會植民事業が種々なる方面に於て活動しつつあることは以上述べたる所により明かであるが、労働の方面に於ける運動は殊に私共の注意を要する點がある。ハル、ハウスの如きは時々資本家と労働者との間に立ちて調和を試みることもあるけれども、時によりては思ひ切つて労働者のために援助を與へることがある。甚しきに至りては社會主義者の集會のためにハル、ハウスの一室を提供することをも辭しない。此點に於て彼等の事業は實に公明正大であると言はねばならぬ。一八九一年シャツ製造人が賃銀を減ぜられた、めストライキを起すに至つた時、ハル、ハウスは彼等に對して大なる援助を與へた。一八九二年「外套製造人組合」が設立せられた時にも大いに助力する所があつた。ケリー夫人はイリノイ州の労働統計局から衣服製造業の調査を爲すべく任命されたのであるが、彼の報告は終に一八九三年に於ける工場法發布の動機となつた。而して此法令は工場に於ける兒童の數を減じ、或程度迄家庭と工場の區別をなさしめ、婦人及び女兒の労働時間を八時間に減せしめたけれども、不幸にして憲法違反と云ふ理由を以て此法令は廢止されることになつた。始めケリー夫人は工場監督官に、スチーヴンス夫人は副監督官に任命せられたのであるが、一八九七年スチーヴ

ンス夫人は終に解職せられたのである。一八九四年ブルマン會社のストライキが勃發した時アダムス嬢は仲裁を判によりて其紛擾を解決すべきことを勧告したのであるが其後「都市同盟會」と協同して仲裁及び和解に關する州立委員の任命につき運動を試み、終に其の目的を達することが出来た。一八九六年アダムス嬢は衣服製造人のストライキを援助するため市民大會を開きて其同情を喚起し、仲裁を判によりて此問題を解決すべしといふことにつき「都市聯盟中央會」の賛同を得たのである。現時の「婦人労働組合同盟」の先驅者は最初ハル、ハウスに於て其事業を開始し、其後數年間は其處に集會を開くことになつて居た。「消費者同盟」も亦一八九八年ハル、ハウスに於て組織せられたのである。一九〇〇年アダムス嬢は「産業委員」の前に於て裁縫者組合のストライキに就き意見を述べ、雇主に工場を増設を強制すべきことを論じた。一九〇二年ハル、ハウスは更に兒童労働法を改善するために少なからぬ援助を與へた。一九〇三年「婦人労働組合同盟」の設立を見るに至つたのであるが、ハル、ハウスはこれに對しても大なる援助を與へた。一九〇七年合衆國政府が婦人の労働及び賃銀に關して調査を行つた時館員も亦これに協力した。ハル、ハウスは多年労働組合及び其他の團體と協同して「ウエスト、サイド、デパートメント、ストア」に於ける店員の勤務時間を短縮するために運動したのであるが、多少の成功を見ることが出来た。

(10) 經濟 晝間托兒所は一八九一年の春館内に設立せられ、一九〇八年迄繼續したけれども、

其時ハル、ハウスの附近に新築された「シカゴ救済會」の建物内にある大規模の晝間托兒所と合併することとなつた。一八九三年から九四年に互る恐慌に際しハル、ハウスは救済事業のために大いに盡す所があつた。即ち一八九三年には珈琲店を開き、冬季には婦人のために十仙の晝飯を供給したのである。同時に「シカゴ婦人俱樂部」の指導の下に食物を工場内にも供給することとなつた。珈琲店は全く自給的であつて、ハル、ハウスに對し相當の使用料を拂うて居る。尙青年男女のために共働組合が設立せられた。一八九一年には職業紹介所の設立を見たのであるが、今日迄も尙繼續せられて居る。ハル、ハウス内に在る工場は其製作品たる織物、金屬器、瀬戸物などを販賣し、年々其需要を増加して居る。

(11) 移民のための事業 館員はハル、ハウスの設立當時から移民を立派なる米國の市民として教化することに盡力してをる。故に移民教化の目的を以て組織されたる社會的、文學的及び其他の團體は多くハル、ハウスに於て其集會を催すことになつてをる。「移民保護同盟」は一九〇九年に組織せられたのであるが、シカゴ市に於ける移民のためには將來組織的努力を試みるに至るであらうと思はれる。無政府主義者に關係ありとの嫌疑を受けたる人或は露國政府から捕縛を受ける危険ある人に對してはハル、ハウスは屢々これを救出し、若くはこれに援助を與へたのである。

(12) 救済 ハル、ハウスの一婦人は市の戶外救助局に奉職し、自ら訪問委員となりて働いたの

移民のた
めの事業

救済

ハル、ハ
ウス内部
の組織

であるが、一八九三年には州の救済事業委員の一人に任命されたのである。此婦人は斯の如くして多くの經驗を得たのであるから、不良兒童のために法律を設けることを目的として運動を起した。其結果幼年裁判法、不具者保護法、郡立救貧院及び監獄の改良、癡癩者のために隔離地設立を許可する法、州立癡癩病院に於ける看護法の改善等の實行を見ることとなつた。クック郡病院の實況調査は直ちに其改善を來すこととなつた。一八九四年の恐慌に際してハル、ハウスは救済事業の中心となり、家なき婦人のために宿舍を供給し、男子のためには道路掃除といふが如き職業を與へ、終に「救済事業同盟局」の設立に努力して其目的を達することが出来た。其他ハル、ハウスは貧しき家族を救済するために若干の基本金を有することとなつた。總て救済事業を爲すに當り、ハル、ハウスは決して獨立の態度を執らず、多くの他の救済事業と共同したのである。一九〇九年には貧乏者のために小公園を設立する目的を以て「都市公園協會」組織せられたのであるが、一名の館員は其會長に擧げられた。私はハル、ハウスの事業につき其大體を述べたのであるが、以上は主として館員が外部に對して爲しつ、ある所の運動を述べたものである。私はこれから館内に於ける諸種の事業に就き出来得るだけ詳細に説明して見たいと思ふ。先づ初めにハル、ハウスの經營及び館員に關する規定につき其大體を述べることにする。私は本章の始めに於て館員の人數に就き其大略を示したのであるけれども、此處には尙詳細なる説明を試みることにする。

理事會

ハル、ハウスは七人の理事によりて經營せられてをる。彼等の任期は各々七年である。理事會は一年四回開かれることになつて居るが、其時毎月の收支計算が提出せられ、且つハル、ハウスに關する重要な問題が議せられることになつて居る。

館内宿泊所

ハル、ハウスは大學植民を目的として居るけれども、館員の資格は必ずしも大學卒業生に限られて居ない。然し彼等の多數が常に大學卒業生若くは大學關係の人々であることは事實である。館員は何れも自ら食費を支辨するのであるが、館内には消費組合の設けがあるから、館員中より委員を選びて食事其他のことを擔任せしめて居る。館員の内男子及び婦人は別々の建物に宿泊し、家族を有する者は更に他の建物に住居してをる。而して此等の建物が何れもハル、ハウス所有の物であることは言ふ迄もない。館員の内缺員を生ずる時は申込の順序によりこれを補充する事になつてをる。但し六ヶ月間は單に試験的に宿泊を許すのであつて、其期限後館員の集會に於て彼を館員として受入れるべきや否やを投票によりて定むるのである。而して新に入館したる者は少なくとも二年間館内に住居することを誓約せねばならぬ。前に述べたるが如く館内に宿泊せる男女の數は五十一名であるが、彼等は何れも一定の職業に従事して衣食の資を得、其餘暇を以てハル、ハウスのために盡力するのである。故にハル、ハウスが俸給を拂ふ所の人は極めて少なく、殆んど工業教育に關係せる教師のみに限られて居る。館員は諸種の事業に従事する目的を以て二十の委員會を組織し、其何れかに屬して居る。これ等の委員會は

毎日運動する館員

少なくとも毎月一回集會を開き、且つ館員總會に於て報告をなすべき義務を有して居る。館員の總會に於てはハル、ハウスの活動及び方針に關する事柄を相談し、變更を要する事柄は投票を以てこれを決するのである。ハル、ハウスのために働く者は單に五十一名の館員に限られて居ない。毎日館外から來り助くる有志者の數が決して少なくない。前に述べたるが如く斯の如き有志者は殆んど九十名に達して居るのであるが、其他教師として、若くは臨時的援助者として來る者も多數に上つて居る。即ち毎週ハル、ハウスに出入する所の有志者は全部で百五十名に達して居るといふことである。私が以下述べんとするハル、ハウスの事業は其數に於ても實に於ても著しき程度に達して居り、其の組織の複雑なることは何人も唯驚く外は無いのであるが、斯の如き大なる機關が活潑に運轉して居るといふことは全く五十一人の館員と百五十人の、有志者がハル、ハウスのために貢獻する時間と努力とに原因して居るといふことを記憶せねばならぬ。

講演會

夏季に於てよりも冬季に於て多くの人がハル、ハウスに集り來ることは事實である。冬季に於ける來會者は毎週九千人に達すると言はれて居る。而してこれ等多數の人々が如何なる方法に於てハル、ハウスの恩恵を受けつ、あるか、私は先づ教育の方面から述べて見ようと思ふ。ハル、ハウスに於て行はれつ、ある公開講演の重なる者は大學普及會の手によりて行はれるものである。過去十數年間に互りてシカゴ大學の大學普及會は毎日曜日の晩講演者を送るこ

とになつて居る。聴衆の多数は男子であつた。然し近年に至りては講演會も一層通俗となり、時には講演會の後に音樂會を催すことなどもある。

教育事業の一つとしてハル、ハウスは丁年者のために若干のクラスを作り特別なる知識を與ふることにして居る。而して一年を四期に分ち、これ等のクラスのために三學期の間教授して居るのである。これは殆んど三十年間實行して來たのであるが、近來に至り或クラスのために夏季も授業を行ふことになつた。大人が最も興味を感じる學科は文學、言語、歴史、數學及び繪畫等である。此方面に於ける教育を擔任せる所の指導者は常に一定の方針によりこれ等勞働者を教育して居るのである。即ち教授の目的はこれ等勞働者をして自らの階級から脱出せしめんとするのではなく、寧ろ勞働者の階級に踏み留つて、其仲間に対し最も良好なる感化を與へしめんとするに在る。指導者は常に各クラスに於ける人々と接近して居るのであるから、彼等の必要に應じ充分なる援助を與へることが出来る。最近數年間の經驗によれば、初歩の英語、文典及び修辭に對する要求は益々増加しつゝある様である。然し單に學科のみを教授することはハル、ハウスの目的ではない。故に英語を學びつゝあるクラスの人々は毎月一回親睦會及舞踏會を催すことになつて居る。而して二百名乃至四百名の人々は何時もこれに列席するのである。私は今英語の教授が如何に行はれつゝあるかを示すため左にクラスの數と其教授日數を掲げることとする。

學課及び
授業時間

初級	初等科
初級	毎月曜、木曜午後七時半より
一級	毎月曜、木曜午後七時半より
一級 A	同
二級	毎月曜、金曜午後七時半より
二級 B	同
二級 C	毎月曜、木曜午後七時半より
三級	毎月曜、木曜午後七時半より
四級	毎月曜、木曜午後七時半より
英文典一級 A	毎月曜午後七時半より
英文典一級 B	同
英文典一級 C	同
英文典二級	同
英文作	毎月曜午後七時半より
算術	毎月曜、木曜午後七時半より
地理	毎月曜午後七時半より
佛語	毎金曜午後六時半より
獨語	毎金曜午後七時半より
高等科	
文學	毎月曜、木曜午後七時半より

政治經濟時事問題	毎金曜午後八時より
發音法	毎水曜午後七時半より
唱歌	毎火曜午後七時半より
社會衛生	各級の生徒をして聴講せしむ

高等科

以上掲げたる内高等科に關して少しく説明を試みる。英文學科には三十名以上の生徒を收容して居るのであるが、其内五六年間も引續きて研究して居る者がある。中には文學に對する非凡の才を有して居る者もある。生徒は何れも大いに努力する目的を以て加入して居るのであるから、彼等が自ら研究して發表する所の意見には見る可きものが多い。彼等は集會する毎に或著作を題目として意見を交換するのであるが、毎會六七名の生徒は必ず其意見を朗讀することになつて居る。毎月曜日に集會する所のクラスは『月曜文學會』と稱して居るのであるが、其中の數人は初等科に於ける英作文の學科を終りたる後此會へ入會したのである。會員の數は男女合せて僅かに十五人であるが、彼等は一のテーブルを圍みて坐し、セーキスピアの脚本などを讀み、何等の遠慮なく其意見を戦はすのである。殊に私共の面白く感ずることは、これ等の生徒が猶太人、以太利人、愛蘭土人、獨逸人などと其國籍、宗教、人種、生活狀態を異にするに拘らず、何れも友誼的であり、且つ互に他の意見を了解して居るといふことである。これ等の生徒は時々、殊に夏季に於て親睦會を催し、若くは遠足を試みることもある。

時事問題
及び文學
の研究

時事問題の研究は必しも政治と經濟のみに限られて居ない。彼等は黨派的精神を捨て、全く科學的立場から法律、倫理及び哲學などに關する時事問題をも論するのである。其の研究法は教師若くは生徒によりて選擇されたる雜誌の論文、新聞の社説或は小冊子などを朗讀し、これを主題として討論を試みるのである。而して毎年二三回は講演と共に親睦會を催し舞踏などを試みて新會員を募集することもある。「バラス文學會」は六七年前に設立せられたのであるが、會員は悉く青年猶太人であつて、其目的は一層文學に通じ、同時に英語を學ぶにある。此會は最初館外に設けられたのであるけれども、一九一五年以來常にハル、ハウスに於て其會を開くことになつた。研究題目はノールウエー、ベルギー、獨逸、佛蘭西及び英國の近代劇であつて、其劇を研究すると共に作家の傳記をも研究することになつて居る。各會の終りに於て會員一般の討論があり、殊に題目に關する批評を擔任したる所の生徒の一人が報告を試みることになつて居る。此會も時々親睦會を催し會員相互の親密を計るのであるが、希望者はいつでも入會することが出来る。今や會員の數は二十名であつて其半數は婦人である。

知識教育に關しては以上述べた通りであるが、私は同時に職業教育に就いても其大體を説明しなければならぬ。ハル、ハウスに於ては『シカゴ工藝職業獎勵會』が中心となつて種々なる職業教育を施して居る。例へば瀬戸物、金屬、玻璃、彫刻等の職業教育が即ちこれである。此目的のためハル、ハウスには幾多の仕事を設け、種々なる方面の職業を教授して居る。麻及び

職業教育

羊毛の紡織を行ふために殊に専門の教師を雇入れて居るのであるが、其授業時間は毎金曜及土曜の午前十時から午後一時迄及び午後二時から五時迄である。而して毎三時間の教授十回に對し十弗の月謝を徴して居る。尙「シカゴ婦人俱樂部慈善部」の發意により盲者のために特別なる教授を行ふことになつて居る。

ハル、ハウスは更に女子のために裁縫の教授をなして居るのであるが、毎年來り學ぶ者の數は平均二百名を越えて居る。裁縫は初等科と高等科の二つに分れて居る。教授時間は月曜、火曜、木曜、金曜の午後七時半から、及び火曜、金曜の午後二時からであつて、十回の教授に對する月謝は一弗である。高等科の授業時間は粗初等科と同様であるが、十回の教授に對する月謝は二弗である。尙料理法の教授も爲すのであるが、其月謝は十回の教授に對して一弗である。

「ハル、ハウス職業學校」は六七年前某夫人の厚意により設立せられたのである。ハル、ハウスの附近に住居する若き女子がハル、ハウスに來りて職業の周旋を請ふ者毎年夥しき數に上るのであるけれども、彼等には何等職業教育がないのであるから、彼等のために相當の賃銀を得ることの出来る様な職業を周旋することは全く不可能である。現在の工場法によれば、滿十四歳に達したる兒童はよし普通教育を終らないとしても退學することが出来るのであるから、彼等の多數は其附近に於ける低級にして最も賃銀の少なき工場で働くより外ないのである。これがためハル、ハウスは職業學校を設け、これ等の女子に相當なる職業を與ふことにした。こ

裁縫と料理

女子職業教育

れ等の女子は殆んど全く小學校の課程を終らぬ前に何等かの仕事を爲すことを強制されるのであるから、成る可く短日月を以て彼等を教育することが必要である。これがためハル、ハウスは普通四ヶ月の間に於て何等かの職業を教へるとにして居る。これ等の女子はハル、ハウスを出で、或職業に従事することとなつても、時に不景氣のため其職業を失ふことがある。斯る場合に於てハル、ハウスは彼等が再び來つて更により多くの教育を受けることを勧誘するのである。時としては斯る不景氣に際しても彼等のために適當なる職業の周旋を爲すことも出来る。彼等は斯の如くして裁縫に關する教育を受けるのみでなく、時間の許す限りに於て料理或は舞踏をも學ぶことが出来る。而して體操は彼等のために正科となつて居る。殊に私共が述べて置き度いことは彼等の總てが體格試験を経ねばならぬといふことである。若し彼等の中に眼及び齒の疾患に悩む者があれば教師は必らず専門の醫師に伴ひ行き適當なる治療を受けしむるのである。更に夏季に於ては彼等は何れもハル、ハウス附屬の田園俱樂部に於て二週間の休暇を送ることが出来る。

女子のために最も有利なる職業の一つはタイプライターである。ハル、ハウスは過去六年間十二臺のタイプライターを備へて十四歳以上の女子に使用せしめて居る。毎週六回これを教授することになつてをるが、平均十一名の出席者がある。全體の生徒を三組に分ち、各組が毎週二回づつ、練習をなすことになつて居る。

タイプライターの練習

以上述べたる所はハル、ハウスに於ける事業の大體であるが、私は更に進んで其事業を男子部、女子部、少年部、児童部に分ちて其事業の大略を説明することにした。ハル、ハウスの建物は大體に於て男子部、女子部及び少年部の三つに分れて居るのであるが、其中最も大なるものは少年部のために使用されて居る建物である。私は先づ男子部の事業に就き其説明を試みる事にする。男子部の設立は一八九三年であつて、其建物の中には撞球臺及び球戲臺(pool table)が備へ附けてある。其他運動を爲す者のためには浴室の設けがある。更に集會室の外に讀書室があつて其處には雜誌及び書籍が備へてある。男子部の目的は教育を與へると同時に娛樂をも與へるに在る。然し會員の多數が既に投票權を行使する年齢に達して居るのであるから、彼等が最初から政治問題に對して興味を有するに至つたことは當然である。現在に於ては男子部所屬の室及び圖書室はマッキューリ俱樂部の管理する所となつて居る。而して俱樂部員の數は殆んど六十名に達して居る。マッキューリ俱樂部は過去に於ける男子部特有の活動を繼續して居るけれども、近年に至り體育の方面に多くの時間と精力を用ゐる様になつた。館内に於ける最も大なる室の一つは俱樂部のために使用せられ、運動家の得たる各種の優勝旗其他の賞品を以て飾られて居る。俱樂部は又冬季に於て時々晚餐會及び宴會を催すことがある。會員の中には少年部の事業に對して興味を有し、運動及び其他の事業に於て彼等に援助を與へつゝある。體育俱樂部として最も注意すべきはギリシヤ人の青年によりて組織されたるものである。彼

等は少年部の建物に於ける一室を其目的のために専有して居るのであるが、室内には多くの優勝旗及び賞品が飾られて居る。元來ギリシヤ人の間には二つの俱樂部が存在して居たのであるが、一九一四年の十一月に此二團體は合同することとなり、其會場をハル、ハウスに移すこととなつた。會員は何れも體育會若くは少年部の正會員である。ギリシヤ人の最も得意とする所は角力及び競走であるが、會員の中には米國に於ける選手權を得たものさへある。

男子部は十數年前から公開講演及び討論の目的を以て種々なる會を組織したのである。「労働者社會問題俱樂部」は一八九〇年に組織せられたのであるが、各種の意見を代表する人々が集るのであるから、時には緊張したる議論の行はれることもある。

讀書室には各國の(獨逸、露西亞、以太利、希臘)書籍及び雜誌が備へ付けられてあるから、晝夜の區別なく多くの外國人が集つて来る。いふ迄もなく其處には第一流の英米に於ける雜誌も備へ付けてある。且つシカゴ市公立圖書館も此圖書室のために多くの書物を供給して居る。殊に記憶せねばならぬことは數年前多數の労働者が失業に陥つた時、宿泊所のない労働者のために此室を提供したといふことである。

労働組合との關係

電氣を使用する際にも其勞力を寄附して居る。

ハル、ハウスが労働組合と密接なる關係を有して居ることは大いに注意すべきことである。労働組合にして毎年其總會をハル、ハウスに於て開く者が少なくない。例へば電氣職工組合、ネクタイ職工組合及び瓦斯職工組合の如き即ちこれである。

館内には露西亞人の組織した「社會經濟俱樂部」がある。其部員は露西亞本土のみでなく、フィンランド及びリヌニア等の地方をも代表してをるのである。更に教育の立場から見ても各階級を網羅して居るのである。露西亞人は更にシベリアに流謫せられたる人々のために寄附金を募る目的を以て會を組織し毎日曜日の午後には集會を開いて居る。

前に述べたるが如くハル、ハウスの附近に住居する外國人の中で希臘人は其多數を占めて居る。其結果希臘人によりて組織されたる俱樂部の数が比較的に多い。其第一は希臘人の「社交俱樂部」である。數年前實業界に不景氣の來つた時ハル、ハウスの附近に於ける獨身者の數は平常よりも多數に上つたのであるから、ハル、ハウスの「社交俱樂部」に出席する者の數極めて多く、時には八百人に達したこともある。俱樂部は希臘國民に特有なる舞踏及び音楽、活動寫眞、講演を以て來會者を歡待したのである。尙「トルコ珈琲」を饗應したこともある。更に體育の目的を以て一九一四年十月に一の俱樂部が組織された。部員の數は二百五十名であつて其多數は青年である。而して俱樂部の中堅となつて居る者は「希臘オリンピック俱樂部」の會員であ

露國人の社會經濟俱樂部

希臘人の俱樂部

社會主義者との關係

市民學校

る。部員は毎日曜日の晩に集會するのであるが、時に講演會を開くこともある。以上述べたる外に希臘人によりて設立せられた救濟會が二三ある。これ等は何れも日曜日の午後には其集會を開くことになつて居る。

社會主義者も尙其集會をハル、ハウスに於て開くことが出来る。クック郡の社會黨はハル、ハウスの所在地たる第十九區に於て其支部を有してをるのであるが、支部は毎月二回ハル、ハウスに於て其集會を催し、時には有名なる社會主義者を招聘して公開講演を開く事がある。此支部に屬する社會主義者は何れも英語を語る所の人々であるが、其數は極めて少ない。何となれば第十九區に於ける社會主義者の多數は猶太人の社會主義俱樂部に屬して居るからである。露西亞人なる社會主義者も毎月二回ハル、ハウスに於て集會を開くことになつてをる。「大學同盟社會主義協會」も嘗てハル、ハウスに於て其總會を開いたのである。

ハル、ハウス設立の當時から今日に至る迄移民のため種々なる手段を以て市民權を得せしむる様に盡力したのであるが、移民の多數は其地方にある政治屋の仲介により歸化權を得て居るのである。然るに一九〇六年に發布されたる歸化法は全く移民と政治屋の關係を絶たしむるに至つたのである。移民が市民權を得るために何等の資格をも要しなかつた時代に於ては、政治屋は彼等のために奔走して彼等の歡心を得ることが出来たのであるが、改正法律は移民に對して種々なる要求を爲したのであるから、政治屋は全く移民を利用することが出来ない様になつ

た。即ち改正法によれば市民権を得んとする者は規定の知識を備へて居らねばならぬ。故に市民認可證を與へる前には先づ彼の知識を試験することが必要條件となつた。此條件を充たすためにハル、ハウスは『市民學校』なるものを設け、無月謝にて市民権を得るに必要な學科を教授することとなつた。ハル、ハウスは外國語の新聞紙により若くは其附近にチラシを配布することにより『市民學校』の廣告をなしたのであるが、入學者の數年々増加し、嘗に其附近からのみでなく、シカゴ市の全部から志望者が集り來る様になつた。其後小學校の管理者も此種の教授を施すこととなり、更に十個の夜學校も同一の教授を行ふ事になつた。而してこれ等の夜學校に於て働きつゝある教師の中にはハル、ハウスの館員もあつた。近年に至りハル、ハウスの『市民學校』に於ける教授細目は一小冊子として公にせられたのであるが、他の學校もこれを標準として教授を行ふ様になつた。而して其説明の明晰なることと其言語の簡單なることは小冊子の特色であつて、これは全く『市民學校』の首腦たるシュヴァルツ氏の得たる經驗の結果であつた。今や『市民學校』の關係者は少年部内に於ける年長者に對しても彼等が正當に投票權を行使し得る様に彼等を準備せしむる目的を以て教育して居るのである。勿論彼等の多數は始めて外國から來りたる青年移住者と同一の試験を受ける必要はないけれども、彼等が相當の年齢に達した時市民権を要求せねばならぬことは言ふ迄もない。

女子部

次に述べねばならぬのは女子部の事業である。ハル、ハウスに於ける女子俱樂部には二百三

記念救濟事業

親睦會

十八名の部員がある。毎年十月から翌年の五月に至る迄の間に於て毎水曜日の午後に集會を催すことになつて居る。元來女子俱樂部は『母の會』として組織せられ、其部員はハル、ハウス附近の住人にのみ限られて居たけれども、三十年間に於てハル、ハウス附近は大なる變化を見ることとなつた。昔の住民は殆んど全くハル、ハウスの附近を去り、これに代りたる外國の女子は未だ俱樂部の事業に對して大なる興味を感じないといふ有様である。然し昔の俱樂部員にして尙其關係を維持し、現在彼等の住居地からハル、ハウスに來會する者も少なくない。或は又ハル、ハウスのために何等かの援助を與へんとして時々訪問を爲す者もある。斯の如くして部員の數は今日も尙繼續せられて居る。女子俱樂部の活動は多方面に互つて居る。某夫人の事業を記念するため一の救濟事業が設立せられた。即ちハル、ハウスの附近に於ける貧乏者及び疾病者に對して被服を供給することである。一九一四年から一五年の冬に於て激烈なる不景氣の來つた時この救濟機關により配布された被服の數は三千點以上に達したといふことである。

女子俱樂部は毎年冬季に於て丁年以上の人々の爲に六回の親睦會を開くことになつて居る。招待を受けるこれ等の人々は殆んど他に社交的享樂を受ける機會を有しないのであるから、彼等はこれ等の親睦會により少なからぬ利益を得て居る。親睦會に於ては常に舞蹈をなし、且つ茶菓を饗することになつてをるから、附近の人々は熱心に招待の來ることを待つて居る。女子俱樂部は更に勞働を爲し得る年齢に達し、然かもハル、ハウスに於ける何れの社交俱樂部にも

屬して居ない所の青年のためにも數回の親睦會を開く事になつて居る。これ等の親睦會も極めて評判善く、切符を有する者は何人にも入場することが出来る。唯來會者に對する唯一の條件は禮儀作法に關する一定の標準に服従するといふことである。いふ迄もなくこれは何れの青年に對しても極めて重要なものである。

唱歌隊

女子俱樂部の附屬として優秀なる唱歌隊が組織されて居る。此唱歌隊は各種の集會に於て歌ふのみならず毎年三回の公開演奏會を催すことになつて居る。

巡迴圖書

女子俱樂部の事業として巡迴圖書がある。殊に其中には少年部が設けられて、少年のために少なからぬ利益を與へて居る。今や圖書の數は約千七百冊に達し、其中主なるものは最近の小説及びお伽噺である。

慈善部

女子俱樂部中の『慈善部』は毎年兒童運動場、少年保護協會及び其他の事業のため寄附金を募集して居る。且つ如何なる部員に對しても慈善事業のために盡力することの出来る機會を與へて居る。

五月の親睦會

毎年五月の第一水曜日は兒童のために最も愉快なる親睦會日として知られ、女子俱樂部の最も幸福なる季節の一つとして數へられて居る。招待を受ける者は俱樂部員と其子供だけに限られてゐるのであるが、來會者の數は何時も七八百名に達するのである。音樂及び幻燈を以て人々を慰めたる後には其日の花とも稱すべき舞踏が行はれる。斯の如き催しは既に二十年以上繼

小學校卒業生のための歓迎會

續して居るのであるが、ハル、ハウスに於ける各種の集會には如何なる變動が來るとも、此親睦會のみは永久に保存されるのであらうと思はれる。

毎年六月の最後の集會に於て女子俱樂部は部員の子女にして小學校を終りたる者のために歓迎會を開くことになつて居る。これ等の子女の内在學中出席及び時間を守ることに於て最善の記録を有する者に第一等、第二等及び第三等賞を與へるのである。勿論賞品を與へるには學校當局者の證明書に依ることはいふ迄もない。而して子女の内音樂教育を受けつゝ、ある者は思ひ思ひに美妙なる音樂を奏し以て來會者を喜ばしむるのである。

女子參政權

私は女子俱樂部の事業を述べるに當り女子參政權に就いても一言せざるを得ない。一九一三年シカゴ市の女子が市會議員選舉權を得る様になつた時女子は市内の選舉區の三分の二以上に於て選舉の審判者或は書記として任命されたのであつた。而してハル、ハウスに於ける女子俱樂部は女子をしてこれ等の任命を承諾せしむる様大いに努力したのである。ハル、ハウス附近の選舉場はハル、ハウスの一室を以てこれに充てられたのであるから、館員たる女子は選舉に際して種々なる援助を與へたのである。而してアダムス嬢は第一年目に於ける審判者として盡力したのであつた。現歸化法に依れば男子の歸化は其妻にも市民權を與ふるものであるから、女子にしてハル、ハウスの『市民學校』に出席する者は極めて少ない。然し寡婦が『寡婦救助法』により年金を受けんとするには歸化する必要があるから、彼等は『市民學校』に來りて學ぶ必

少年部

要がある。但し彼等の人数が極めて少なき上に国籍を異にすることが甚しいのであるから、殆んど一人づつ、を教授せねばならぬ必要がある。而して女子俱樂部は斯の如き面倒なる事業をも繼續して居るのである。

私は成年俱樂部及び女子俱樂部の事業に就て其大略を述べたのであるから、次に少年俱樂部に關して少しく述べて見たいと思ふ。少年俱樂部は殆んど千人以上の部員を有して居るがために、五階建の建物を占有して居る。其中には球戯室、遊戯室、音楽室、勉強室、教授室、俱樂部室及び各種の仕事場が備へられて居る。其建物内には數個の寢室をも備へてあるが、これ等は館員及び少年俱樂部の監督者によりて使用されて居る。而して屋上及び第五階の半分は「マコルミック記念事業」に貸與し、結核に悩める小兒のために設けられたる戶外學校の使用する所となつて居る。

俱樂部加入手續

俱樂部は午後は小學校に學ぶ少年のために、夜分は勞働に従事せる少年のために開かれて居るのである。總て俱樂部員たらんと欲する者は先づ其監督者に面會し、何れの階級に屬すべきか、且つ如何なる方面の活動に加入すべきかを相談することになつて居る。入部者は入會金として少額を納めねばならぬ。若しこれすらも納めることが出来ぬ者のためには相當の仕事と與へること、なつて居る。

協議會

少年の中の年長者は協議會なるものを組織して居る。其會員は各俱樂部及び各クラスから選

少年俱樂部の四大活動

擧されたる者であつて、少年俱樂部の活動を開始し若くはこれを指導するために相當の援助を與へることになつて居る。彼等は何れも毎週行はれる所の俱樂部の事業に關しそれ／＼責任を有して居るのである。斯の如き組織は常に俱樂部の爲めに利益であるのみならず、又協議員の間には善良なる市民たるの資格を養はしむるといふ利益がある。學校に學ぶ少年も亦少年協議會なる事業に對して種々なる援助を與へることになつて居る。

少年俱樂部の活動は出來得るだけ部員の種々なる要求に應ずることを目的とし、極めて實際的に且つ有益に計畫されて居る。而して其事業は大別して四つとなすことが出来る。即ち教育的、體育的、道德的及び社會的活動である。

少年俱樂部が教育的方面に於て如何なる事業を爲しつゝ、あるかといふに、私は先づ工業教育に就いて述べて見たい。即ち次に述べる所のものはハル、ハウスに於ける少年俱樂部が實行しつゝ、ある所の工業教育である。

工業教育

印刷	每週三回(夜分)
木工	每週夜分三回午後二回
粘土細工	每週一回(夜分)
靴直し	每週二回(夜分)
金屬模塑	每週一回(夜分)
機械工	每週二回(夜分)

電 氣 工
電 信
料 理

每週一回(夜分)
每週一回(夜分)
每週二回

工業教育
以外の學

體育上の
設備

衛生及び
道徳に關
する講演

以上述べたる所は何れも工業教育を授くる目的を以て各クラスを組織して居るのであるが、尙此以外に種々異なる目的を以て多くのクラスが組織せられて居る。例へば討論及び演説を目的とするクラス、市民としての義務を研究するもの、賣子としての資格を得せしめんとするもの、或は旅行及び談話などを目的とするものが即ち其れである。

其他體育に關するものを述べれば次の如くである。戸内ベースボールの如きは最も盛に行はれ、團體の数が十六にも達して居る。ヴァーリー、ボール及びバスケット、ボールの試合なども度々行はれて居る。游泳及び競走の如きも體育としては最も興味ある方法である。機械體操は殆んど年齢の差別なく如何なる人もこれを行ふことが出来る。更に夏季に於ける天幕旅行の如きも亦有效なる體育法と見なければならぬ。總てこれ等の競技及び運動の目的があらゆる少年に對して最も完全なる健康と娛樂を與ふるに在ることは言ふ迄もない。

衛生的及び道徳的生活の最も重なる方面を少年俱樂部員に知らしめるため毎月一回これに關して講演會を開くことになつて居る。而して講演者は何れも有名なる専門家を聘するのであるから、あらゆる廣告手段によりて少年の出席を促すことになつて居る。今日迄の結果を以て見

演劇團

れば、少年はこれに對して非常なる興味を感じ、少年俱樂部の講堂は何時も聴衆を以て溢れるといふ景氣を呈して居る。講演の題目は清潔、健康、節儉、禁煙等である。少年俱樂部の監督者は單にこれ等の方法を以て満足せず、屢々少年の家庭を訪問するのである。若し必要あれば少年の健康及び道徳的發達に關し其兩親に注意を與ふることもある。

最後に述べねばならぬことは、ハル、ハウスに於ける社交的事業である。勿論私は一々これに就いて述べる暇がないから、單に演劇及び珈琲店のことについて少しく述べることにする。

演劇は教育上益々重要な地位を占める様になつて來た。最初は運動部に屬する青年達が多少の準備を爲して少數の人々の前に其技を演じたのであるが、今や其價値は充分に認められ、終に館内に於て一大劇場を見る様になつた。舞臺は美はしく電氣の光を以て飾られ、背景と言ひ其他の設備と言ひ比較的完全なるものとなつたのである。演劇團は常に館内に於て其技を演ずるのみならず、時にはシカゴ市の他の部分に於ても開演することがある。殊に一九一三年六月には演劇團は監督者に率ゐられ四十二日間の豫定を以て歐羅巴に旅行を試みることとなつた。

一行は愛蘭土に於て六日間、倫敦に於て五日間、セーキスピアの郷里に於て二日間、巴里に於て四日間、和蘭に於て同じく四日間の滞在を爲し、到る處其技を演じたのである。今や演劇團の組織せられてから約二十年を経過したのであるが、今後演劇がハル、ハウスに於ける最も重要な事業の一つとなることは疑はない。

私は序に少年演劇に就いても少しく述べて置く必要を感じる。十五才以上の少年は演劇俱樂部なるものを組織し、時を定めて人々の前に演劇を公開するのであるが、これが教育上大なる利益を與ふることは何人も疑ふことは出来ないものである。第一の效果と言ふべきものは少年がこれによりて表情の訓練を爲すといふ事である。第二は英語を使用することが自由となり且つ精密となるといふことである。少年の多数は外國人であるから演劇によりて英語の發達を謀るといふことは一舉兩得の方法であると言はねばならぬ。演劇俱樂部に屬する所の少年は極めて多人數である。彼等は斯の如くして交代に其技を演ずることになつて居るから、演劇の練習は決して彼等の學問或は健康を妨害するものでない。少年演劇の行はれる時には、如何なる少年も入場料として五仙を拂ふことになつて居る。

今一つ述べておきたいことは此の演劇場に於て屢々外國演劇の行はれるといふことである。ハル、ハウスの附近に於て大なる希臘人の植民地のあることは前に述べたる通りであるが、彼等は常に自ら誇りとする所の歴史が全くアメリカ人のために其光彩を失つて居ることを不満に思つて居る。幸にして彼等は今やハル、ハウスの演劇場に古典的演劇を演ずることが出来るのであるから、彼等が如何に其國民的名譽心を満足せしめて居るか充分に推測する事が出来る。過去數年間に於て希臘人は屢々近代の希臘語を以て劇を演じたのであるが、彼等同胞は非常なる熱心を以て見物に出かけたのである。以太利人の一團も亦彼等の國語を以て劇を演じて居る。

而して其劇の作者がハル、ハウスの附近に住居して居る以太利の文學者であることも面白き事實であると言ふべきである。露國の演劇も冬季に於て平均五六回は演ぜらるることになつて居る。脚本の多くは露西亞の革命を取扱つたものであるが、中にはハウプトマンの如き獨逸の劇作家の脚本を翻譯したものもある。

ハル、ハウスの社交的方面に於いて見逃すことの出来ないのは珈琲店である。これは直接ハル、ハウスの經營ではないけれども、今や殆どハル、ハウスに於ける社交事業の重要な部分を占めてをり、且つ財政上にも可なりの成功を示して居るのであるから、ハル、ハウスに若干の家賃も仕拂うて居る。珈琲店の創立は一八九三年であつて、ボストンの公衆食堂に倣つたものである。名稱は珈琲店であるけれども、其實は料理店であるといふのが適當であるかも知れぬ。創立の第一年から珈琲店は全く料理店の性質を有する様になり、今日では其附近に於ける社交的中心となつて居る。ハル、ハウスに於ける各種の俱樂部はいふ迄もなく、附近の工場に働いてをる事務員、或は小學校に於ける教師等は晝食を爲すために、時としては宴會を催すために、此處に集り來るのである。

私は尙多くハル、ハウスに關して言ふべき所の材料を有して居るけれども、一々これを説明することは紙數の許さぬ所であるから、これにて大學植民事業に關する記述を終る事にする。前に述べたるが如く教育事業として私が述べたいと思つたのは大學植民の外に大學普及といふ